

第2期 北本市スポーツ推進計画



令和5年2月

北 本 市
北本市教育委員会

市長 あいさつ



新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツが日々の生活から失われ、制限される状況の結果、市民の体力低下や心身の健康保持への悪影響が心配されております。

改めてスポーツが、人と人をつなぎ、私たちの生活に夢や目標をもたらし、本市の魅力向上や経済的な効果を持つことが示され、重要な役割を担うことを期待されています。

本計画では、「第1期北本市スポーツ推進計画」の考え方を引き継ぎ、「第5次北本市総合振興計画」を基本とし、「北本市教育振興基本計画」など、関連する諸計画との整合を図りながらスポーツ推進を実現するため、市民の皆様がスポーツに親しむ環境の整備と機会を提供していきます。

また、オリンピック・パラリンピックの開催を契機に共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進が求められており、共生社会ホストタウンである本市においてもそのような課題も踏まえ、基本理念である「だれもがいつでもいつまでも元気で活力がある生活を送るまち」の実現に向けて、市民の皆様とともに各施策を推進してまいりたいと考えておりますので、一層の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年2月

北本市長 三宮 幸雄

教育長 あいさつ



スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものとするとともに、人間の身体的・精神的な欲求にこたえる世界共通の人類の文化の一つです。特に心身の健全な発達や、コミュニケーションを育成、豊かな心と他人に対する思いやりなどの青少年の健全育成に重要な役割を担っています。

新型コロナウイルス感染症の拡大が急速に進み、様々なスポーツ活動が中止や延期を余儀なくされ、スポーツに親しむ多くの機会が失われた結果、改めて、その重要性が再確認されています。

また、スポーツ界を取り巻く社会環境にも変化があり、少子高齢化によるスポーツに参画する者やそれを支える担い手の不足、学校部活動や地域におけるスポーツ・運動環境の維持の困難さにつながり、特に中学校の休日部活動の地域移行については喫緊の課題となっております。

このような様々な課題を解決していくために、本市スポーツ協会をはじめ、学校、企業等の全ての関係者と連携を密にしながら、本市のスポーツの更なる発展に向けて積極的に取り組んで参りますので、皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和5年2月

北本市教育委員会教育長 神子 修一

目次

第1章 計画策定の概要

- 1 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の性格、位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 計画における「スポーツ」の定義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第2章 北本市のスポーツの現状と課題

- 1 市民のスポーツの実施状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 スポーツ施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 3 スポーツ事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 2
- 4 スポーツ指導者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 4
- 5 スポーツ活動の支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 5
- 6 保健・福祉・医療との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 8

第3章 計画の基本的な考え方

- 1 基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 0
- 2 基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 1
- 3 基本目標と施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 2

第4章 スポーツ推進のための施策と主な取組

- 1 学校における体育・スポーツ活動の充実・・・・・・・・・・・・・・ 2 4
- 2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進・・・・・・・・・・・・ 2 6
- 3 スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実・・・・・・・・ 2 9
- 4 スポーツ体制の支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 0

資料編

資料 1	北本市児童生徒の新体力テスト結果及び得点表と総合基準一覧	3 2
資料 2	スポーツに関する市民アンケート報告書	3 7
資料 3	関係法令・例規	1 0 7
(1)	北本市スポーツ推進審議会条例	1 0 7
(2)	第 2 期北本市スポーツ推進計画見直し作業委員会設置要綱	1 0 9
資料 4	計画策定の経過	1 1 1
資料 5	名簿	1 1 2
(1)	北本市スポーツ推進審議会	1 1 2
(2)	第 2 期北本市スポーツ推進計画見直し作業委員会	1 1 2

第1章 計画策定の概要

1 計画策定の趣旨

近年、少子高齢化などによる人口構造の急激な変化や科学技術や情報化の進展により、わたしたちの生活環境は大きく変化し続けています。便利で快適な生活が送れるようになった反面、人間関係の希薄化、精神的ストレスの増大、運動機会の減少、体力や運動能力の低下など健康上の問題が顕在化してきていると指摘されています。

こうした社会において、生涯にわたってスポーツに親しむことは、青少年の健全育成や、地域の活性化、心身の健康の保持増進、共生社会の実現に極めて大きな意義をもつものと考えられます。

国は、平成23年6月に「スポーツ基本法」を制定し、従前の「スポーツ振興法」の定める施策を充実させつつ、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であるとの考えに立った、新しい時代におけるスポーツの基本理念を提示しました。また、平成24年3月には、スポーツ基本法の理念を具体化し、今後10年間の我が国のスポーツ政策の具体的な方向性を示す「スポーツ基本計画」を策定し、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となってスポーツ立国を実現していくための指針を示しました。

令和4年3月には第3期スポーツ基本計画が策定され、令和4年度から令和8年度までの5年間で国等が取り組むべき施策や目標等を定めています。この第3期スポーツ基本計画は、これまでの基本方針を踏襲しつつ、「東京2020大会のレガシーの継承・発展に資する重点施策」、「新たな3つの視点、①スポーツを「つくる／はぐくむ」、②「あつまり」スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる、③スポーツに「誰もがアクセス」できる」を踏まえた計画をなっています。

埼玉県でも、国のスポーツ基本計画を参酌し、新たな「埼玉県スポーツ推進計画」の策定に向け、令和5年度からの5年間に取り組むスポーツ推進に関する施策等について検討を進めています。

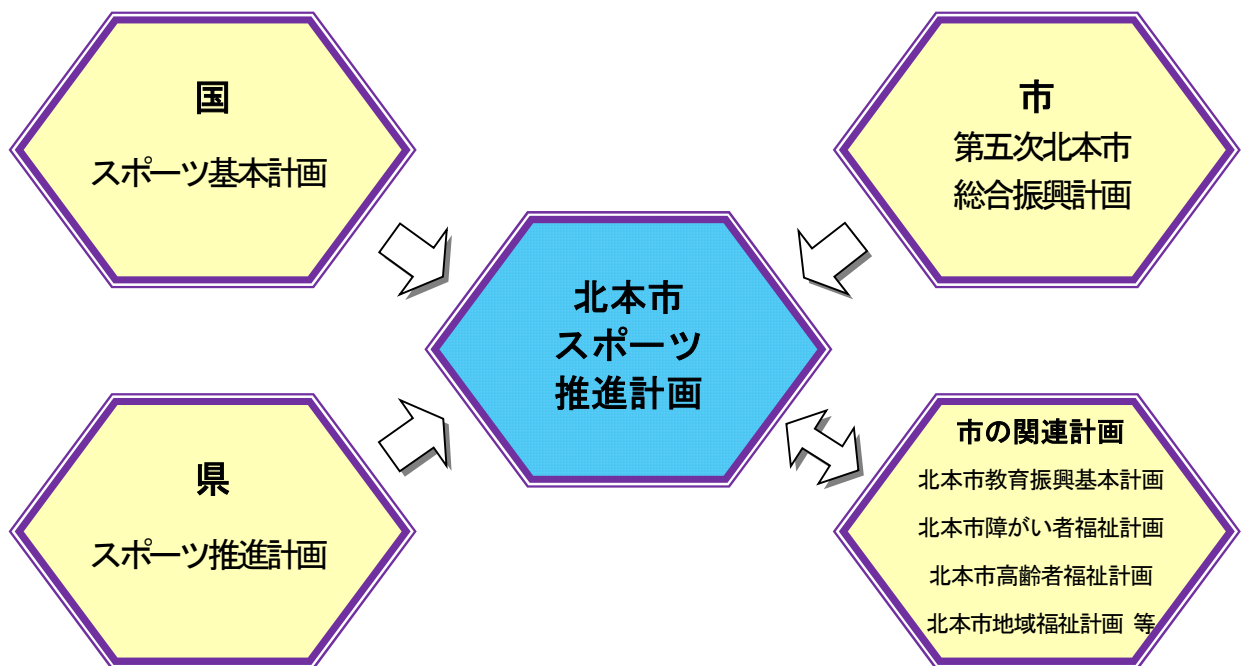
こうした国や県の動向を踏まえ、第1期北本市スポーツ推進計画の期間満了を迎えるにあたり、本市を取り巻く社会状況の変化や本市のスポーツ施策に関する現状及び課題を踏まえて、スポーツ・レクリエーション活動を推進するための基本的な方向性を定める計画として策定するものです。

北本市のスポーツ・レクリエーションに関する現状や課題を明確にして、すべて

の市民が、いつでも、いつまでも、元気で、生涯にわたりスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、自分らしく、いきいきと生活を送る環境をつくることを目指し、スポーツ・レクリエーション事業の振興と施策の充実に努めてまいります。

2 計画の性格、位置づけ

- (1) この計画は、「スポーツ基本法第10条」に基づき、本市がスポーツ・レクリエーション活動を推進するための基本的な方向性を定める計画として策定するものです。
- (2) 文部科学省が令和4年に策定した「第3期スポーツ基本計画」並びに埼玉県が令和5年4月策定予定の「第3期埼玉県スポーツ推進計画」の内容等を踏まえて、策定するものです。
- (3) 平成29年度策定の「第五次北本市総合振興計画」を基本とし、「北本市教育振興基本計画」など、関連する諸計画との整合を図りながら策定するものです。
- (4) 市民、企業、学校、関係機関・スポーツ関係団体など、地域に関わるすべての人々がスポーツ・レクリエーション活動に取り組む方向性を示すものです。



3 計画の期間

令和5年度から令和14年度までの概ね10年間とします。
計画期間中、社会情勢の変化等を勘案し、必要に応じ、適宜見直しを行います。

4 計画における「スポーツ」の定義

本計画では、スポーツを幅広く捉え、競技種目、学校における体育・スポーツにとどまらず、子どもの遊び（鬼ごっこ、公園遊び、遊戯など）やウォーキング、フォークダンスなど、楽しむことや軽く体を動かすことを主な目的とした活動もスポーツとします。

第2章 北本市のスポーツの現状と課題

本計画を策定するにあたり、市民のスポーツに関する意識や実施状況を把握するために、令和4年1月に「スポーツに関する市民アンケート」を行いました。

市内在住の小学生5年生全員約400人、中学2年生全員約500人、16歳以上の市民約1000人を対象にアンケートを実施（36～79頁参照）し、その結果や各種資料をもとに本市のスポーツの現状と課題をまとめました。

1 市民のスポーツの実施状況等

（アンケート調査結果等から）

（1）児童生徒の実施状況

① アンケート結果から

- ・小学生については、79.5%が「運動やスポーツをするのが好き」と回答し、県の割合より6ポイント少なくなっています。
- ・中学生については、72.1%が「運動やスポーツをするのが好き」と回答し、県の割合よりより6ポイント少なくなっています。運動部活動加入率は70.0%という結果でした。

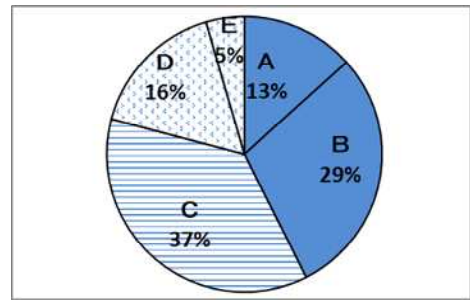
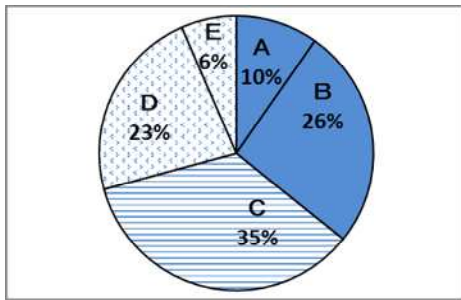
② 新体力テストの結果から

- ・毎年5月から6月にかけて、「児童生徒に自己の体力を理解させ、自らの健康の増進・体力の向上を図れるようにすること」「教師が児童生徒の体力の実態を把握し、体育指導の参考とする」を目的に新体力テストを実施しています。

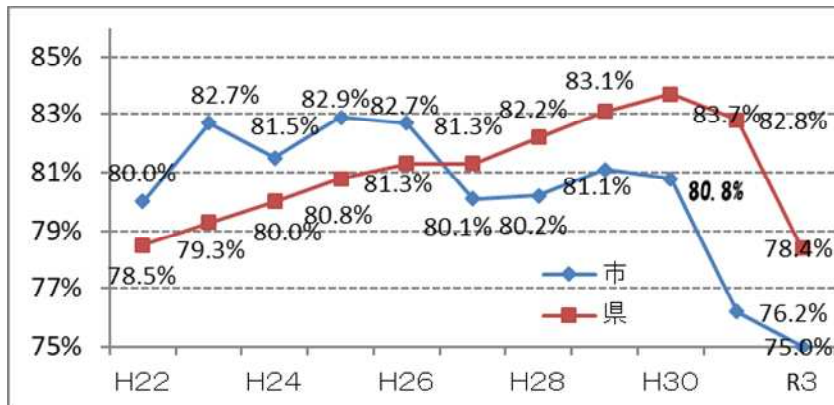
*1 新体力テスト：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン（中学校は持久走）、50m走、立ち幅とび、ボール投げの8種目を測定します。

第2章 北本市のスポーツの現状と課題

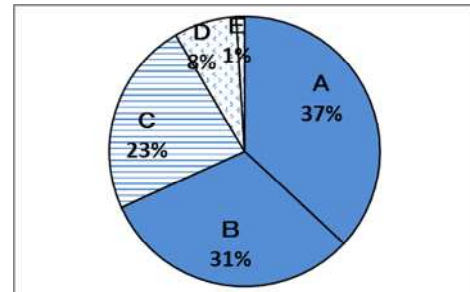
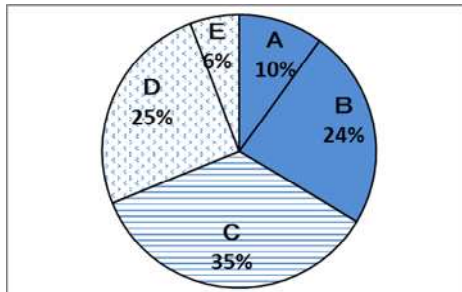
＜小学校男子(R3)：総合評価の割合＞ ＜小学校女子(R3)：総合評価の割合＞



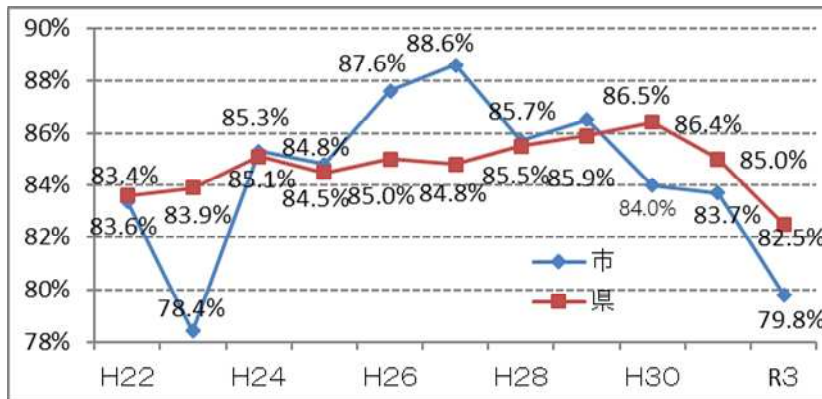
＜小学校：新体カテスト上位3ランク（A+B+C）の割合＞



＜中学校男子(R3)：総合評価の割合＞ ＜中学校女子(R3)：総合評価の割合＞



＜中学校：新体カテスト上位3ランク（A+B+C）の割合＞



* 2 総合評価：文部科学省が示す基準に従って、年齢と新体カテストの種目別の記録に応じて点数化し、8種目の点数の合計により、上位AからB,C,D,Eの5段階で示しています。
(34、35頁参照)

- ・本市では、第五次北本市総合振興計画にて、新体力テストの総合評価で上位3ランク（ABC）の児童生徒の割合を令和7年度までの目標値として小学校87%、中学校87%と設定しております。児童生徒の実態に即して、毎年目標値を設定し、児童生徒の体力向上に取り組んでいます。
- ・子供の日常生活から運動や遊びの時間・空間・仲間が減少しており、本市の児童生徒も全国と同様、昭和60年をピークに児童生徒ともに体力は低下・停滞傾向にあります。
- ・新体力テスト結果から、令和元年度以降、本市の小学生と中学生は、県施策指標をここ数年下回っています。
- ・小中学校別にみると、小学生は「反復横とび」「持久力」が優れ、「握力」「長座体前屈」に課題があり、中学生は「反復横とび」「持久走」が優れ、「長座体前屈」「立ち幅とび」「投力」が課題となっています。（32・33頁参照）

③ 中学校の運動部活動

<運動部活動加入人数（令和2年度～4年度）>

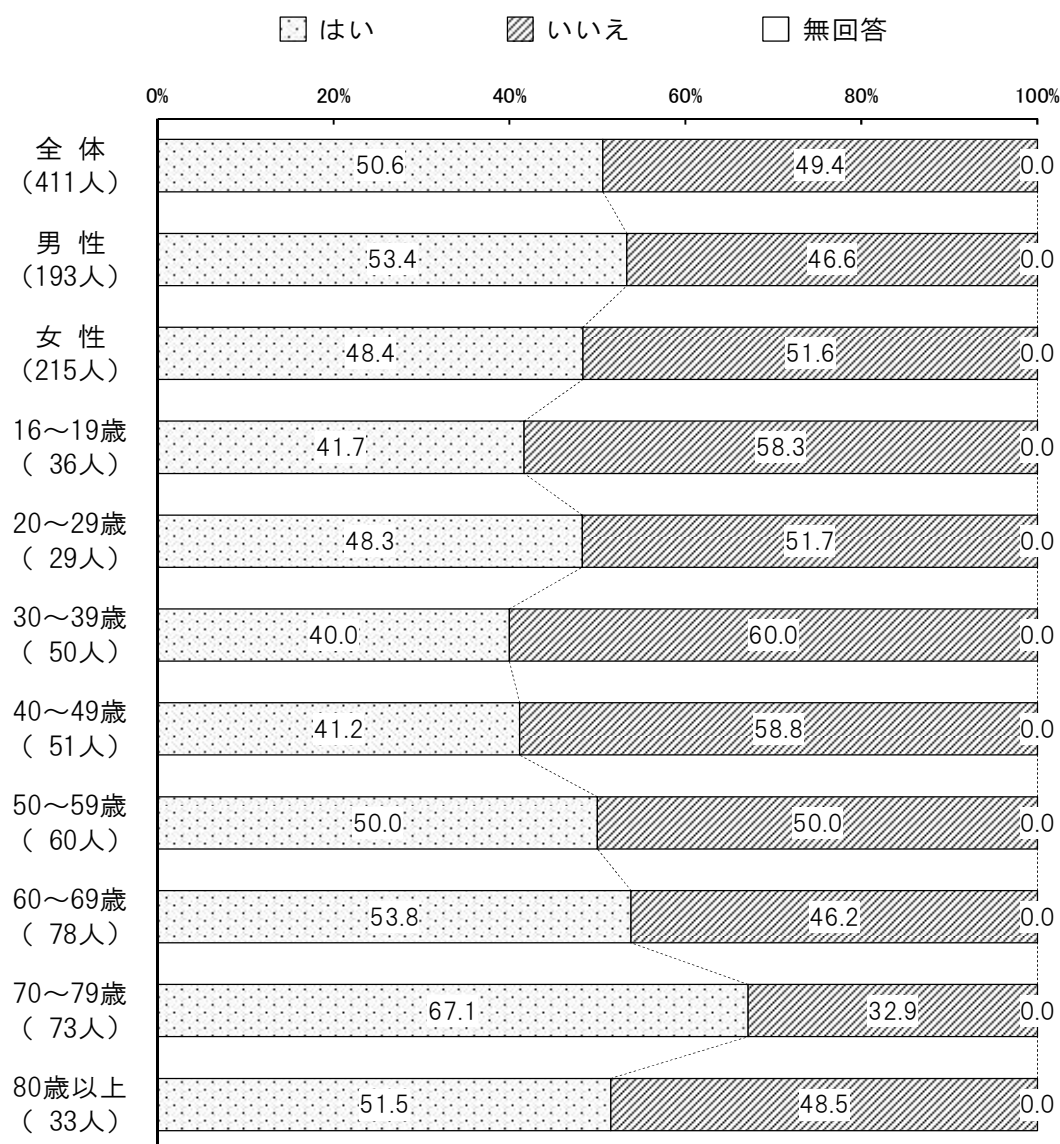
部 名	部 員 数					
	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	男子(人)	女子(人)	男子(人)	女子(人)	男子(人)	女子(人)
陸上競技	80	91	121	56	78	76
野球	60	3	67	0	54	3
バレーボール	0	63	0	55	0	55
サッカー	79	1	74	1	68	4
バスケットボール	103	61	109	58	114	63
ソフトボール	0	58	0	58	0	39
ソフトテニス	135	98	118	92	103	91
卓球	119	32	117	29	125	20
剣道	21	6	20	6	14	10
水泳	0	0	7	3	4	2
バドミントン	17	30	25	27	23	25
その他	0	0	0	0	0	0
部員合計	614	443	658	385	583	388
全生徒数	777	761	774	729	763	695
運動部活動加入率	79.0%	58.2%	85.1%	52.8%	76.4%	55.8%
(男女)	68.7%		69.4%		66.6%	

第2章 北本市のスポーツの現状と課題

- ・部活動は、各種目の競技力の向上とともに、責任感や連帯感の涵養、好ましい人間関係の形成等に大きな役割を果たしています。
- ・中学校で身につけた能力を生かして、高等学校や大学、社会人になっても競技力を高め、世界を舞台に活躍するアスリートも生まれています。
- ・令和2年度から4年度の運動部活動加入率は、男子は76～85%、女子は53～58%の間で推移しており、男子に比べ女子の加入率が低くなっています。
- ・専門的な指導を行うため、従来の教員に加え、専門性を有する地域の指導者を外部指導者として派遣しています。
- ・今後、休日の部活動の段階的な地域移行について検討していきます。

(2) 市民の実施状況 (アンケート結果より)

<あなたは現在、運動やスポーツをしていますか>



- ・性別で「はい」とした割合をみると、女性より男性の方が5ポイント多くなっています。
- ・年代別で「はい」とした割合をみると、20～29歳では48.3%と5割に近いものの、30～39歳、40～49歳では、約4割にとどまっています。また、割合が最も多いのは70～79歳で、67.1%となっています。
- ・運動をしていない理由として、一般市民は運動する時間がない、身近に施設や場所がない、費用がかかるという回答が多くありました。

課題

- 仕事や家事、育児等に忙しく、スポーツに取り組むことができない人やスポーツに苦手意識をもつ人などに対する働きかけが必要です。
- 学校体育では、運動への関心や自ら運動する意欲、運動の知識、技能など生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現、継続するための資質・能力を育成することが重要です。

2 スポーツ施設

(1) 公共スポーツ施設

市の公共スポーツ施設は以下のとおりです。

体育センターと北本総合公園は、平成18年度より指定管理者制度を導入し、管理運営を民間に委託しています。

<屋内体育施設>

体育センター	所在地	北本市古市場 1-156	電話	048-593-2511
	連絡先	体育センター	駐車場	216 台
メインアリーナ（バレーボール3面・バスケット2面・バドミントン12面・ハンドボール1面・ランニング走路1周178m） サブアリーナ（バレーボール1面・バドミントン3面） 剣道場、柔道場、弓道場、トレーニング室				
東間深井学習センター （北部公民館）	所在地	北本市深井 4-155	電話	048-543-2115
	連絡先	北部公民館	駐車場	39 台
体育室（バレーボール1面・バドミントン2面・卓球8台）				
南部学習センター （南部公民館）	所在地	北本市二ツ家 1-127	電話	048-592-2458
	連絡先	南部公民館	駐車場	一般23台 軽2台 身障者2台
体育室（バレーボール1面・バドミントン2面・卓球8台）				
中央地域学習センター （東部公民館）	所在地	北本市本宿 2-33	電話	048-591-2695
	連絡先	東部公民館	駐車場	18 台
軽スポーツ室（卓球2台）				
中丸学習センター （中丸公民館）	所在地	北本市中丸 10-419	電話	048-593-1010
	連絡先	中丸公民館	駐車場	42 台
ホール（バドミントン1面・卓球4台）、多目的広場				
西部学習センター （西部公民館）	所在地	北本市荒井 3-95	電話	048-591-0410
	連絡先	西部公民館	駐車場	39 台
体育室（バレーボール1面・バドミントン3面・卓球9台）				
公団地域学習センター （学習センター）	所在地	北本市栄 13	電話	048-592-3325
	連絡先	学習センター	駐車場	31 台
アリーナ（バレーボール1面・バドミントン2面・卓球・ダンス等）				

<屋外運動施設>

北本総合公園	所在地	北本市古市場 1-167	電話	048-592-4050
	連絡先	北本総合公園	駐車場	200 台
野球場 1 面・多目的広場（ソフトボール 2 面） テニスコート（クレイコート 4 面・人工芝 5 面）				
深井スポーツ広場	所在地	北本市深井 4-163	電話	048-592-4050
	連絡先	北本総合公園	駐車場	50 台
野球場 1 面・ゲートボール場 1 面				
天神下公園	所在地	北本市石戸宿字城山 636	電話	048-592-4050
	連絡先	北本総合公園	駐車場	60 台
野球場 2 面				
中丸スポーツ広場	所在地	北本市中丸 9-25	電話	048-592-4050
	連絡先	北本総合公園	駐車場	50 台
多目的広場（サッカー 1 面・ソフトボール 1 面）				
宮内スポーツ広場	所在地	北本市宮内 6-277-1	電話	048-592-4050
	連絡先	北本総合公園	駐車場	10 台
ソフトボール場 1 面（小学生以下）				
高尾スポーツ広場	所在地	北本市高尾 1879	電話	048-592-4050
	連絡先	北本総合公園	駐車場	20 台
少年サッカー場 2 面				
北本宿緑地公園	所在地	北本市緑 3-437	電話	048-592-4050
	連絡先	北本総合公園	駐車場	10 台
グラウンドゴルフ場				
荒井公園テニスコート	所在地	北本市荒井 3-95	電話	048-591-0410
	連絡先	西部公民館	駐車場	39 台
テニスコート 2 面				
健康増進センター ゲートボール場	所在地	北本市中丸 10-55	電話	048-591-8251
	連絡先	健康増進センター	駐車場	60 台
屋内ゲートボール場 2 面・屋外ゲートボール場 2 面 芝多目的広場（グラウンドゴルフ） ※ゲートボール場はグラウンドゴルフの利用も可。				

第2章 北本市のスポーツの現状と課題

(2) 学校体育施設開放

市内小中学校 11 校の校庭と体育館を、学校の教育活動に支障のない範囲で一般市民のスポーツの場として開放しています。

<学校開放施設一覧>

種別		体育施設名	開放日	開放時間
屋内運動場	日中	北本市立小学校	土曜日、日曜日、祝日	午前 8 時から午後 5 時まで
	夜間	北本市立北本中学校	月曜日、金曜日、土曜日	午後 7 時から午後 9 時まで
		北本市立東中学校	水曜日、金曜日、土曜日	
		北本市立西中学校	火曜日、水曜日、木曜日	
		北本市立宮内中学校	火曜日、木曜日、土曜日	
	北本市立小学校	月曜日から金曜日まで		
屋外運動場	日中	北本市立小・中学校	土曜日、日曜日、祝日	午前 6 時から午後 5 時まで (午前 6 時から午前 8 時までは、成人のみの利用とする。)

<学校プール開放状況>

民間のプール施設を夏季の 4 日間無料で開放しています。

年 度	会場名	実施日	参加者
令和 3 年度	スウィン北本 スイミングスクール	8 月 1 日、2 2 日 9 月 5 日、1 2 日	2 2 人



【北本市体育センター】



【北本総合公園】

(3) スポーツ施設・学校体育施設利用者数

年々、利用団体、利用者が増え、特に土曜・日曜日等、休日には利用希望が集中し、調整が必要となっています。

(令和3年度)

施設名		利用者数
公民館施設	南部公民館体育室	14,832人
	東部公民館軽スポーツ室	4,808人
	西部公民館体育室	16,164人
	荒井公園テニスコート	4,395人
	北部公民館体育室	13,819人
	中丸公民館ホール	6,640人
	学習センターアリーナ	10,422人
体育センター	152,002人	
北本総合公園	70,045人	
スポーツ広場等	70,513人	
学校体育施設	35,156人	
合 計		398,796人

(4) 民間のスポーツ施設

市内には、スイミングスクールやゴルフ練習場など、民間のスポーツ施設があり、市民がスポーツに親しめる場となっています。

<北本市内の民間スポーツ施設>

施設名	備考
セントラルウェルネスクラブ北本	スイミング、トレーニングジム等
スウィン北本スイミングスクール	スイミング
ワコーレススポーツクラブ	スイミング、トレーニングジム等
誠志館空手道場	空手
天真館空手道連盟北本道場	空手
解脱錬心館	剣道
アイビーボウル北本	ボウリング
北本ゴルフガーデン	ゴルフ
北本グリーンクロス	ゴルフ
B Tフットサルコート	フットサル
テニス・サッカースクール埼玉北本	テニス・サッカー

課題

- 施設の老朽化が進み、改修が必要となる施設が増えていくことが予想されます。財政状況が厳しい中、いかに施設を維持管理していくかが課題となっています。
- 平日の体育施設利用者を増やすための工夫が必要です。
- 市と民間のスポーツ施設との連携や専門的知識を持つ指導者の確保と有効活用が課題となっています。

3 スポーツ事業

市民が気軽にスポーツに親しめるよう、各種事業を実施しています。

ウォーキングブームが広がる中、本市では、北本さくらウォークを毎年実施しています。市内外問わず多くの参加者のもと、北本市が全国に誇る五大桜の1つである「石戸蒲ザクラ」や城ヶ谷堤などの桜の名所を巡り、市内の自然や文化遺産を楽しみながらウォーキングします。また、地元住民との交流を図り、スポーツに親しむ機会として、地域コミュニティ体育祭を年に1回開催しています。

児童生徒の体力向上事業として、県民スポーツの日関連事業も兼ねて、小学生を対象とした「運動教室」を開催しています。器械運動や陸上運動、水泳等の専門家を講師に招き、児童の運動等に対する興味・関心を高めるとともに、運動好きな児童を育成し、基礎的・基本的な技能等の定着を図ります。

スポーツ協会や体育センター指定管理者、北本市都市公園指定管理者も、年間を通して、バスケットボール大会やグラウンドゴルフ大会、体操教室、ヨガ教室等の自主事業を実施しています。また、毎年10月には、体育センター施設を無料開放して様々なスポーツを体験できる「スポーツフェスティバル」を開催しています。



【ウォーク大会】



【スポーツフェスティバル
(モルック体験)】

＜スポーツ事業年間行事（令和4年度実施）＞

開催月	行事名	開催月	行事名
通年	健康長寿ウォーキング事業 元気いきいき体操教室、のびやか体操教室		
4月	北本さくらウォーク	10月	スポーツフェスティバル 体力測定会 コミュニティ体育祭
5月	体力測定会	11月	普通救命講習会 ミニバレー教室
6月	フリーテニス教室	12月	きたもと駅伝
7月	ラジオ体操と公園ウォーキング	1月	ファミリーバドミントン教室
8月	民間プール開放 ラジオ体操と公園ウォーキング	2月	ボッチャ&ラダーゲッター教室
9月	民間プール開放 フロッカー教室	3月	モルック&マットス教室 オモシロスports親子教室

課題

○より身近な「地域スポーツ教室」等の充実と子どもや障がい者、高齢者を対象としたスポーツ事業の展開が必要です。

4 スポーツ指導者

スポーツの推進には、指導者が必要不可欠です。本市では、スポーツ推進委員や競技スポーツ指導者がそれぞれの立場で、スポーツ指導を行っています。

(1) スポーツ推進委員

本市では、スポーツ基本法に基づき、スポーツ推進委員を委嘱し、地域のスポーツコーディネーター、スポーツ推進のための連絡調整役として、専門性を生かした活動を依頼しています。

体力測定やラジオ体操、ウォーキング教室等、市民へのスポーツ機会の提供及び実技指導、さらにコミュニティ体育祭等、地域でのスポーツ推進に努めています。



【ラジオ体操】



【フロッカー教室】

(2) 競技スポーツ指導者

競技スポーツの指導者は、スポーツ少年団、中学校運動部活動、スポーツクラブなどでそれぞれの専門性を生かした指導をしています。

スポーツ少年団ではスタートコーチ養成講習会を開催し、指導者の育成に努めています。

また、運動部活動外部指導員を委嘱し、中学校運動部活動の活性化を図っています。

課題

○市民の多様なスポーツ活動に係るニーズに対応できるよう、指導者を確保・育成し、効率的に派遣できるシステムを整えることが必要です。

5 スポーツ活動の支援

市内には北本市スポーツ協会、北本市レクリエーション協会、北本市スポーツ少年団など、スポーツ振興に寄与する組織があり、これらの団体と連携を図り、スポーツ活動を支援しています。

また、2つの総合型地域スポーツクラブがあり、それぞれが自主的にスポーツ・文化活動を行っています。

(1) 北本市スポーツ協会

昭和36年7月に発足した北本市スポーツ協会は、令和3年7月に創立60周年を迎えました。発足当時はレクリエーション部と球技部で構成され、その後、体育指導委員の尽力により、昭和48年に北本市体育協会と改組した際は、10の競技団体が活動する協会となりました。その後、令和2年には、組織名を北本市スポーツ協会とし、現在（令和4年4月）、20競技加盟団体の120団体、加盟員2,899人と、7地域のコミュニティが加わり、活動を行っています。

スポーツ協会は本市のスポーツ推進のため、きたもと駅伝競走大会や加盟団体主催による各種大会や教室の開催、指導者の育成を図るための講習会、広報誌「スポ協北本」の発行、優秀児童生徒や選手、功労賞の表彰等を行っています。

<令和4年度北本市スポーツ協会加盟団体（令和4年4月現在）>

加盟団体名	加盟団体数	会員数(人)	加盟団体名	加盟団体数	会員数(人)
野球連盟	8	234	弓道連盟	1	66
ソフトボール連盟	33	527	空手道連盟	1	77
柔道連盟	1	60	スポーツ少年団	14	555
剣道連盟	3	300	ゲートボール連盟	5	39
卓球連盟	8	98	水泳連盟	1	26
ソフトテニス連盟	3	70	グラウンドゴルフ協会	1	93
テニス協会	15	254	アーチェリー協会	2	20
バドミントン連盟	7	166	ソフトバレーボール連盟	3	64
スキー連盟	1	34	スポーツウエルネス 吹き矢協会	11	161
陸上競技協会	1	20	エアロビック連盟	1	35

第2章 北本市のスポーツの現状と課題

(2) 北本市レクリエーション協会

レクリエーション協会は、ウォークラリーやレクリエーション大会など、子どもから高齢者まで世代を問わずに楽しく参加できる事業を開催しています。

現在は、加盟団体が6団体、会員約214人で活動しています。

<令和4年度北本市レクリエーション協会加盟団体（令和4年4月現在）>

加盟団体名	加盟数（人）	加盟団体名	加盟数（人）
レク指導者協議会	13	ミニテニス協会	33
フォークダンス連盟	70	きたもと悠歩会	23
ラージボール連盟	55	ペタンク愛好会	20

(3) 北本市スポーツ少年団

昭和53年に発足した北本市スポーツ少年団は、現在（令和4年7月）、登録団体14団体、指導者115名、役員・スタッフ47名、団員320名で構成されています。

<令和4年度北本市スポーツ少年団加盟団体（令和4年7月現在）>

種目	団体名	種目	団体名
野球	中丸ブレーブス	バレーボール	北本中丸JVC
	埼玉ファインズ		北小フレンズ
	リトルジャイアンツ	サッカー	北本少年サッカークラブ
	北本サウスボーイズ		北本キッカーズ
	北本Mセブンズ	ミニバス	北本ミニバスクラブ
	北本アトラス		中丸ガッツ
空手	峰心会北本空手道	ソフトボール	北本リトルウィッチーズ

団体や種目ごとの大会等を中心として、それぞれが熱心に活動を行っています。市スポーツ少年団としては、地域への貢献とつながりを深めるための公共施設等の清掃活動や、他種目との交流を目的とした駅伝競走大会や優秀選手、功労者の表彰を行う少年団大会を全体の事業として開催しています。

また、スタートコーチ養成講習会や有資格者を対象とした研修会、普通救命講習会等を実施し、指導者の育成及び資質向上にも努めています。

(4) 総合型地域スポーツクラブ

現在、本市には「NPO 法人あさひスポーツ・文化クラブ」と「NPO 法人さいたま山に親しむ会」の2団体が総合型地域スポーツクラブとして活動しています。

「NPO 法人あさひスポーツ・文化クラブ」は、平成18年3月に市内の朝日地区にあるマンションを拠点として設立。現在550名いる会員は未就学児から高齢者まで多世代にわたり、テニスやバドミントン、体操、エアロビクスなど16種目のスポーツと文化活動を行っています。

「NPO 法人さいたま山に親しむ会」は、平成15年6月に、山登りや野外活動の魅力を広く伝えていこうと設立されました。平成22年5月から総合型地域スポーツクラブとして活動種目を増やし、現在約250名の会員が登山やウォーキングなどのスポーツ活動と料理や絵手紙などの文化活動を行っています。

*3 総合型地域

スポーツクラブ：人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、(1) 子どもから高齢者まで(多世代)、(2) 様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、(3) 初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいいます。

課題

- スポーツ協会やレクリエーション協会等、成人を対象としたスポーツ団体においては、役員の高齢化や若手指導者の減少傾向が顕著となり、これから協会を支えていく世代の育成が課題となっています。
- スポーツ少年団のような青少年を対象としたスポーツ団体においては、少子化の影響により団員数、団体数が減少しています。子どもの運動離れも課題となっているため、地域と一体になって取り組み、魅力ある団体活動にする必要があります。
また、保護者の意識や都合によっても子どものスポーツ活動が制限されてしまう実態もあるため、保護者の意識改革や理解を得るための方策が必要です。
- 2つの総合型地域スポーツクラブとの連携も課題となっています。

6 保健・福祉・医療との連携

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求にこたえとともに、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらし、さらには、体力の向上や、生活習慣病の予防、精神的なストレスの発散など、心身両面にわたる健康の保持増進に資するものです。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中長期的に感染対策と向き合う中で、運動不足から身体的及び精神的な健康を脅かす健康二次被害も懸念されています。子どもの健全な発育・発達や身体的活動量の低下のほか、特に中高年齢者については生活習慣病の発症、骨・筋肉等運動器の衰え、認知症等をきたすリスクが高まります。継続的な運動が、自己免疫力を向上し、感染症の予防効果があるとされています。

市では、市民の健康の保持増進に向けて、「健康体操」や「ウォーキング」など、気軽にできる運動を各種事業に取り入れます。自主的に運動に取り組めるよう動機づけを行い、日頃から体を動かし、運動することで生活習慣病予防、介護予防につなげ、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に取り組めます。

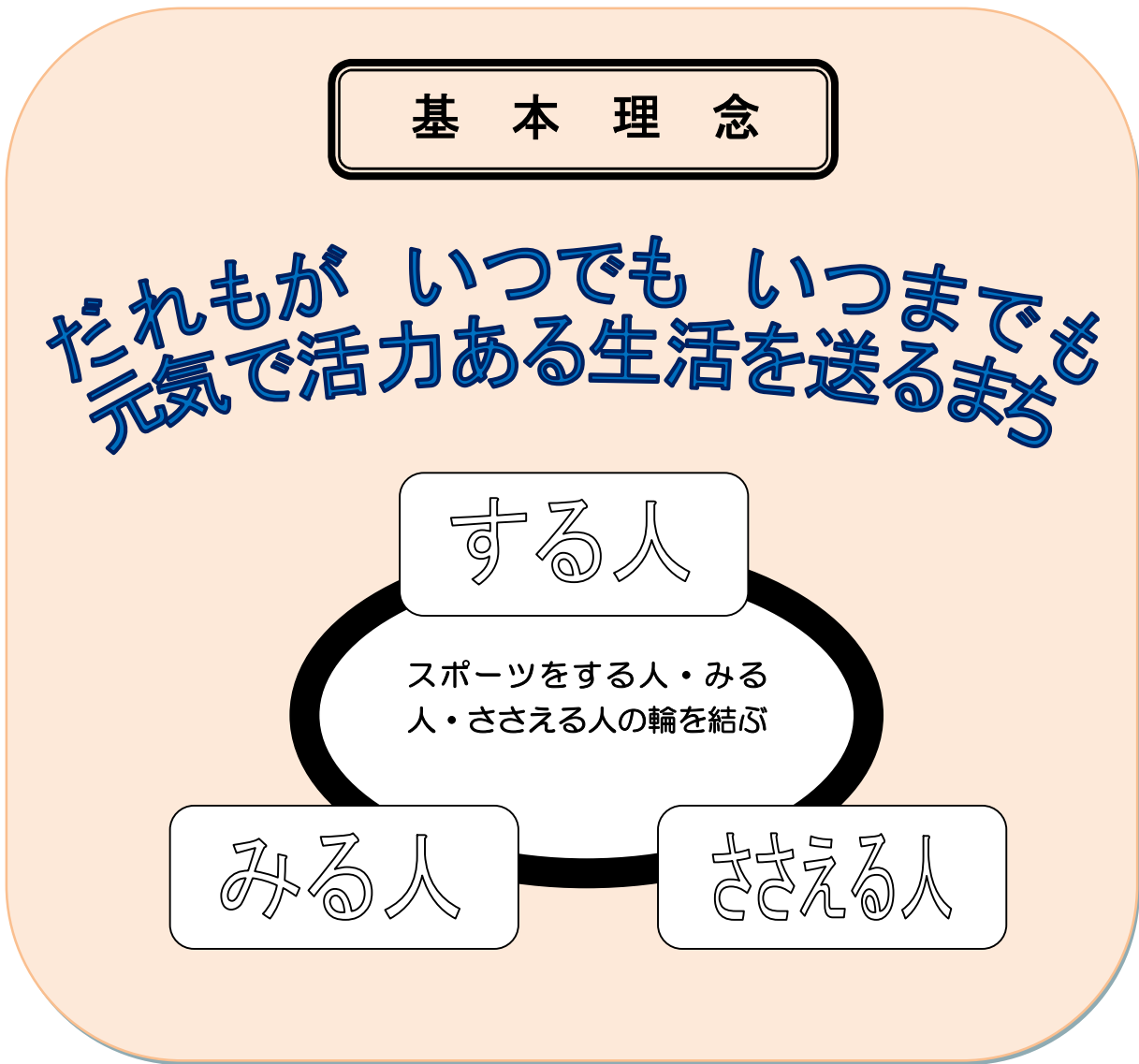
課題

○体を動かす機会が減少し、生活習慣病予防が重要視されている今日、医療費・介護費の抑制、生きがいつくり、社会参加など、保健・福祉・医療分野との連携を強化することが重要です。

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

本市のスポーツの現状と課題を踏まえ、すべての市民が、いつでも、いつまでも元気で、生涯にわたりスポーツ活動に親しみ、自分らしく、いきいきと生活を送る環境をつくることを目指して、本市のスポーツ推進の基本理念を次のとおり設定します。

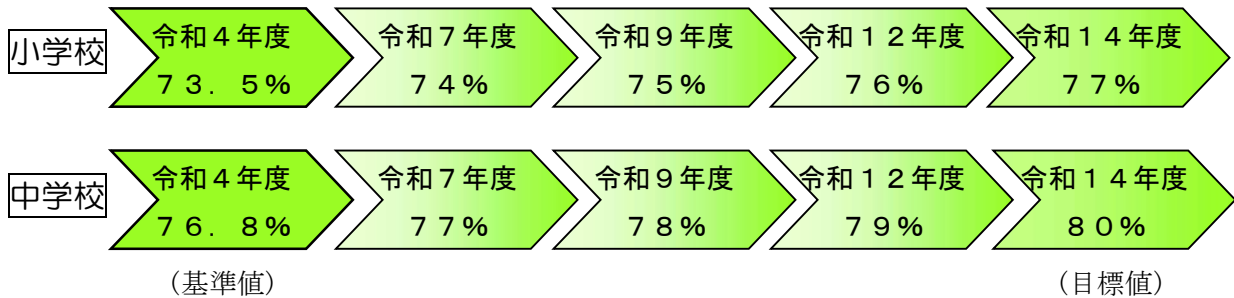


2 基本目標

本計画において、今後のスポーツ推進の主要な目標として次のものを掲げ、その具体化を図るものとします。

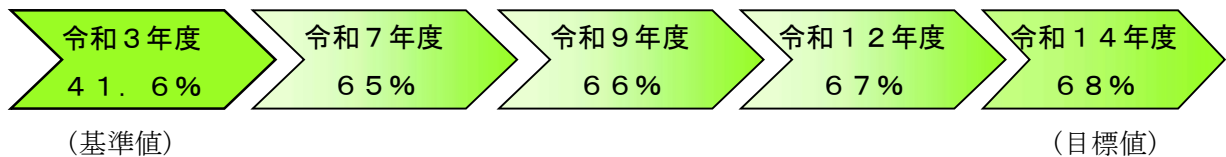
基本目標1 学校における体育・スポーツ活動の充実

新体カテスト総合評価5ランク中上位3ランクの児童生徒の割合



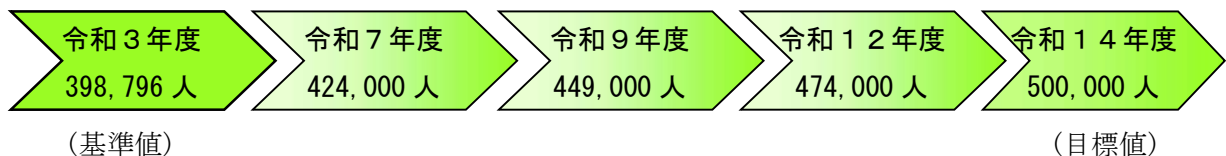
基本目標2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

週1回以上のスポーツ実施率



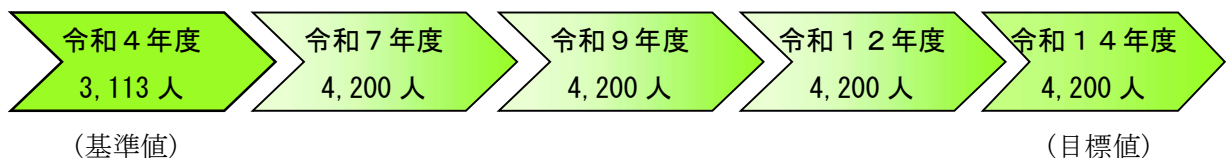
基本目標3 スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実

公共体育施設年間利用者数(延べ人数)



基本目標4 スポーツ体制の支援

各種スポーツ・レクリエーションの会員数



* 4 新体カテストの5段階評価で上位3ランク(A+B+C): 4頁、32頁、33頁参照

3 基本目標と施策

(施策の体系)

重点施策

1 学校における体育・スポーツ活動の充実

(1) 学校体育の充実

① 体育授業の充実

② 体力向上推進委員会の充実

(2) 中学校運動部活動等の充実と
地域移行への検討

① 外部指導員派遣事業の充実と地域移行への検討

② 体育的諸活動の充実

(3) 小・中学生の食・生活習慣の確立

① 小・中学校における食育の推進

② 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進

2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

(1) スポーツ事業の充実

① 各種大会の充実

② 各種教室の充実

(2) 子どものスポーツ活動の推進

① 小学生向けスポーツの充実

② 幼児期におけるスポーツ活動の推進

(3) 成人のスポーツ活動の推進

① 親子スポーツ事業の充実

② 気軽に実施できるスポーツの推進

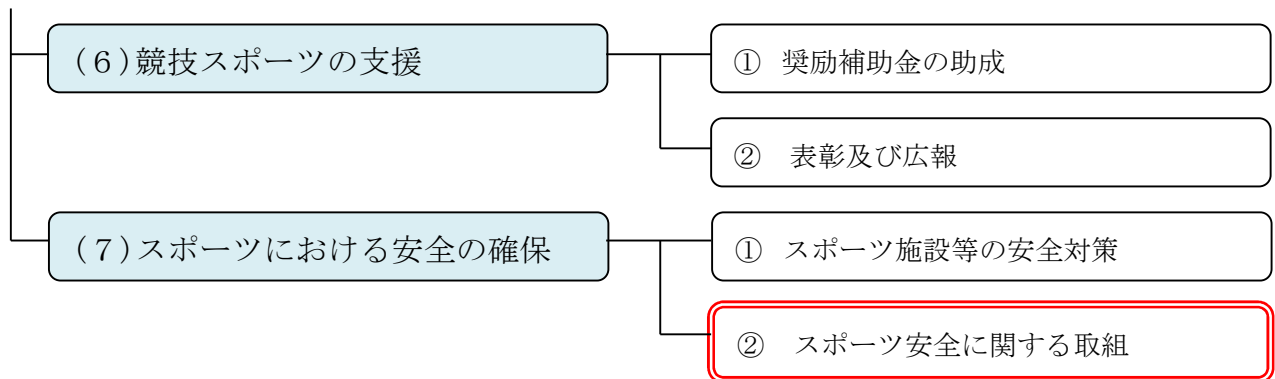
(4) 高齢者のスポーツ活動の支援

① 健康・体力づくりの活動機会の充実

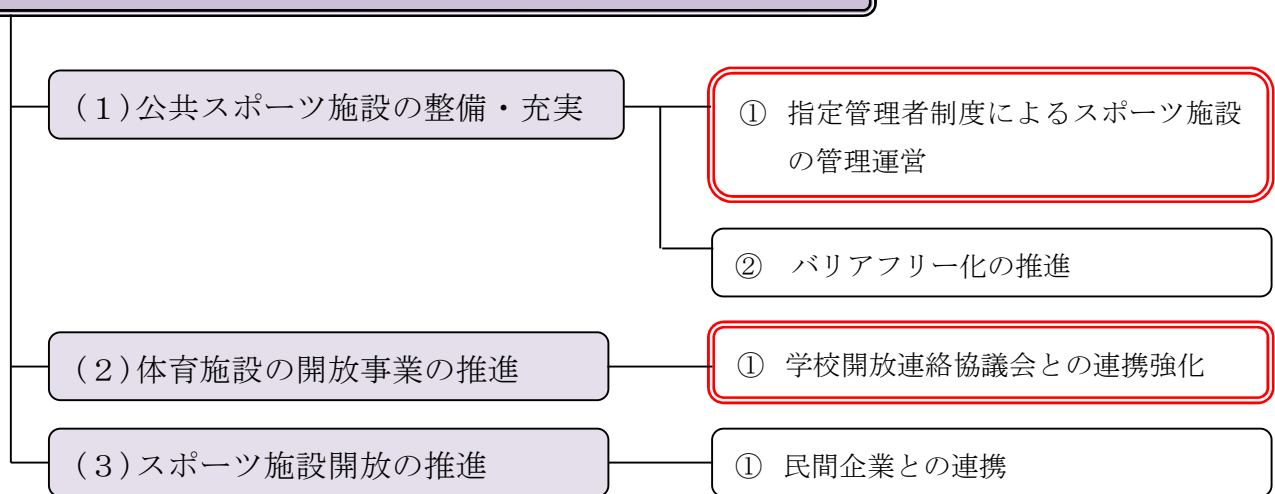
② 介護予防事業との連携

(5) パラスポーツ活動の支援

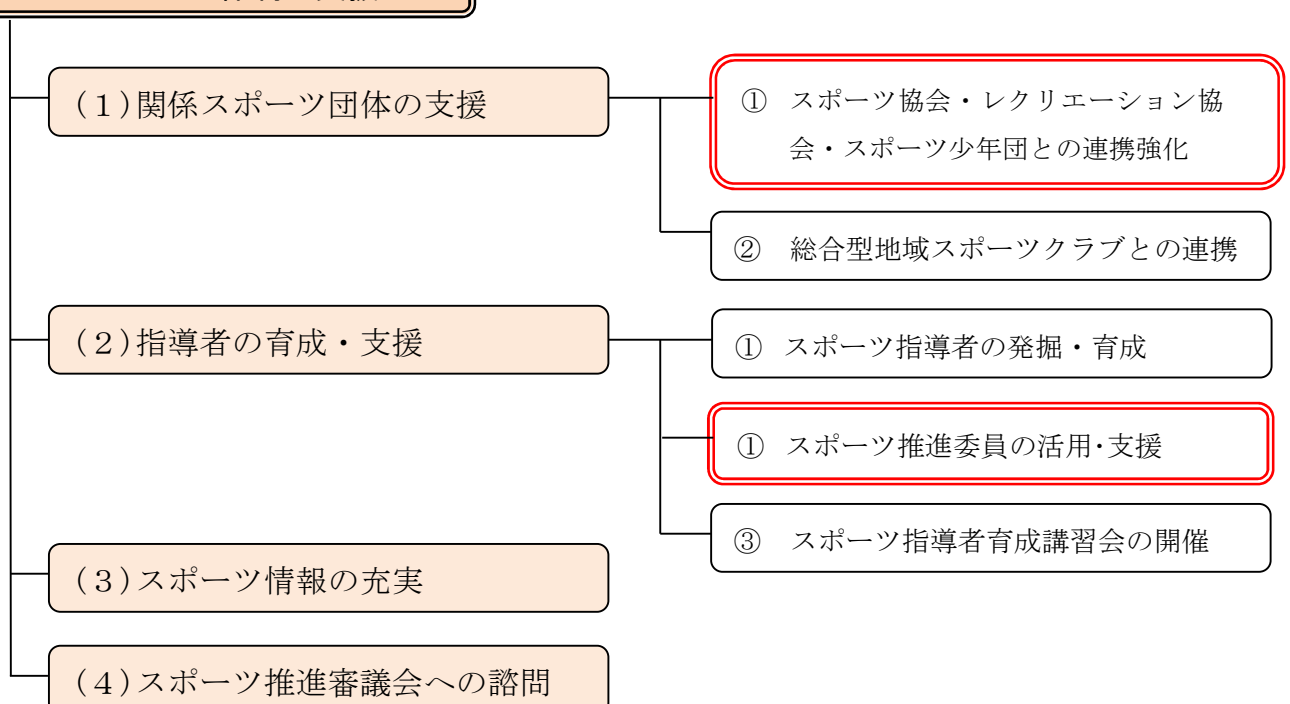
① パラスポーツ活動の支援



3 スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実



4 スポーツ体制の支援



第4章 スポーツ推進のための施策と主な取組

1 学校における体育・スポーツ活動の充実

(1) 学校体育の充実

児童生徒が自ら進んで運動やスポーツに親しむ習慣をつけることにより、健康の増進及び体力の向上を図り、生涯にわたって健康で豊かな生活を送る資質を養います。

① 体育授業の充実

- 運動の特性や魅力を味わわせるため、授業研究会や指導者研修の充実により、教員の指導力向上を図ります。
- 地域の優れた人材を体育授業に活用します。
- 体育施設・用具等の日常点検、定期点検、臨時点検を実施し、安全管理の徹底を図ります。
- 学習規律や集団行動の徹底を図るなど、児童生徒一人一人が安全に留意して活動できる資質や能力の育成に努めます。

② 体力向上推進委員会の充実

- 本市児童生徒の体力の実態を分析し、課題を明確にして、具体的な策を講じ、体力向上を図ります。
- 体力向上に関する研究を委嘱し、その研究成果を市内各小・中学校に広めます。
- 広報誌の発行や講演会の開催を通して、教員の意識啓発に努めます。

(2) 中学校運動部活動等の充実と地域移行への検討

部活動の充実・発展に努め、生徒の運動・スポーツに対する興味関心を高めるとともに、生徒の心身の健全な発達と技能及び体力の向上を図ります。

① 外部指導員派遣事業・外部指導者派遣事業の充実と地域移行への検討

- 部活動外部指導員派遣事業・外部指導者派遣事業により、専門的な技術指導のできる地域指導者を派遣します。併せて、部活動の地域移行についても、段階的に進めていきます。

② 体育的諸活動の充実

- 体を動かす心地良さや友達と交流する楽しさを実感できる体育的活動を充

実させるとともに、休み時間の外遊びを奨励します。

(3) 小・中学生の食・生活習慣の確立

児童生徒に望ましい食習慣・生活習慣を身に付けさせ、健康で活力ある生活を送るための基礎を培います。

① 小・中学校における食育の推進

- 学校と家庭で連携を図り、朝食欠食の解消に取り組みます。
- 授業研究会や研修会を充実させ、学校における食育推進者の指導力向上を図ります。

② 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進

- 子どもたちの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上のために、学校・家庭・地域で連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」運動の啓発活動に取り組みます。

◎重点取組事項

豊かなスポーツライフの基礎を構築するため、小・中学校の体育・保健体育科の授業改善、体育的活動の充実を図り、児童生徒に運動することの楽しさや喜びを体得させるよう努めます。

2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

(1) スポーツ事業の充実

市民が年齢や性別、障がいの有無に関係なく、スポーツに親しむことができるよう、県やスポーツ関係団体等と連携を図り、様々なスポーツ大会や教室の開催に努めます。

① 各種大会の充実

○各スポーツ団体と連携し、幅広い世代を対象としたスポーツ大会やイベント等を開催します。また、指定管理者が実施しているスポーツフェスティバルや各種大会の一層の充実を図ります。

② 各種教室の充実

○スポーツ活動に取り組むきっかけづくりとして気軽に参加できるよう、体育センター指定管理者が実施する教室の充実を図るとともに、体育協会加盟団体が実施する各教室の推進・支援に努めます。

(2) 子どものスポーツ活動の推進

テレビゲーム等の普及により、子どもたちの遊びにも変化が見られ、身体を動かす機会が減ってきています。運動離れによる体力低下を防ぐためにも幼児や小学生を対象にしたスポーツ活動の充実を図ります。

① 小学生向けスポーツの充実

○スポーツ少年団等に所属していない子どもたちでも参加しやすく楽しめるスポーツ活動の充実を図ります。

② 幼児期におけるスポーツ活動の推進

○幼児期に運動することへの興味・関心を高めるよう、幼稚園や保育所と連携し、運動する機会の増加を図ります。

(3) 成人のスポーツ活動の推進

インセンティブの付与、ICTの活用、民間団体を含め、市内で行われている多様なスポーツ活動の紹介など、様々な事業を通し、スポーツや運動への関心が低い人や苦手意識がある人、多忙な人が気軽に運動・スポーツに取り組めるよう努めます。

① 親子スポーツ事業の充実

○仕事や子育てが忙しく、スポーツをする機会がない親子を対象とした事業の

増加を図るとともに、家庭でも楽しめるスポーツの情報を提供します。

② 気軽に実施できるスポーツの推進

- ニュースポーツや気軽に取り組めるスポーツの教室やイベント等を開催するなど、多種多様なスポーツ機会の提供に努めます。
- 市民のスポーツ実践の動機づけとなるよう、関係団体等と連携し、成人を対象とした体力測定を実施します。
- 埼玉県が奨励している「スポーツ通勤」等、日常生活の中で気軽に取り組めるスポーツ活動の普及・啓発に努めます。

(4) 高齢者のスポーツ活動の支援

いくつになっても健康で充実した日々を過ごすことができるよう、地域におけるスポーツ環境の整備を図るとともに、高齢者がスポーツ教室や地域での取組へ参加できる機会を広げ、高齢者の社会参加を促進します。

① 健康・体力づくりの活動機会の拡充

- 健康・体力づくりのための事業の充実を図るとともに、家庭でも無理なくできるスポーツ活動の情報提供に努めます。

② 介護予防事業との連携

- 介護予防として実施している運動教室等の拡充を図り、高齢者の生活機能の向上や運動習慣の意識啓発に努めます。

(5) パラスポーツ活動の支援と共生社会の実現

障がいのある人にとってスポーツは、身体的だけでなく精神的・社会的リハビリテーションの機会でもあり、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与するという大きな役割があります。

① パラスポーツ活動の支援

- 障がいのある人が気軽にスポーツに親しむことができるよう、体育館や公民館等のバリアフリー化を進めるとともに、定期的な活動ができるスポーツ教室等の開催に努めます。
- 障がいのある人が自主的かつ積極的にスポーツに取り組めるよう、当事者の声を聴きながら障がいの種類や程度に応じた必要な配慮をし、参加機会の創出・拡大を進めます。
- 障がいのある人が主体的に取り組むスポーツ活動における情報提供を行い、参加の促進を図るとともに、参加者の支援に努めます。
- 障がいのある人が気軽にスポーツ活動を楽しむことができるよう、支援者や

指導者の養成に取り組みます。

(6) 競技スポーツの支援

体育・スポーツの全国大会や関東大会出場者に対して、奨励補助金の交付や表彰を行うことにより、市民の体育・スポーツの普及、奨励、競技力の向上を図ります。

① 奨励補助金の助成

○各種スポーツ大会において、全国大会及び関東大会に選抜されて出場する市民を支援します。

② 表彰及び広報

○競技スポーツの情報発信として、国際大会出場や全国大会上位入賞など優秀な成績を収めた市民に対して表彰を行うとともに、広報きたもとに掲載します。

(7) スポーツにおける安全の確保

スポーツ事故その他スポーツによって生じる怪我等の防止及びこれらの軽減を図ることは、安全な環境のもとで日常的にスポーツに親しむために不可欠です。

市民が安全にスポーツ活動を行えるよう、環境を整え、スポーツによって生じる怪我等の防止や軽減を図ります。

① スポーツ施設等の安全対策

○スポーツ施設の耐震化や修繕等を計画的に進め、安全にスポーツができる場所の提供に努めます。

○各管理施設にAEDを設置するとともに、定期的にメンテナンスを行い、不測の事態に備えます。

② スポーツ安全に関する取組

○スポーツによる怪我等に関わる最新のスポーツ医・科学的知見を学習するための研修やスポーツ用具の定期的な点検及び適切な保管管理に関する啓発に努めます。

○スポーツ指導者等を対象とした普通救命講習会を実施するとともに熱中症や落雷に関しての情報提供等に努めます。

○スポーツに関する保険制度について普及を促すなど、事故対応に係る意識の啓発を促進します。

◎重点取組事項

市民の生涯にわたるスポーツ実践の気運を醸成するため、ニュースポーツや気軽に参加できるスポーツ教室の開催、スポーツ活動の広報等に努め、様々な世代のスポーツへの関心を高めます。

3 スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実

(1) 公共スポーツ施設の整備・充実

市民の豊かなスポーツライフを支える上で、スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実が重要です。既存の施設を有効活用するとともに、民間企業との連携を図り、スポーツ活動の場の拡充に努めます。

① 指定管理者制度によるスポーツ施設の管理運営

○誰もが利用しやすい施設を目指して、指定管理者と連携を図りながら適正な管理運営に努めます。利用者の声を基に、安全で快適に利用できるよう施設の一層の充実を図ります。

② バリアフリー化の推進

○公共スポーツ施設を、車椅子やベビーカーでも利用しやすいようスロープの設置や駐車場の確保に努めます。トイレや洗面所なども、障がい者や高齢者を含む誰もが使用しやすく安全に利用できるよう施設のバリアフリー化に努めます。

(2) 体育施設の開放事業の推進

学校体育施設を多くの市民が身近なスポーツの場として活用できるよう、施設開放の充実に取り組みます。

① 学校開放連絡協議会との連携強化

○学校体育施設の開放の円滑な運営、管理及び各施設の連絡調整を行っている学校開放連絡協議会との連携をさらに深め、効果的・効率的な利用のあり方を研究し、地域住民にとって利用しやすい事業とします。

(3) スポーツ施設開放の推進

公共スポーツ施設の利用者増加を図るとともに、市民の多様なニーズに応えるため、民間企業と提携し専門的な施設の開放に努めます。

① 民間企業との連携

○民間企業との連携を図り、民間スポーツ施設の利用拡大に努めます。

◎重点取組事項

より多くの市民の施設利用に供するため、指定管理者や学校開放連絡協議会等、関係団体との連携を一層強化し、施設の有効かつ効率的な活用を図ります。

4 スポーツ体制の支援

(1) 関係スポーツ団体の支援

市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを目指し、地域のスポーツ関係団体を育成するとともに、その支援に努めます。

① スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会との連携強化

○市民が主体的にスポーツ活動に取り組める環境づくりを目指し、スポーツ関係団体を一層支援していくとともに、スポーツの裾野を広げ、多くの市民がスポーツに親しむ機会の充実を図ります。

② 総合型地域スポーツクラブとの連携

○総合型地域スポーツクラブが、地域住民のスポーツ活動の場として定着し、活発な活動に取り組めるよう支援していきます。

(2) 指導者の育成・支援

市民がスポーツ活動を始め、継続していくためには、スポーツ指導者の存在が重要です。スポーツ活動を支える指導者の育成・支援に努めます。

① スポーツ指導者の発掘・育成

○指導者の確保・育成・活用を円滑にするため、「埼玉県スポーツリーダーバンク制度」を活用し、市民のニーズに応じた指導体制の支援に努めます。

② スポーツ推進委員の活用・支援

○地域のスポーツ活動の指導者として、スポーツ推進委員の積極的な活用を推進するとともに、指導者としての資質向上を図るため、研修会へ派遣します。

③ スポーツ指導者育成講習会の開催

- スポーツ指導者を対象とした普通救命講習会の実施や、研修会等への参加を促し、指導者として必要な知識を習得する機会を設け、資質の向上を図ります。

(3) スポーツ情報の充実

市のホームページにスポーツ団体の情報を掲載し多種多様なスポーツ情報を提供します。また、県が推奨するスポーツ活動の取組や、市が実施する事業の情報を提供します。

(4) スポーツ推進審議会への諮問

本計画に掲げた施策の実施状況及びスポーツ推進に関する事業の実施、施設・設備の整備等について、審議会に諮問し、計画や事業の見直しを行うとともに改善に努めます。

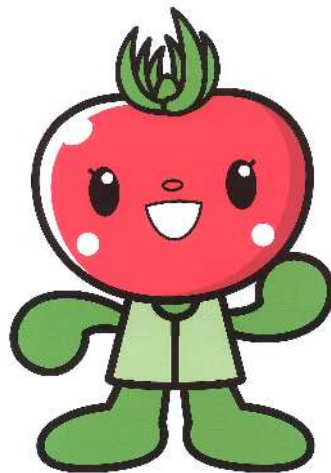
◎重点取組事項

関係スポーツ団体等との連携強化に努め、市民が気軽にスポーツに親しめるような環境の整備を図ります。

また、指定管理者、体育協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会、総合型地域スポーツクラブ等が連携し、スポーツ教室やイベント等を開催できるような体制を整えます。

資料編

- 資料1 北本市児童生徒の新体力テスト結果及び得点表と総合評価基準表
- 資料2 第2期北本市スポーツ推進計画に係るアンケート調査報告書
- I 調査の概要
 - II 一般市民（16歳以上）調査
 - III 小学5年生調査
 - IV 中学2年生調査
 - V 調査結果のまとめ
 - VI 自由意見欄のまとめ
- 資料3 関係法令・例規
- 資料4 計画策定の経過
- 資料5 名簿



北本トマトイメージキャラクター「とまちゃん」

資料1 北本市児童生徒の新体力テスト結果

令和3年度 北本市児童生徒の平均値と県平均値との比較一覧表（男子）

項目	学校種別 学年	小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3
握力 (kg)	自平均	8.64	10.52	12.26	13.79	16.06	18.36	23.44	30.13	33.30
	県平均	9.06	10.65	12.40	14.23	16.28	19.17	23.92	29.48	34.33
	比較	×	—	—	—	—	×	—	—	×
上体起こし (回)	自平均	11.27	14.73	17.03	17.58	20.53	20.58	23.87	28.26	31.35
	県平均	12.31	14.94	17.30	19.16	20.89	22.69	24.95	28.59	31.12
	比較	×	—	—	×	—	×	×	—	—
長座体前屈 (cm)	自平均	25.90	26.46	29.01	30.75	32.81	35.67	40.81	46.07	48.43
	県平均	27.18	26.84	30.91	32.65	35.00	37.34	42.92	48.04	51.69
	比較	×	×	×	×	×	×	×	×	×
反復横とび (点)	自平均	26.89	29.87	35.31	38.23	42.69	45.73	48.06	51.46	57.07
	県平均	28.06	31.52	35.12	39.15	42.80	46.13	48.16	52.32	55.16
	比較	×	×	—	—	—	—	—	—	○
持久走 (秒)	自平均							414.82	398.85	371.05
	県平均							421.13	388.89	373.41
	比較							—	×	—
20mシャトルラン (回)	自平均	18.10	28.26	39.80	42.88	52.37	60.98			
	県平均	22.13	30.09	37.74	45.29	52.17	59.76	68.93	81.32	86.11
	比較	×	—	—	—	—	—			
50m走 (秒)	自平均	11.74	10.86	10.01	9.77	9.30	9.01	8.69	7.94	7.55
	県平均	11.50	10.68	10.14	9.71	9.34	8.91	8.54	7.90	7.49
	比較	×	×	—	—	—	—	×	—	—
立ち幅とび (cm)	自平均	114.41	126.00	138.65	147.27	156.56	165.46	175.43	201.59	211.00
	県平均	116.92	127.54	137.66	146.26	155.29	166.32	183.26	200.64	215.40
	比較	×	—	—	—	—	—	×	—	×
ボール投げ (m)	自平均	7.82	9.98	13.94	16.75	19.76	22.90	16.75	20.08	23.14
	県平均	7.87	10.61	13.49	16.60	19.78	23.01	17.63	21.14	24.08
	比較	—	×	—	—	—	—	×	×	×

○：県平均値を上回っているもの ×：県平均値を下回っているもの —：県平均値と有意差がないもの（統計学的検定による）

男	小学校 48項目			中学校 24項目		
	○	—	×	○	—	×
数	0	30	18	1	11	12
%	0.0	62.5	37.5	4.2	45.8	50.0

令和3年度

北本市児童生徒の平均値と県平均値との比較一覧表（女子）

項目		学校種別		小学校						中学校		
		学年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
握力 (kg)	自平均	8.10	10.51	11.29	13.16	15.11	19.01	20.63	23.96	26.10		
	県平均	8.67	10.17	11.90	13.84	16.29	19.12	21.76	24.36	25.86		
	比較	×	○	×	×	×	—	×	—	—		
上体起こし (回)	自平均	11.88	14.52	16.45	16.93	18.76	19.39	21.21	25.36	29.63		
	県平均	12.14	14.61	16.84	18.69	20.19	21.35	22.49	25.53	27.25		
	比較	—	—	—	×	×	×	×	—	○		
長座体前屈 (cm)	自平均	29.19	29.60	33.83	34.15	36.54	41.53	43.32	48.23	51.39		
	県平均	29.64	31.81	34.52	36.86	39.89	42.62	46.47	50.55	53.25		
	比較	—	×	—	×	×	—	×	×	×		
反復横とび (点)	自平均	26.51	30.09	34.52	35.48	38.85	44.29	45.09	48.11	51.22		
	県平均	26.98	30.28	33.47	37.26	41.09	43.86	44.94	47.43	48.32		
	比較	—	—	○	×	×	—	—	—	○		
持久走 (秒)	自平均							293.47	288.07	273.07		
	県平均							296.89	285.70	284.67		
	比較							—	—	○		
20mシャトルラン (回)	自平均	17.51	25.70	33.19	36.89	41.01	52.48					
	県平均	18.99	24.90	30.53	36.89	43.79	48.86	53.21	59.78	58.27		
	比較	×	—	○	—	×	○					
50m走 (秒)	自平均	11.86	10.95	10.37	10.10	9.67	9.06	9.21	8.72	8.49		
	県平均	11.80	10.99	10.41	9.94	9.53	9.15	9.01	8.70	8.60		
	比較	—	—	—	×	×	—	×	—	○		
立ち幅とび (cm)	自平均	108.16	122.83	131.68	138.97	145.71	158.40	159.63	169.25	183.75		
	県平均	109.85	120.35	131.12	140.66	150.05	158.23	166.79	173.70	177.29		
	比較	—	○	—	—	×	—	×	×	○		
ボール投げ (m)	自平均	5.61	7.41	9.52	11.14	12.78	15.34	11.32	13.06	15.75		
	県平均	5.69	7.39	9.27	11.26	13.40	15.26	11.78	13.72	14.88		
	比較	—	—	—	—	×	—	—	×	○		

○：県平均値を上回っているもの ×：県平均値を下回っているもの —：県平均値と有意差がないもの（統計学的検定による）

女	小学校 48項目			中学校 24項目		
	○	—	×	○	—	×
数	5	25	18	6	9	9
%	10.4	52.1	37.5	25.0	37.5	37.5

新体力テストの得点表及び総合評価一覧

●項目別得点表(6～11歳)

男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	26kg 以上	26 回以上	49cm 以上	50 点以上	80 回以上	8.0 秒以下	192cm 以上	40m以上
9	23～25	23～25	43～48	46～49	69～79	8.1～8.4	180～191	35～39
8	20～22	20～22	38～42	42～45	57～68	8.5～8.8	168～179	30～34
7	17～19	18～19	34～37	38～41	45～56	8.9～9.3	156～167	24～29
6	14～16	15～16	30～33	34～37	33～44	9.4～9.9	143～155	18～23
5	11～13	12～14	27～29	30～33	23～32	10.0～10.6	130～142	13～17
4	9～10	9～11	23～26	26～29	15～22	10.7～11.4	117～129	10～12
3	7～8	6～8	19～22	22～25	10～14	11.5～12.2	105～116	7～9
2	5～6	3～5	15～18	18～21	8～9	12.3～13.0	93～104	5～6
1	4kg 以下	2 回以下	14cm 以下	17 点以下	7 回以下	13.1 秒以上	92cm 以下	4m 以下

女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	25kg 以上	23 回以上	52cm 以上	47 点以上	64 回以上	8.3 秒以下	181cm 以上	25m 以上
9	22～24	20～22	46～51	43～46	54～63	8.4～8.7	170～180	21～24
8	19～21	18～19	41～45	40～42	44～53	8.8～9.1	160～169	17～20
7	16～18	16～17	37～40	36～39	35～43	9.2～9.6	147～159	14～16
6	13～15	14～15	33～36	32～35	26～34	9.7～10.2	134～146	11～13
5	11～12	12～13	29～32	28～31	19～25	10.3～10.9	121～133	8～10
4	9～10	9～11	25～28	25～27	14～18	11.0～11.6	109～120	6～7
3	7～8	6～8	21～24	21～24	10～13	11.7～12.4	98～108	5
2	4～6	3～5	18～20	17～20	8～9	12.5～13.2	85～97	4
1	3kg 以下	2 回以下	17cm 以下	16 点以下	7 回以下	13.3 秒以上	84cm 以下	3m 以下

●合計得点による総合評価基準表(6～11歳)

段階	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
A	39 以上	47 以上	53 以上	59 以上	65 以上	71 以上
B	33～38	41～46	46～52	52～58	58～64	63～70
C	27～32	34～40	39～45	45～51	50～57	55～62
D	22～26	27～33	32～38	38～44	42～49	46～54
E	21 以下	26 以下	31 以下	37 以下	41 以下	45 以下

●項目別得点表(12～19歳)

男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走 (1,500m)	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	56kg 以上	35 回以上	64cm 以上	63 点以上	4'59"以下	6.6 秒以下	265cm 以上	37m以上
9	51～55	33～34	58～63	60～62	5'00"～5'16"	6.7～6.8	254～264	34～36
8	47～50	30～32	53～57	56～59	5'17"～5'33"	6.9～7.0	242～253	31～33
7	43～46	27～29	49～52	53～55	5'34"～5'55"	7.1～7.2	230～241	28～30
6	38～42	25～26	44～48	49～52	5'56"～6'22"	7.3～7.5	218～229	25～27
5	33～37	22～24	39～43	45～48	6'23"～6'50"	7.6～7.9	203～217	22～24
4	28～32	19～21	33～38	41～44	6'51"～7'30"	8.0～8.4	188～202	19～21
3	23～27	16～18	28～32	37～40	7'31"～8'19"	8.5～9.0	170～187	16～18
2	18～22	13～15	21～27	30～36	8'20"～9'20"	9.1～9.7	150～169	13～15
1	17kg 以下	12 回以下	20cm 以下	29 点以下	9'21"以上	9.8 秒以上	149cm 以下	12m 以下

女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走 (1,000m)	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	36kg 以上	29 回以上	63cm 以上	53 点以上	3'49"以下	7.7 秒以下	210cm 以上	23m 以上
9	33～35	26～28	58～62	50～52	3'50"～4'02"	7.8～8.0	200～209	20～22
8	30～32	23～25	54～57	48～49	4'03"～4'19"	8.1～8.3	190～199	18～19
7	28～29	20～22	50～53	45～47	4'20"～4'37"	8.4～8.6	179～189	16～17
6	25～27	18～19	45～49	42～44	4'38"～4'56"	8.7～8.9	168～178	14～15
5	23～24	15～17	40～44	39～41	4'57"～5'18"	9.0～9.3	157～167	12～13
4	20～22	13～14	35～39	36～38	5'19"～5'42"	9.4～9.8	145～156	11
3	17～19	11～12	30～34	32～35	5'43"～6'14"	9.9～10.3	132～144	10
2	14～16	8～10	23～29	27～31	6'15"～6'57"	10.4～11.2	118～131	8～9
1	13kg 以下	7 回以下	22cm 以下	26 点以下	6'58"以上	11.3 秒以上	117cm 以下	7m 以下

●合計得点による総合評価基準表(12～19歳)

段階	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳
A	51 以上	57 以上	60 以上	61 以上	63 以上	65 以上	65 以上	65 以上
B	41～50	47～56	51～59	52～60	53～62	54～64	54～64	54～64
C	32～40	37～46	41～50	41～51	42～52	43～53	43～53	43～53
D	22～31	27～36	31～40	31～40	31～41	31～42	31～42	31～42
E	21 以下	26 以下	30 以下	30 以下	30 以下	30 以下	30 以下	30 以下

第2期北本市スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査
報 告 書

令和4年3月

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

「第2次北本市スポーツ推進計画」策定のための基礎資料とするため、スポーツに関する市民意識や実態を把握することを目的とします。

2. 調査概要と回収結果

■ 一般市民調査

項目	内容
調査対象	市内在住の満16歳以上の市民
配布数	1,000人（住民基本台帳からの無作為抽出）
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和4年1月
回収数	411票
回収率	41.1%

■ 小学5年生調査

項目	内容
調査対象	市内小学校の5年生全員
配布数	443人
調査方法	学校を通じた配布・回収
調査期間	令和4年1月
回収数	428票
回収率	96.6%

■ 中学2年生調査

項目	内容
調査対象	市内中学校の2年生全員
配布数	501人
調査方法	学校を通じた配布・回収
調査期間	令和4年1月
回収数	413票
回収率	82.4%

3. 集計と表記

回答率について

回答は、質問ごとに各項目の回答者数を回答者総数で除し、百分率(%)で表示しました。算出された回答率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問によっては、1人の回答者が1つだけ回答する場合(単数回答)でも、回答率の合計が100%にならないものもあります。

また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい場合(複数回答)では、回答率の合計は100%を上回ることもあります。

表、グラフ中では、回答率とともに、その設問に回答すべき数(回答者総数)も表示しています。

表記について

表、グラフにおいて、回答者数が少ないものを割愛している場合があります。

また、本文中において、回答選択肢の表記を簡略化している場合があります。

※参考1：前回調査について

本報告書の中では、平成23年に市で実施した「スポーツ活動に関する市民アンケート調査」を参考データとして活用しています。

前回調査の調査方法

対象者：16歳以上

調査方法：10代、20代、50代、60代、70歳以上は、郵送による配布・回収。30代と40代は、小学生児童保護者に学校を通じて配布・回収。

※参考2：県調査について

本報告書の中では、平成28年に県で実施した「スポーツに関する県民意識調査・実態調査」を参考データとして活用しています。対象者や集計方法等が異なる部分もありますので、結果をみる際には、以下の点に留意する必要があります。

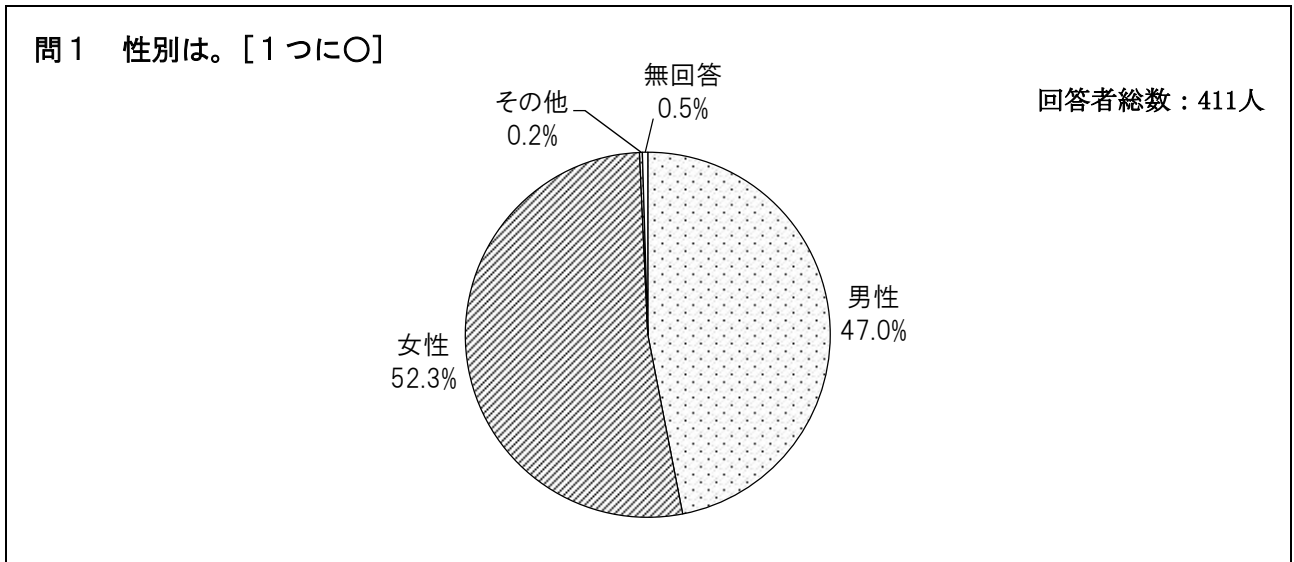
本調査		参考：県調査	
【一般市民】	対象者：16歳以上 調査方法：郵送による配布・回収 回答者総数：各設問の無回答を含める	【成人】	対象者：20歳以上 調査方法：インターネット調査 回答者総数：各設問の無回答を含めない
【小学5年生】	回答者総数：各設問の無回答を含める	【小学5年生】	回答者総数：各設問の無回答を含めない
【中学2年生】	回答者総数：各設問の無回答を含める	【中学2年生】	回答者総数：各設問の無回答を含めない

第2章 調査の結果

第1節 一般市民（16歳以上）調査

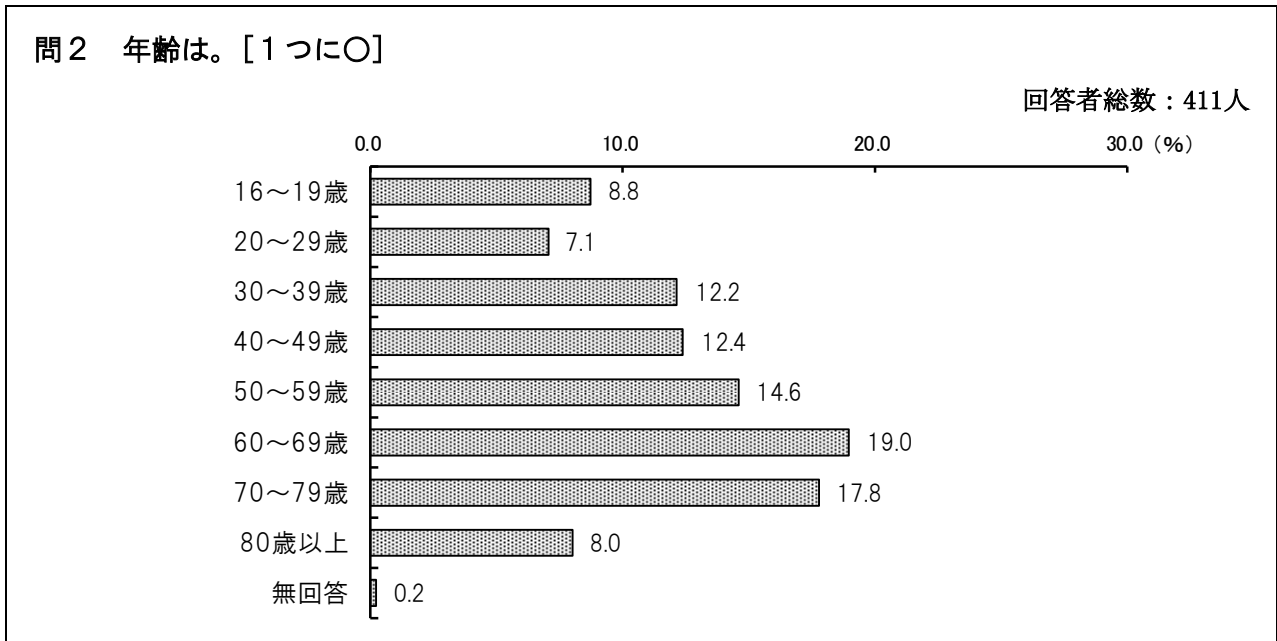
1. 回答者について

(1) 性別



回答者の男女別の構成比は、男性が47.0%、女性が52.3%となっています。

(2) 年齢

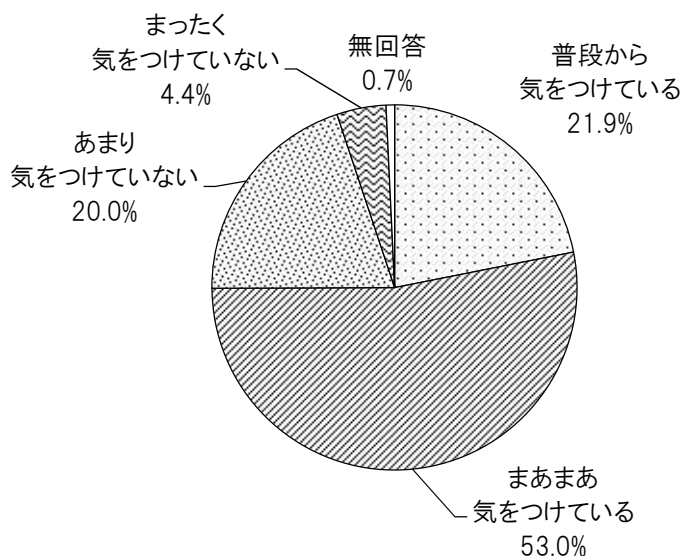


回答者の年齢別の構成比は、「16～19歳」が8.8%、「20～29歳」が7.1%、「30～39歳」が12.2%、「40～49歳」が12.4%、「50～59歳」が14.6%、「60～69歳」が19.0%、「70～79歳」が17.8%、「80歳以上」が8.0%となっています。60代と70代が多くなっています。

(3) 健康への意識

問3 あなたは、自分の健康や体力の維持・増進に気をつけていますか。[1つに○]

回答者総数：411人



自分の健康や体力の維持・増進に気をつけているかという『健康意識』については、「普段から気をつけている」が21.9%、「まあまあ気をつけている」が53.0%で、これらを合わせると、健康に気をつけている人は7割を超えています。一方、「あまり気をつけていない」は20.0%、「まったく気をつけていない」は4.4%で、健康に気をつけていない人は約2割となっています。

【参考：県調査との比較】

県の調査と比較すると、健康に気をつけている人の割合（74.9%）は、県の65.7%より約9ポイント多くなっています。

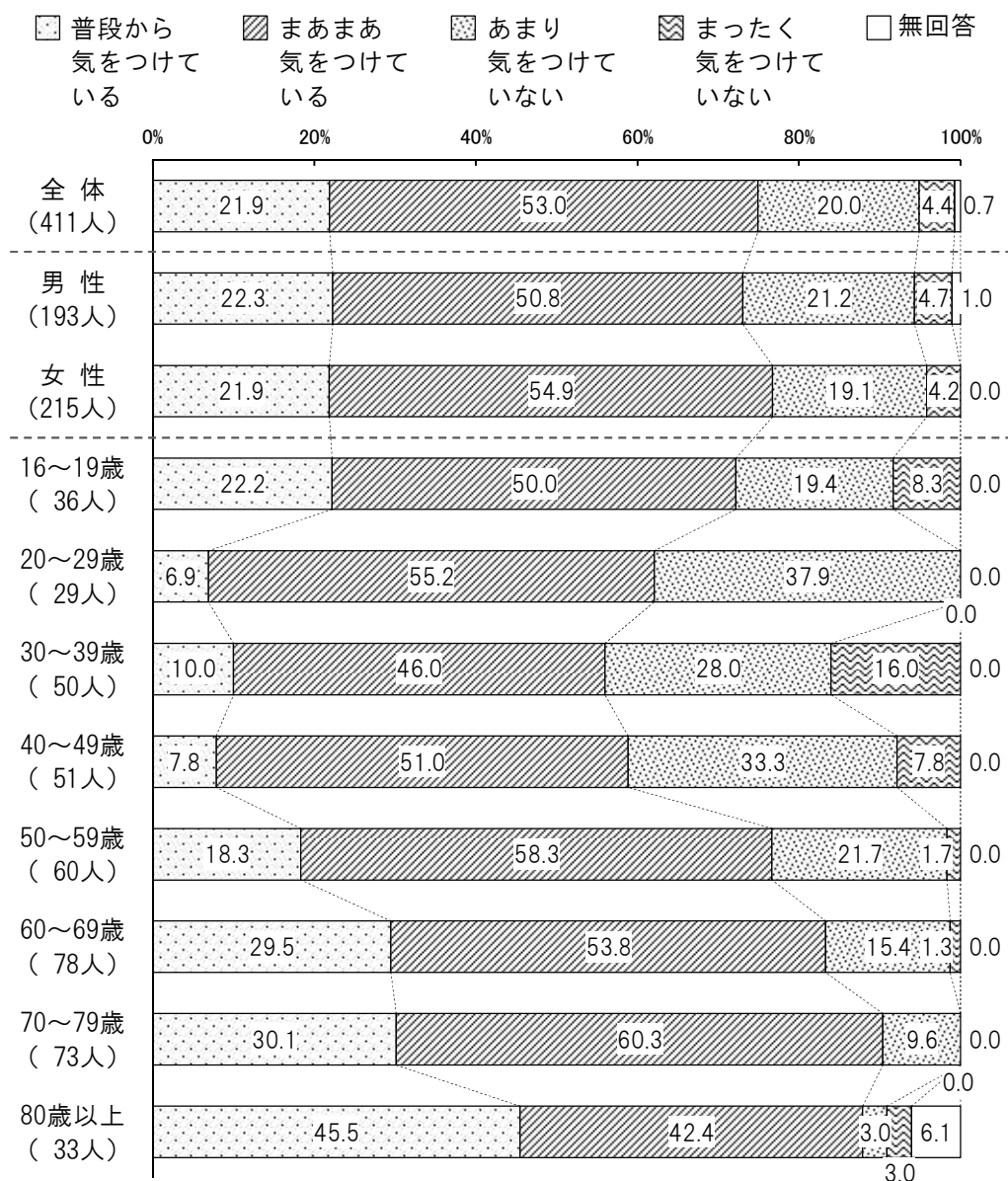
単位：%

	北本市 (411人)		県 (4,500人)	
普段から気をつけている	21.9	74.9	18.0	65.7
まあまあ気をつけている	53.0		47.7	
あまり気をつけていない	20.0	24.4	26.7	34.3
まったく気をつけていない	4.4		7.6	
無回答	0.7	0.7	-	-

【性別、年代別】

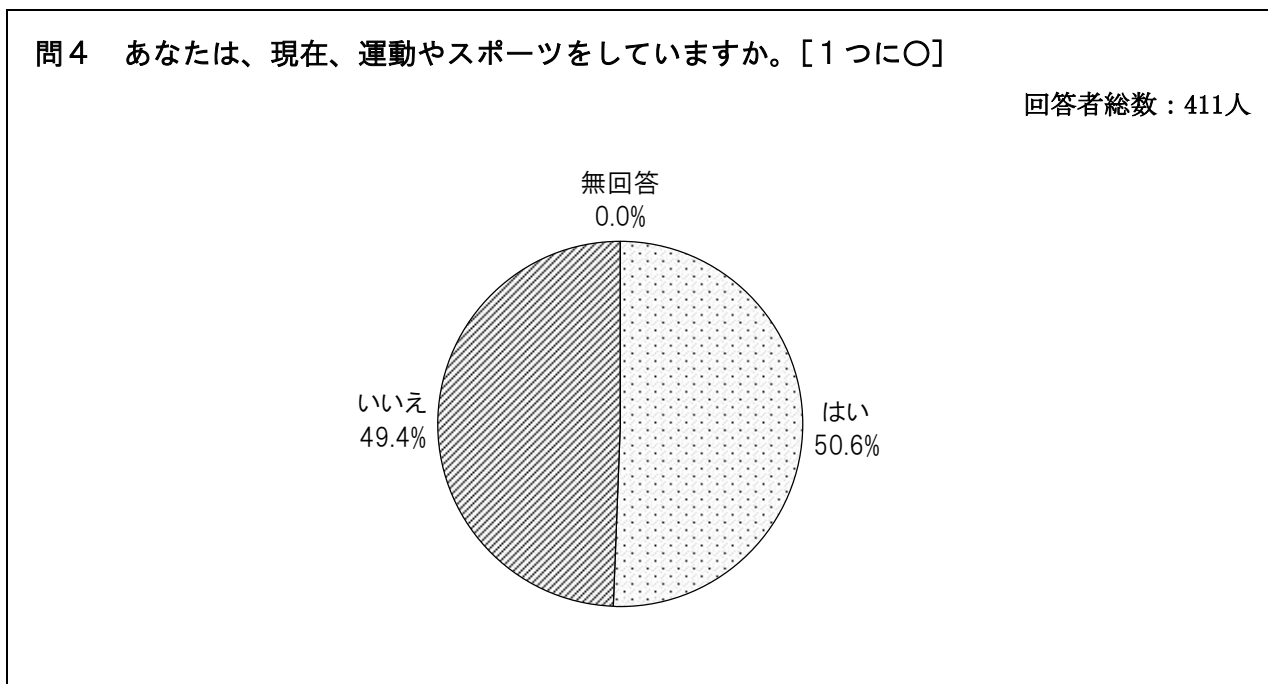
性別で見ると、「まあまあ気をつけている」という割合が、男性より女性のほうが約4ポイント多くなっていますが、健康に気をつけている人の割合に大きな差はみられません。

年代別で健康に気をつけている人の割合をみると、16～19歳では約7割で多くなっていますが、20～29歳、30～39歳、40～49歳では6割程度になっています。50～59歳以上では7割を超えて多く、特に70～79歳では約9割を占めています。



2. 運動やスポーツの実施について

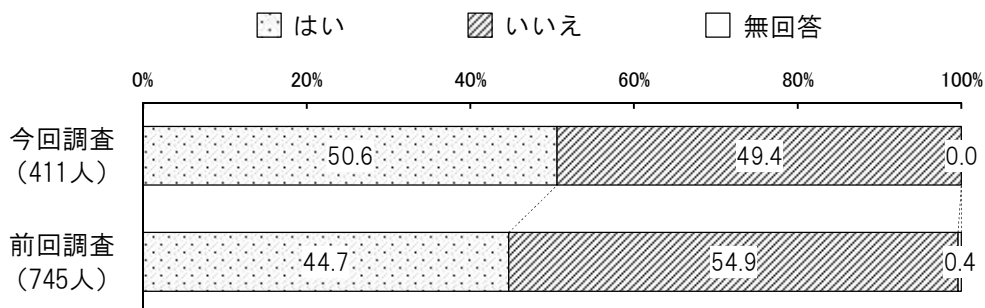
(1) 運動やスポーツの現在の実施の有無



現在、運動やスポーツをしているかについては、「はい」が50.6%、「いいえ」が49.4%となっています。

【経年比較】

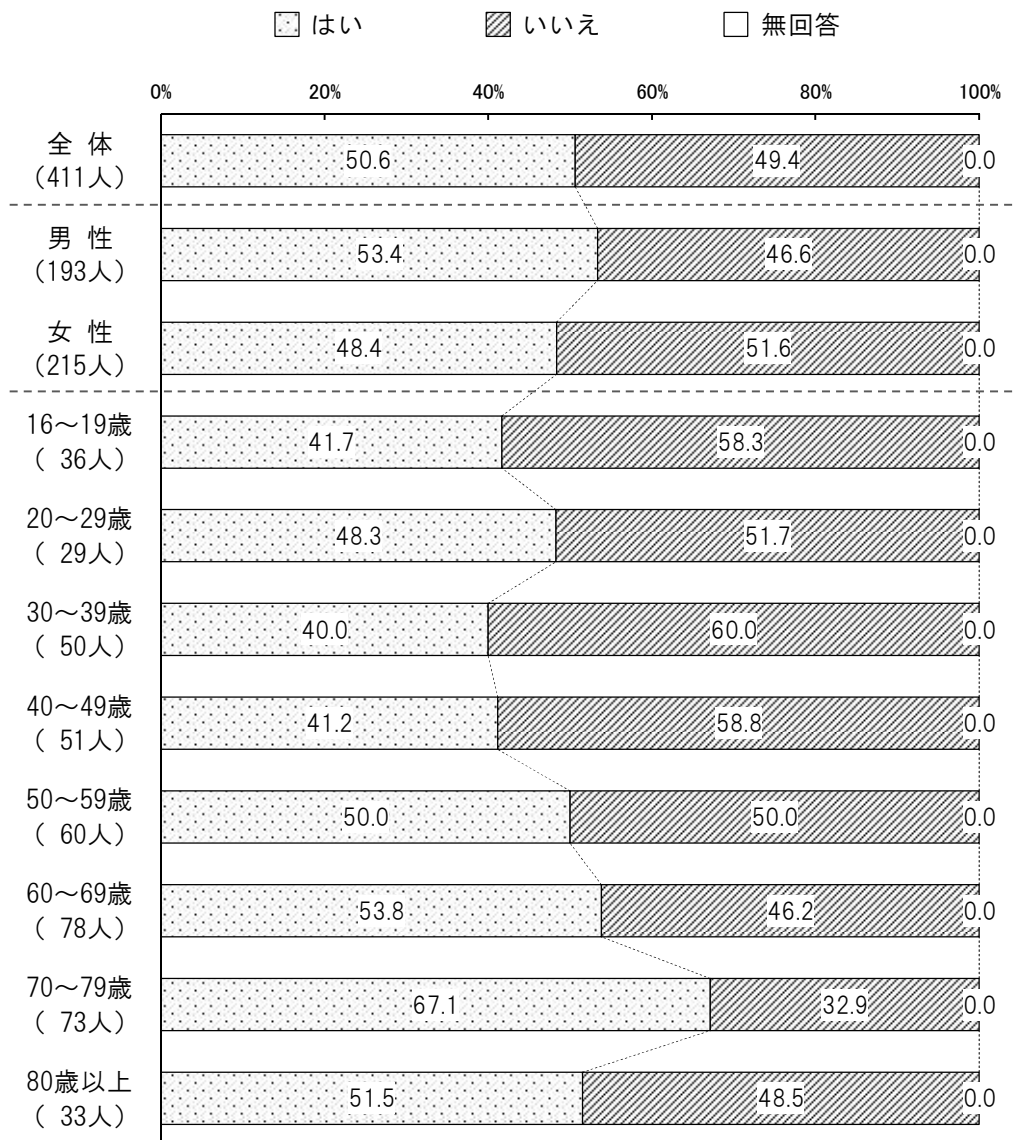
前回の調査と比較してみると、「はい」とした割合が約6ポイント増加しており、運動やスポーツをしている人が増えていることがうかがえます。



【性別、年代別】

性別で「はい」とした割合をみると、女性より男性のほうが5ポイント多くなっています。

年代別で「はい」とした割合をみると、20～29歳では48.3%と5割に近いものの、30～39歳、40～49歳では約4割にとどまっています。割合が最も多いのは70～79歳で、67.1%となっています。

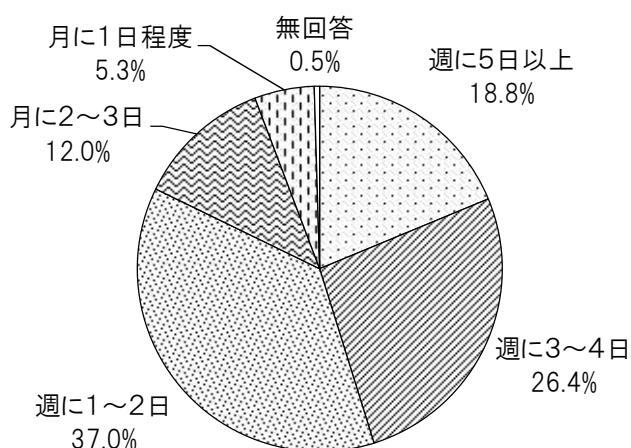


(2) 運動やスポーツの頻度

〔問4で「1. はい」に○をした方だけお答えください〕

問5 運動やスポーツをどの程度していますか。〔1つに○〕

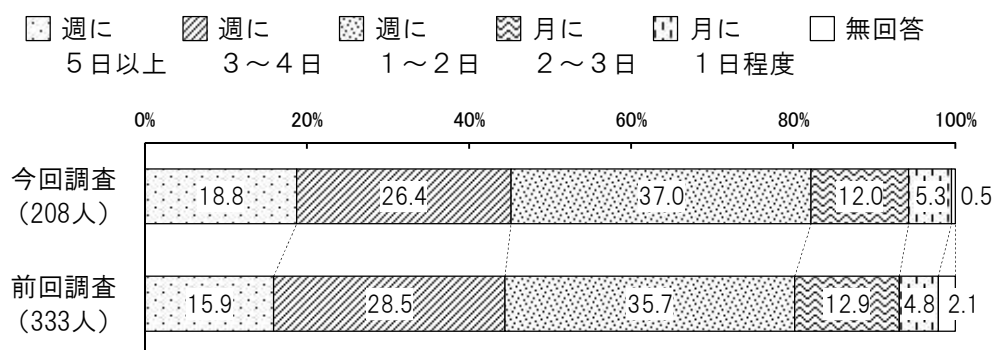
回答者総数：208人



現在、運動やスポーツをしている人に、どの程度行っているかをたずねたところ、「週に5日以上」が18.8%、「週に3～4日」が26.4%、「週に1～2日」が37.0%となっており、「週に1～2日」運動している人が最も多くなっています。

【経年比較】

前回の調査と比較してみると、「週に5日以上」が約3ポイント増加しています。

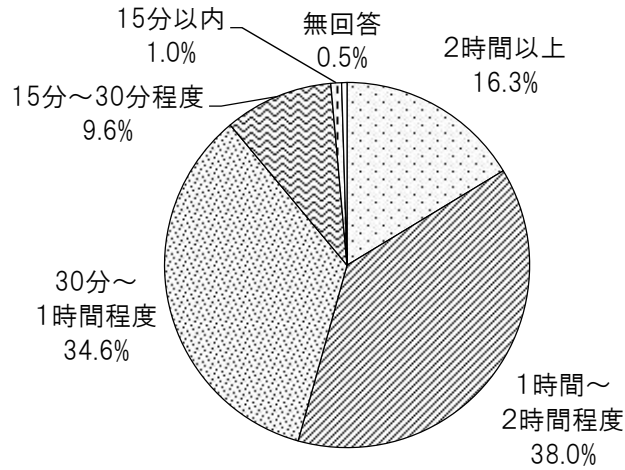


(3) 運動やスポーツの1回の平均時間

〔問4で「1. はい」に○をした方だけお答えください〕

問6 運動やスポーツをする1回の時間は、平均してどのくらいですか。〔1つに○〕

回答者総数：208人



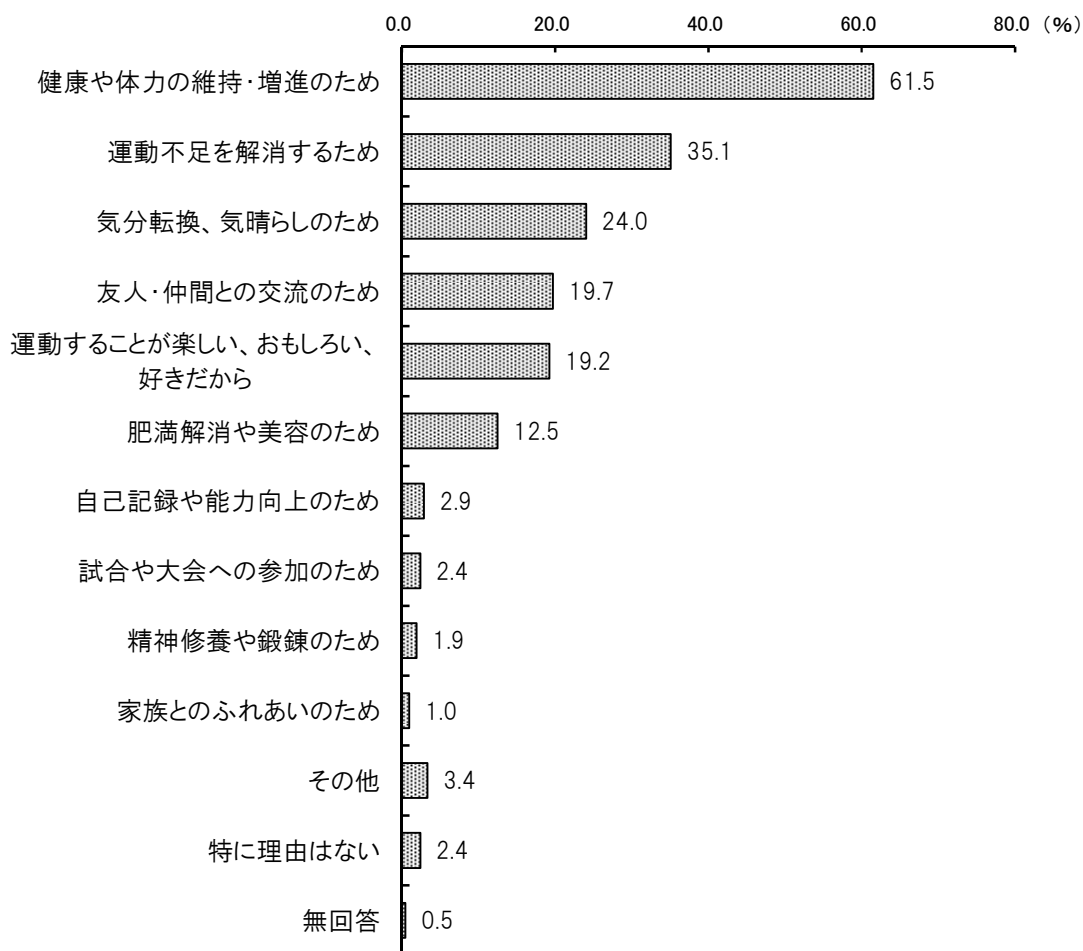
現在、運動やスポーツをしている人に、運動やスポーツをする1回の平均時間をたずねたところ、「2時間以上」が16.3%、「1時間～2時間程度」が38.0%、「30分～1時間程度」が34.6%、「15分～30分程度」が9.6%、「15分以内」が1.0%となっています。「1時間～2時間程度」と「30分～1時間程度」が多くなっています。

(4) 運動やスポーツをする理由

〔問4で「1. はい」に○をした方だけお答えください〕

問7 あなたが、運動やスポーツをする理由は何ですか。〔2つ以内で○〕

回答者総数：208人



現在、運動やスポーツをしている人に、運動やスポーツをする理由をたずねたところ、「健康や体力の維持・増進のため」が61.5%で最も多く、次に「運動不足を解消するため」が35.1%、「気分転換、気晴らしのため」が24.0%となっています。また、「友人・仲間との交流のため」は19.7%、「運動することが楽しい、おもしろい、好きだから」は19.2%となっています。

【参考：県調査との比較】

県の調査と比較すると、「健康や体力の維持・増進のため」、「運動不足を解消するため」、「気分転換、気晴らしのため」といった上位3項目については大きな違いはみられません。また、「友人・仲間との交流のため」は県の割合より約9ポイント多くなっています。また、「運動することが楽しい、おもしろい、好きだから」も約7ポイント多くなっています。

単位：％

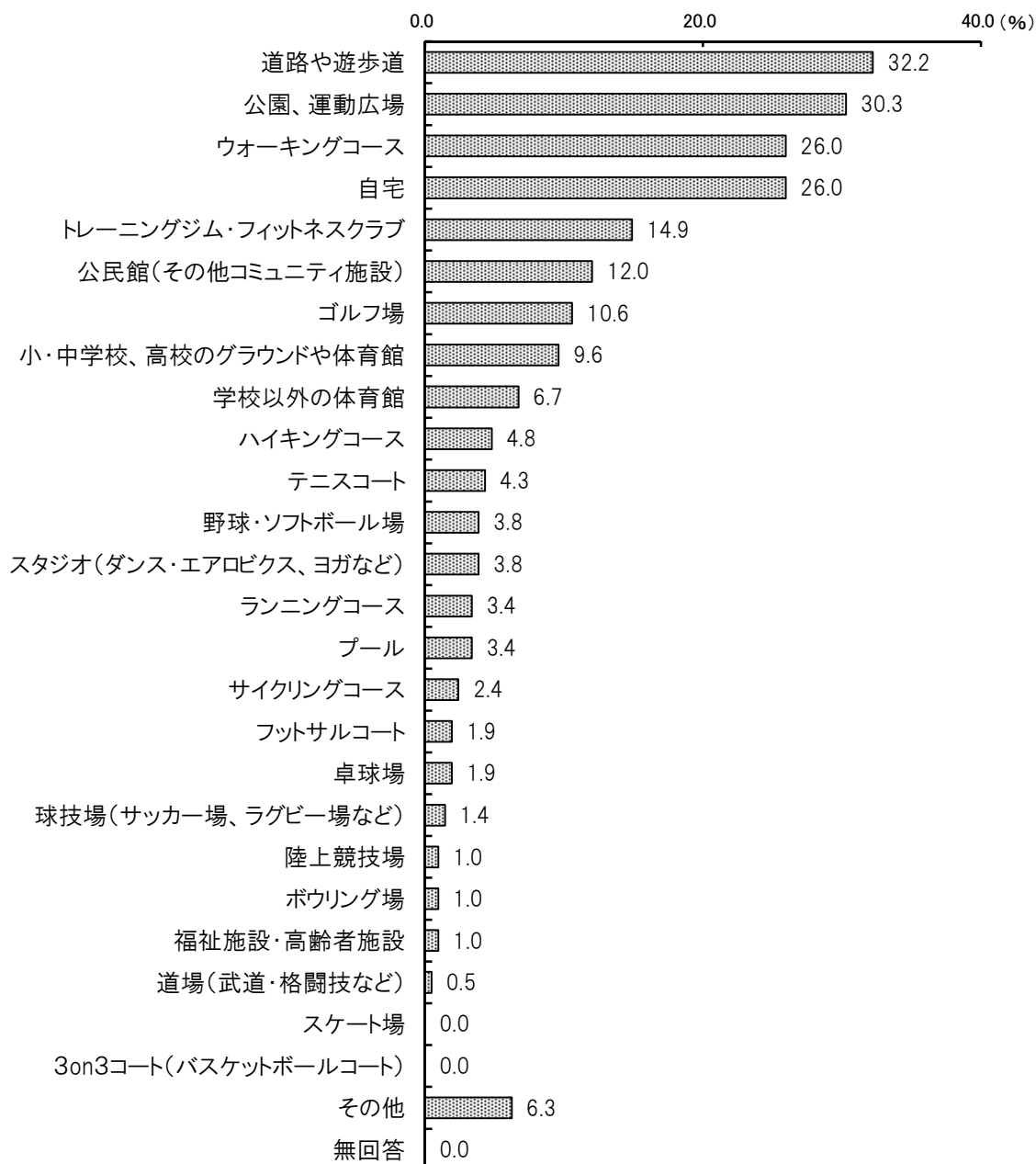
	北本市 (208人)	県 (3,028人)
健康や体力の維持・増進のため	61.5	61.1
運動不足を解消するため	35.1	34.4
気分転換、気晴らしのため	24.0	27.6
友人・仲間との交流のため	19.7	10.5
運動することが楽しい、おもしろい、好きだから	19.2	12.3
肥満解消や美容のため	12.5	13.2
自己記録や能力向上のため	2.9	1.4
試合や大会への参加のため	2.4	1.6
精神修養や鍛錬のため	1.9	0.9
家族とのふれあいのため	1.0	4.1
その他	3.4	0.9
特に理由はない	2.4	4.0
無回答	0.5	-

(5) 運動やスポーツをする場所

〔問4で「1. はい」に○をした方だけお答えください〕

問8 あなたは、普段、どのような場所や施設で運動やスポーツを行っていますか。よく利用するものをすべて選んでください。〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数：208人

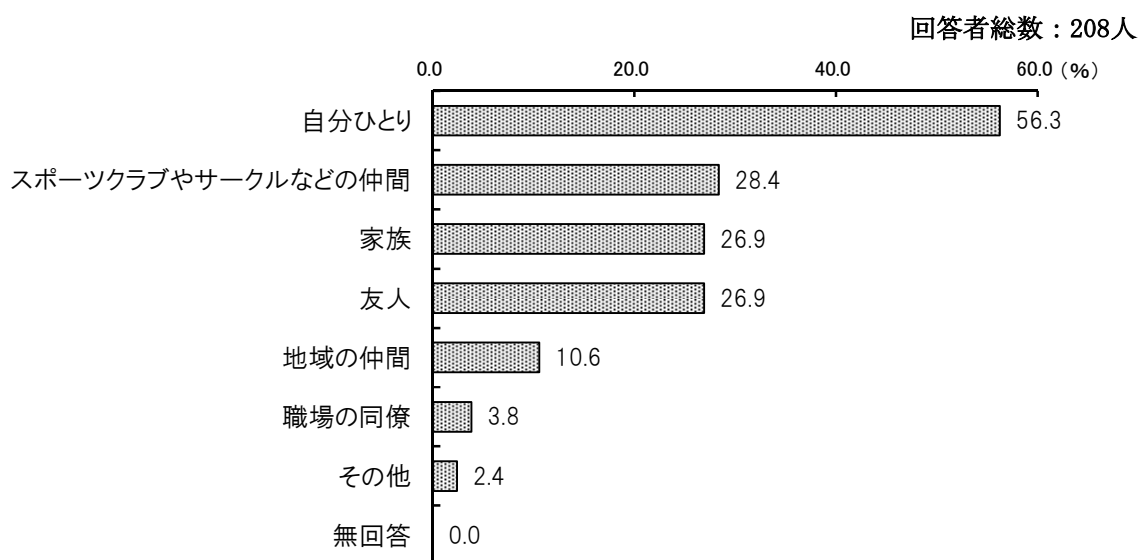


現在、運動やスポーツをしている人に、普段、どのような場所や施設で行っているかをたずねたところ、「道路や遊歩道」が32.2%で最も多く、次に「公園、運動広場」が30.3%、「ウォーキングコース」と「自宅」がそれぞれ26.0%となっています。また、「トレーニングジム・フィットネスクラブ」は14.9%、「公民館（その他コミュニティ施設）」は12.0%となっています。

(6) 運動やスポーツを一緒にする人

〔問4で「1. はい」に○をした方だけお答えください〕

問9 あなたは、誰と一緒に運動やスポーツをすることが多いですか。
〔あてはまるものすべてに○〕



現在、運動やスポーツをしている人に、誰と一緒に運動やスポーツをすることが多いかをたずねたところ、「自分ひとり」が56.3%で最も多く、次に、「スポーツクラブやサークルなどの仲間」が28.4%、「家族」と「友人」がそれぞれ26.9%となっています。

【参考：県調査との比較】

県の調査と比較すると、「自分ひとり」は県の割合より約10ポイント少なくなっています。一方、「スポーツクラブやサークルなどの仲間」では約14ポイント、「地域の仲間」では約7ポイント多くなっています。

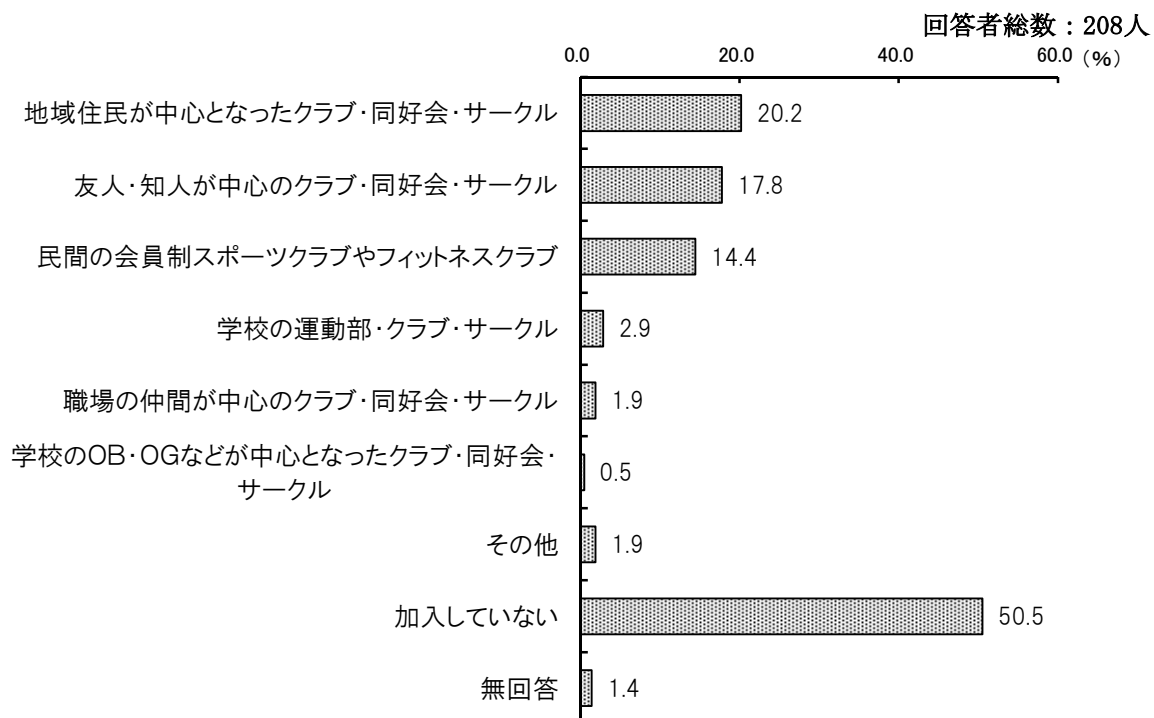
単位：%

	北本市 (208人)	県 (3,028人)
自分ひとり	56.3	66.7
スポーツクラブやサークルなどの仲間	28.4	14.3
家族	26.9	26.0
友人	26.9	23.5
地域の仲間	10.6	3.5
職場の同僚	3.8	4.9
その他	2.4	0.7
無回答	0.0	-

(7) クラブやサークルの加入状況

〔問4で「1. はい」に○をした方だけお答えください〕

問10 あなたは、現在、どのようなスポーツクラブや同好会・サークルに加入していますか。
〔あてはまるものすべてに○〕



現在、運動やスポーツをしている人に、どのようなスポーツクラブや同好会・サークルに加入しているかをたずねたところ、「地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル」が20.2%で最も多く、次に「友人・知人が中心のクラブ・同好会・サークル」が17.8%、「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」が14.4%となっています。

また、「加入していない」は50.5%となっています。

【参考：県調査との比較】

県の調査と比較すると、「地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル」は約10ポイント、「友人・知人が中心のクラブ・同好会・サークル」は約9ポイント、県の割合より多くなっています。一方、「加入していない」は、県の割合より約20ポイント少なくなっています。

単

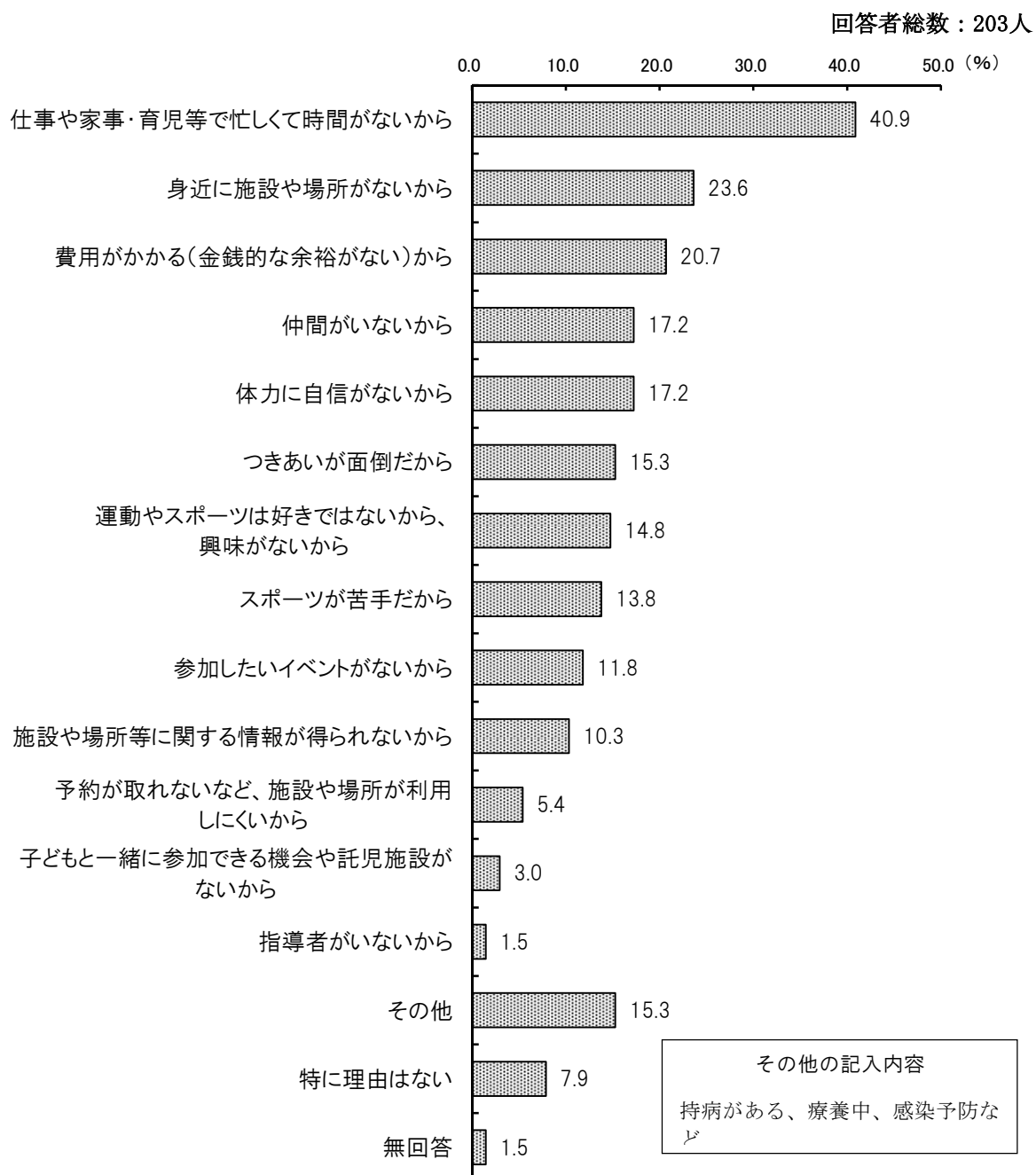
位：%

	北本市 (208人)	県 (3,028人)
地域住民が中心となったクラブ・同好会・サークル	20.2	10.4
友人・知人が中心のクラブ・同好会・サークル	17.8	8.9
民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ	14.4	10.3
学校の運動部・クラブ・サークル	2.9	1.7
職場の仲間が中心のクラブ・同好会・サークル	1.9	2.8
学校のOB・OGなどが中心となったクラブ・同好会・サークル	0.5	1.5
その他	1.9	0.6
加入していない	50.5	70.0
無回答	1.4	-

(8) 運動やスポーツをしない理由

〔問11は、問4で「2. いいえ」に○をした方だけお答えください〕

問11 あなたが運動やスポーツをしない理由（障壁になっていること）は何ですか。
〔あてはまるものすべてに○〕



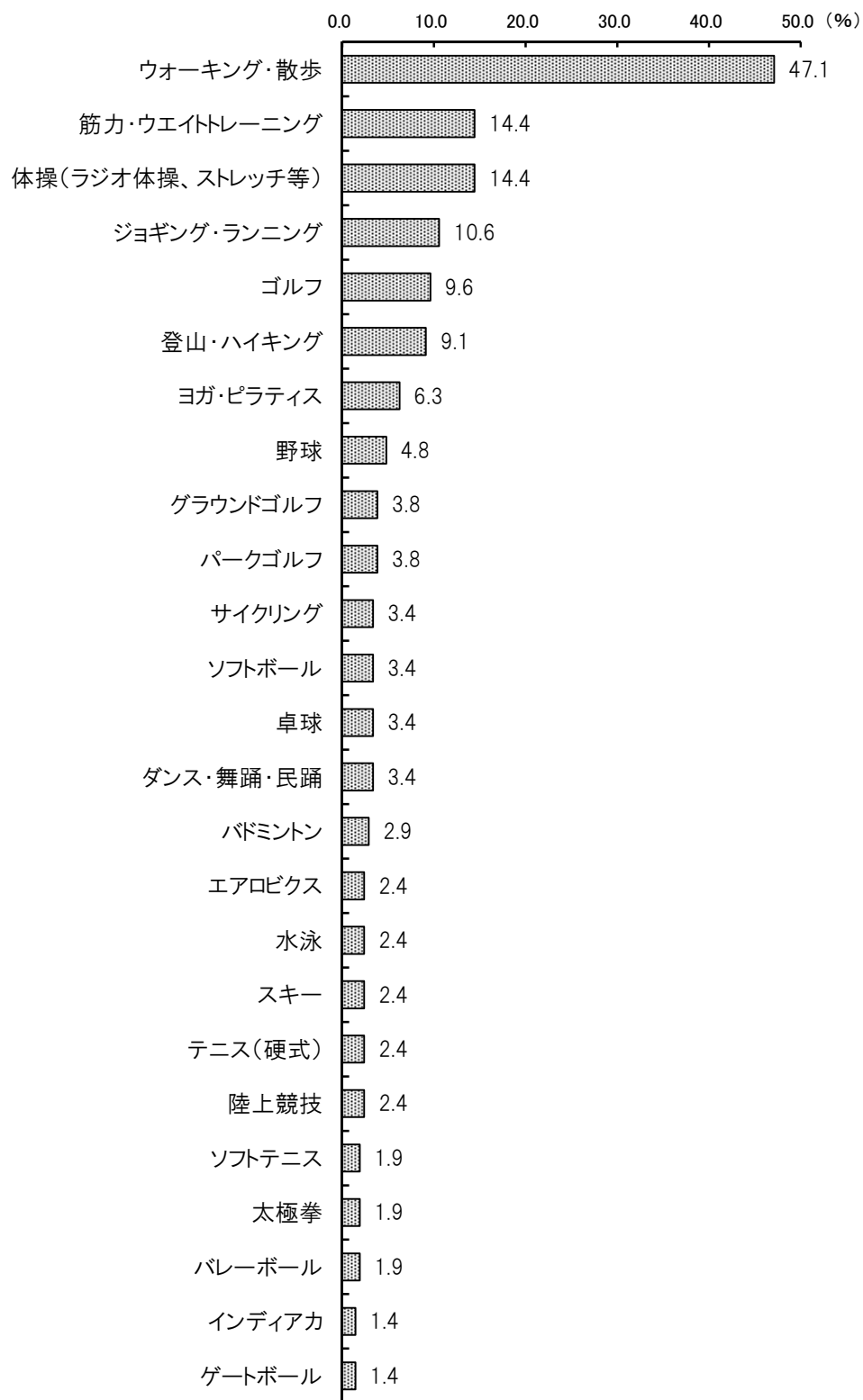
現在、運動やスポーツをしていない人に、運動やスポーツをしない理由（障壁になっていること）をたずねたところ、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が40.9%で最も多く、次に「身近に施設や場所がないから」が23.6%、「費用がかかる（金銭的な余裕がない）から」が20.7%となっています。また、「仲間がないから」と「体力に自信がないから」がそれぞれ17.2%となっています。

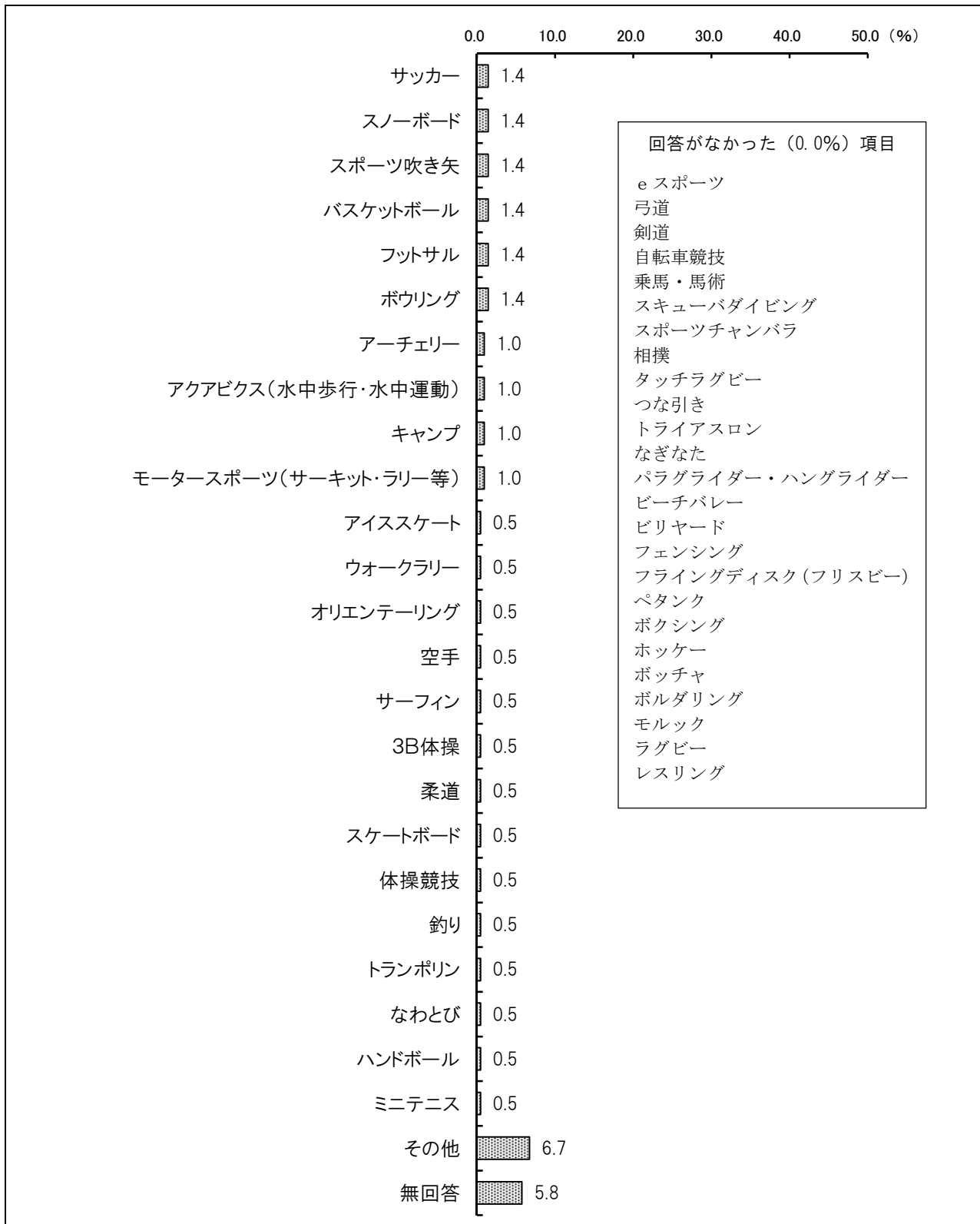
(9) 行っている種目

〔問12は、問4で「1. はい」に○をした方だけお答えください〕

問12 どのような運動やスポーツをしていますか。

回答者総数：208人



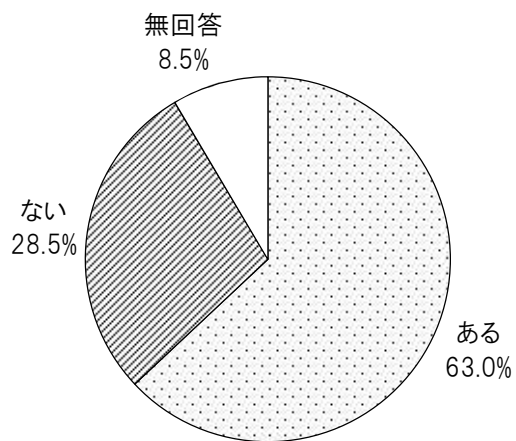


現在、運動やスポーツをしている人に、どのような運動・スポーツをしているかをたずねたところ、「ウォーキング・散歩」が47.1%で最も多く、次に「筋力・ウエイトトレーニング」と「体操（ラジオ体操、ストレッチ等）」がそれぞれ14.4%となっています。また、「ジョギング・ランニング」は10.6%となっています。

(10) 今後やってみたい運動やスポーツ

問13 今後やってみたい運動やスポーツがありますか。[1つに○]

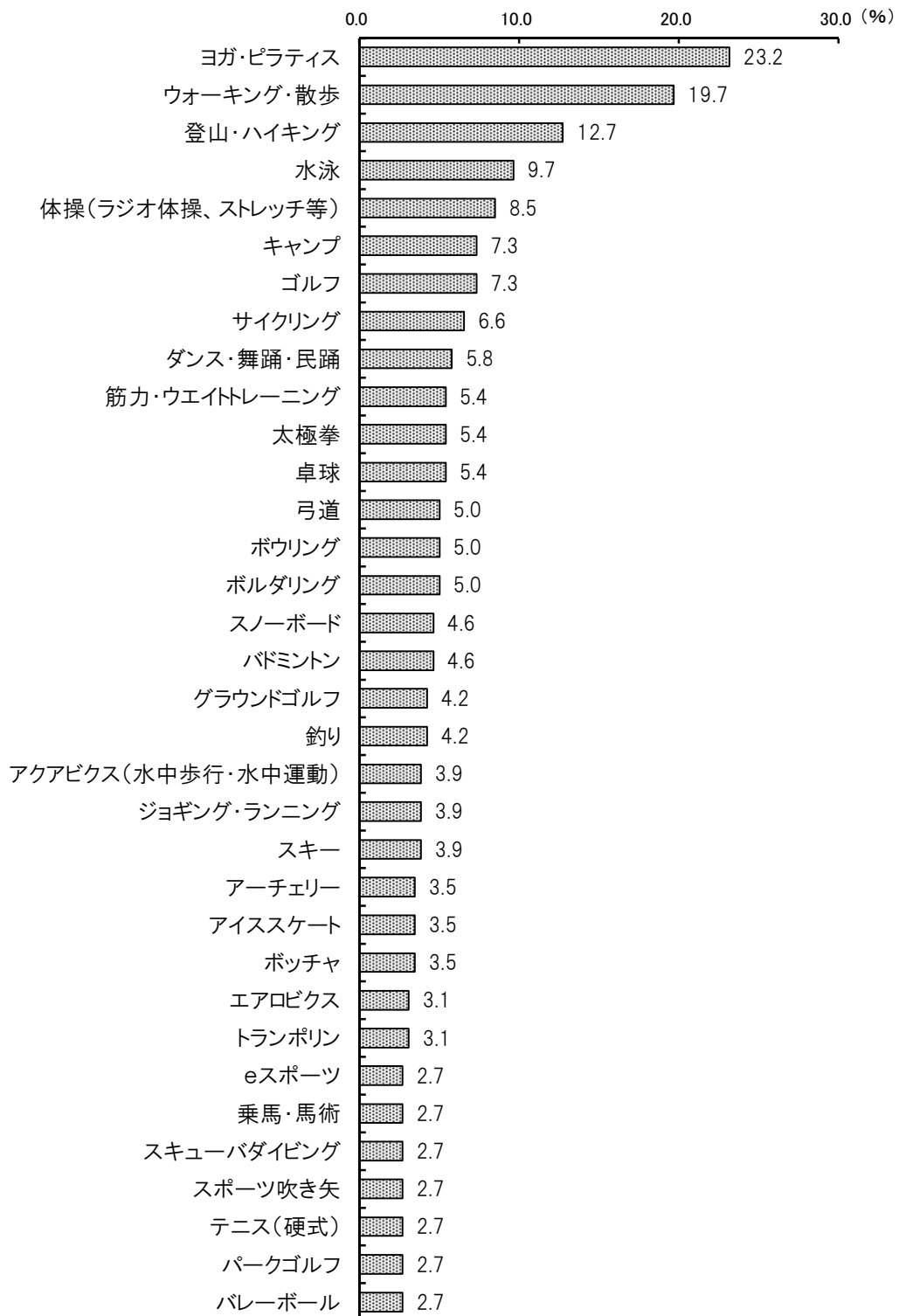
回答者総数：411人

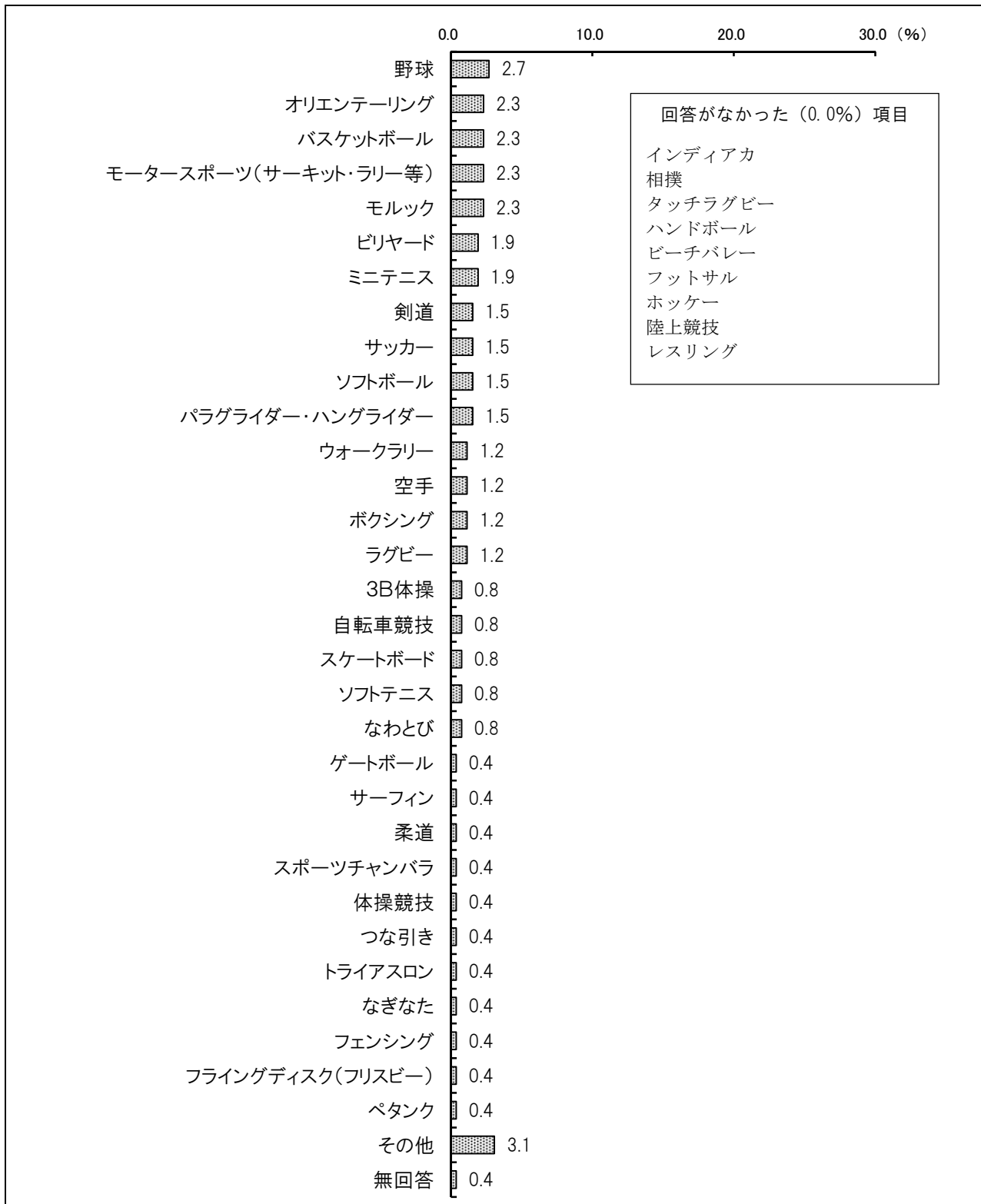


今後やってみたい運動やスポーツについてたずねたところ、「ある」が63.0%、「ない」が28.5%となっています。

[問13で「1. ある」に○をした方の今後やってみたい種目]

回答者総数：259人



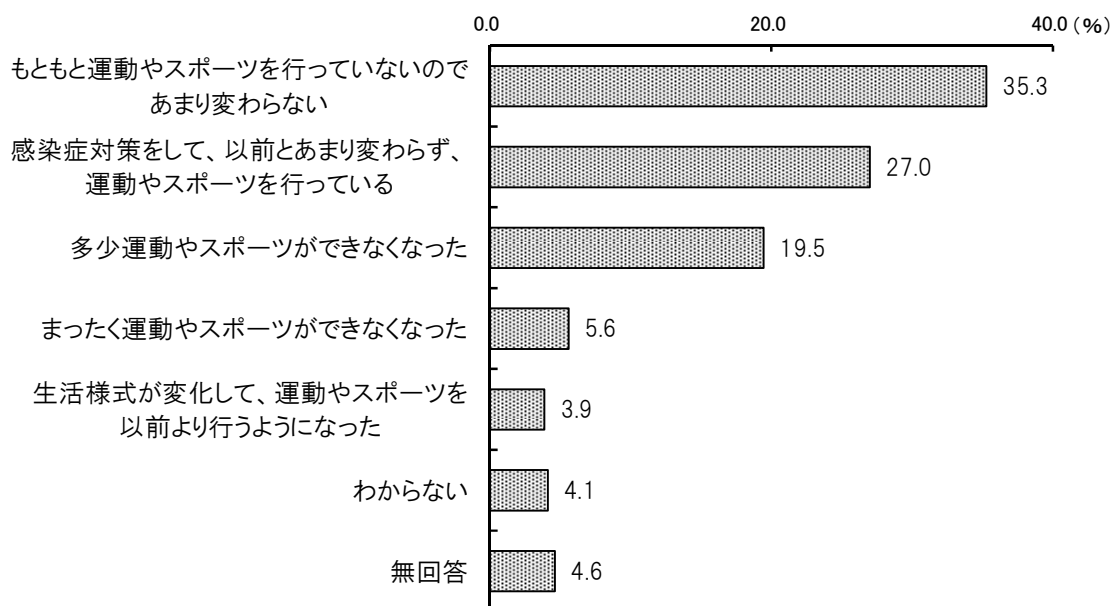


今後やってみたい運動やスポーツの種目については、「ヨガ・ピラティス」が23.2%で最も多く、次に「ウォーキング・散歩」が19.7%、「登山・ハイキング」が12.7%となっています。また、「水泳」は9.7%、「体操(ラジオ体操、ストレッチ等)」は8.5%となっています。

(11) 新型コロナ拡大によるスポーツをする量の変化

問14 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、あなたが運動やスポーツをする量ほどの程度変わりましたか。[1つに○]

回答者総数：411人



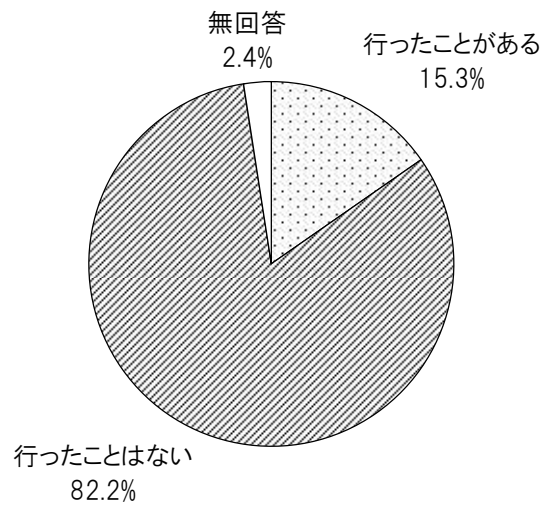
新型コロナウイルス感染症の拡大によって、運動やスポーツをする量がどの程度変わったかについてたずねたところ、「もともと運動やスポーツを行っていないのであまり変わらない」が35.3%で最も多く、次に「感染症対策をして、以前とあまり変わらず、運動やスポーツを行っている」が27.0%、「多少運動やスポーツができなくなった」が19.5%となっています。

3. スポーツボランティアについて

(1) スポーツボランティアの活動の有無

問15 あなたは、今までに、運動やスポーツに関するボランティア活動を行ったことがありますか。[1つに○]

回答者総数：411人



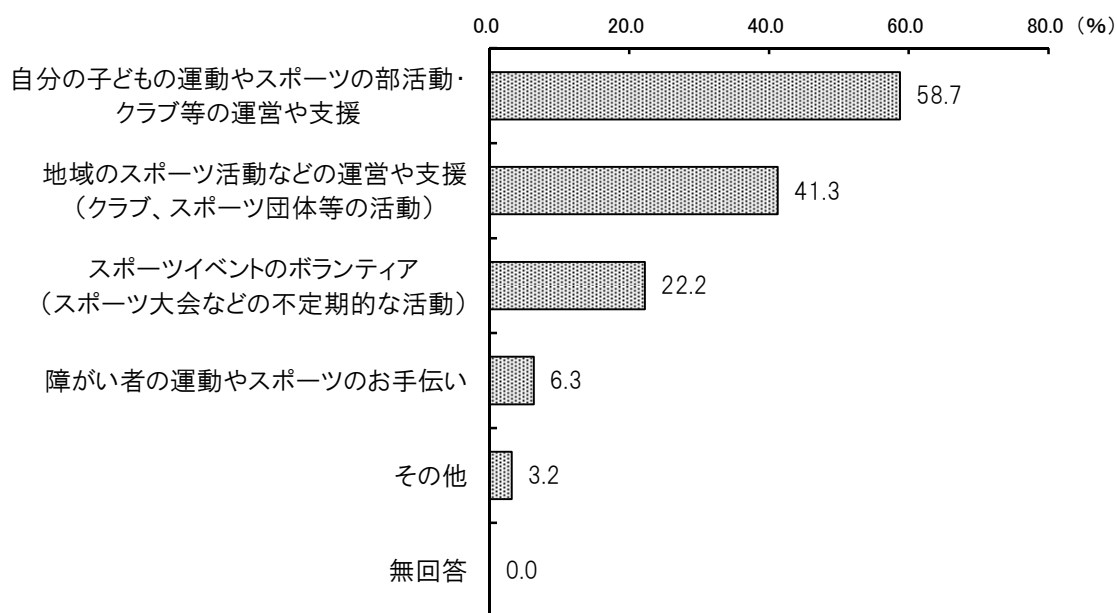
運動やスポーツに関するボランティア活動を行ったことがあるかをたずねたところ、「行ったことがある」が15.3%、「行ったことはない」が82.2%となっています。

(2) スポーツボランティアの活動内容

〔問16は、問15で「1. 行ったことがある」に○をした方だけお答えください〕

問16 どのようなボランティア活動を行いましたか。〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数：63人



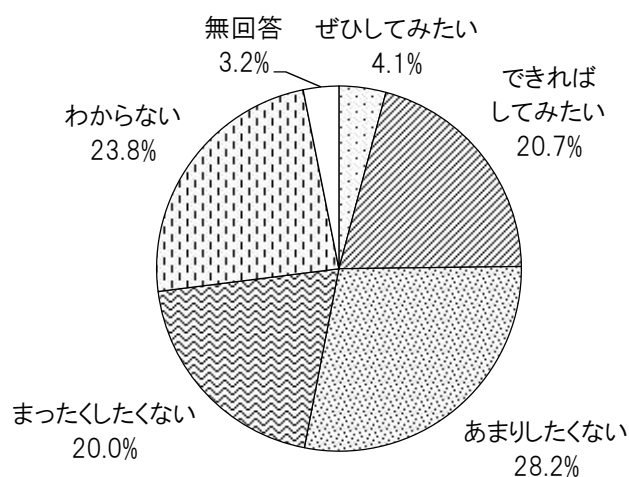
運動やスポーツに関するボランティア活動を行ったことがある人に、どのような活動を行ったかをたずねたところ、「自分の子どもの運動やスポーツの部活動・クラブ等の運営や支援」が58.7%で最も多く、次に「地域のスポーツ活動などの運営や支援 (クラブ、スポーツ団体等の活動)」が41.3%、「スポーツイベントのボランティア (スポーツ大会などの不定期的な活動)」が22.2%、「障がい者の運動やスポーツのお手伝い」が6.3%となっています。

(3) スポーツボランティアの今後の参加意向

問17 あなたは、これから運動やスポーツに関するボランティア活動をしてみたいと思いますか。

[1つに○]

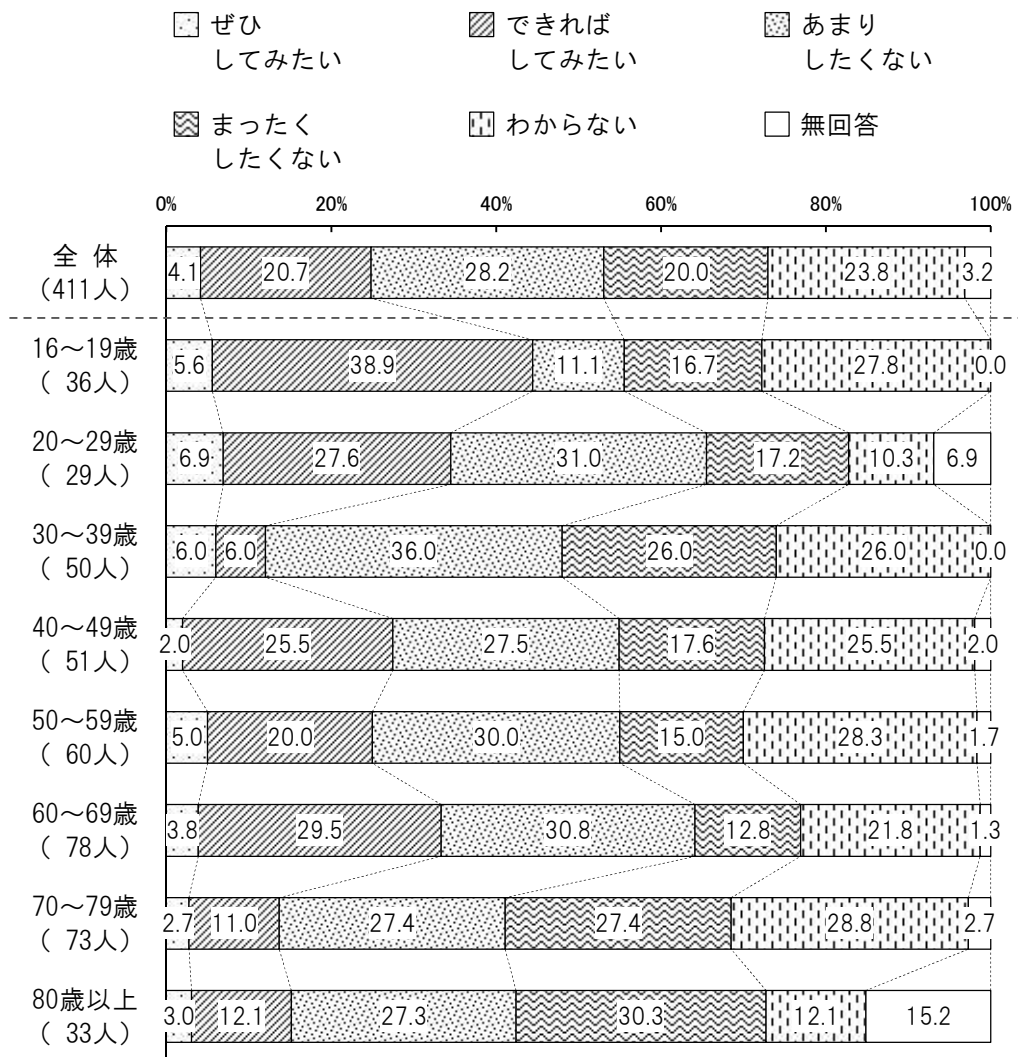
回答者総数：411人



運動やスポーツに関するボランティア活動をしてみたいと思うかについてたずねたところ、「ぜひしてみたい」が4.1%、「できればしてみたい」が20.7%となっており、これらを合わせると、活動してみたいという人は2割を超えています。一方、「あまりしたくない」は28.2%、「まったくしたくない」は20.0%で、活動したくないという人は約5割となっています。また、「わからない」は23.8%となっています。

【年代別】

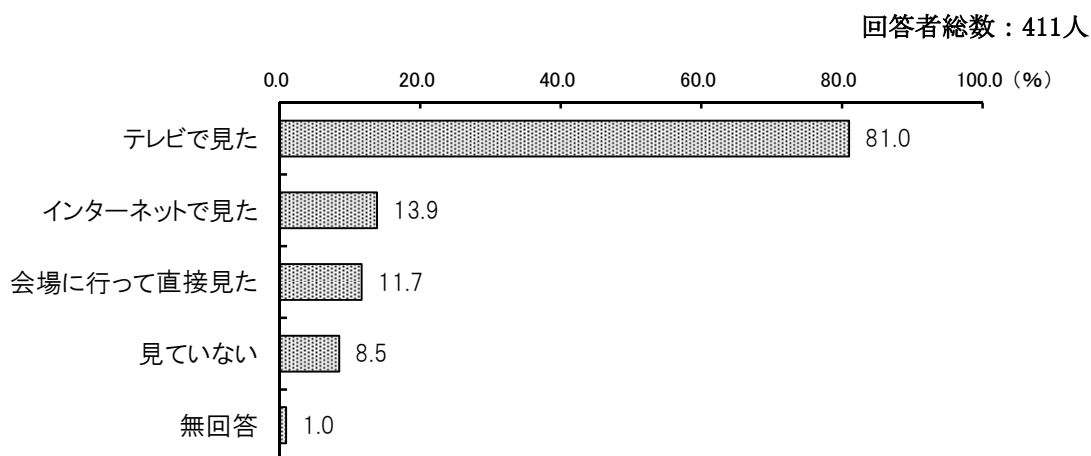
年代別でみると、16～19歳では「できればしてみたい」が38.9%で多くなっています。これに、「ぜひしてみたい」（5.6%）を合わせると活動してみたいという割合は約4割で、最も多い年代となっています。また、20～29歳、60～69歳では、活動してみたいという割合が3割を超えており、16～19歳に続いて多い年代となっています。



4. スポーツ観戦について

(1) スポーツ観戦の有無

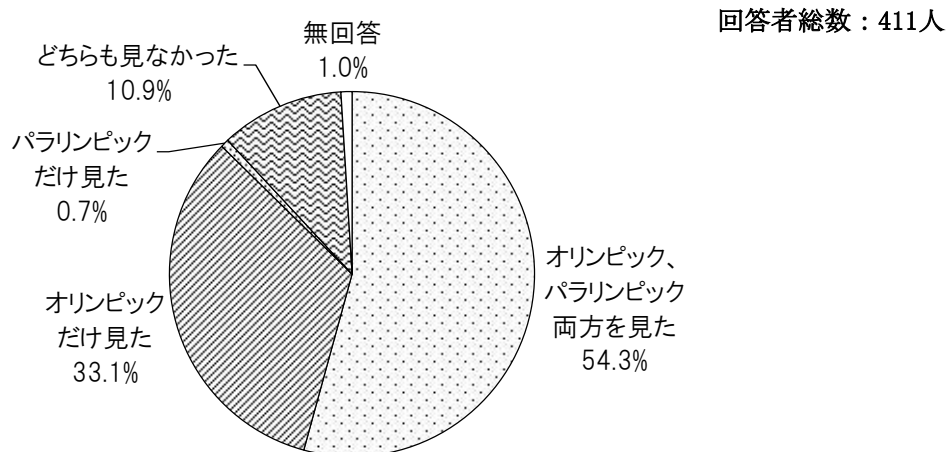
問18 あなたは、過去1年間にスポーツ大会やスポーツの試合を見ましたか。
[あてはまるものすべてに○]



過去1年間にスポーツ大会やスポーツの試合を観戦したかについてたずねたところ、「テレビで見た」が81.0%で最も多く、次に「インターネットで見た」が13.9%、「会場に行って直接見た」が11.7%となっています。一方、「見ていない」は、8.5%となっています。

(2) 東京2020の観戦の有無

問19 あなたは、東京2020オリンピック・パラリンピックの試合の中継を、テレビやインターネットで見ましたか。[1つに○]



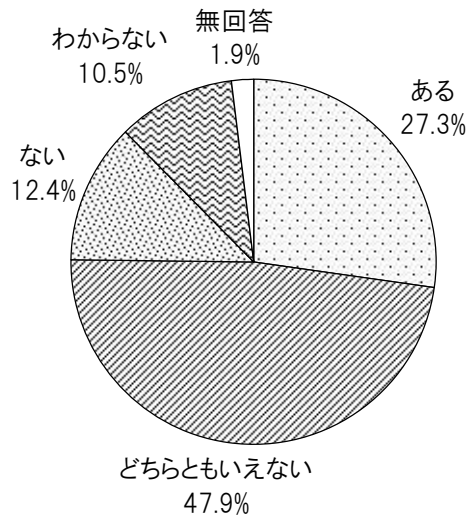
東京2020オリンピック・パラリンピックの試合の中継を見たかについてたずねたところ、「オリンピック、パラリンピック両方を見た」が54.3%、「オリンピックだけ見た」が33.1%、「パラリンピックだけ見た」が0.7%となっています。一方、「どちらも見なかった」は10.9%となっています。

5. 障がい者スポーツについて

(1) 障がい者スポーツの関心の有無

問20 あなたは、障がい者スポーツに関心がありますか。[1つに○]

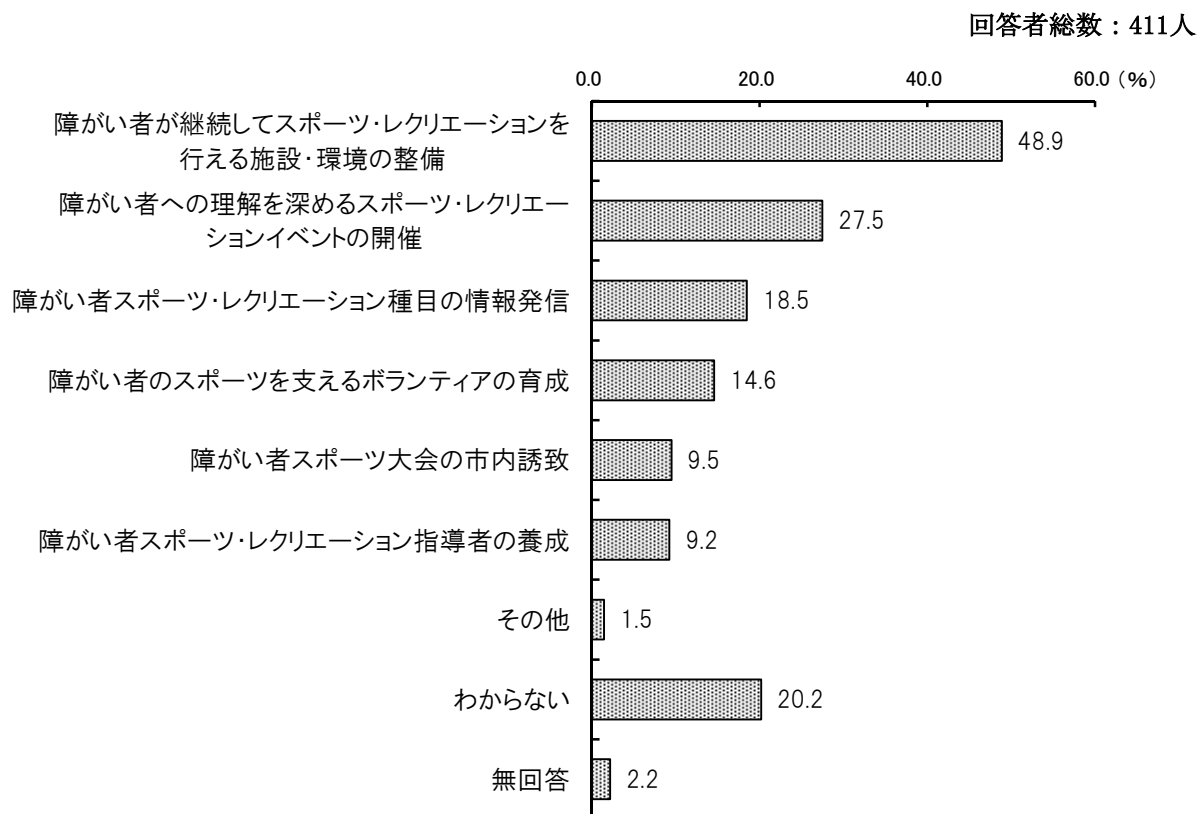
回答者総数：411人



障がい者スポーツに関心があるかについてたずねたところ、「ある」が27.3%、「どちらともいえない」が47.9%、「ない」が12.4%、「わからない」が10.5%となっています。

(2) 障がい者スポーツの推進に市が取り組むべきもの

問21 障がい者スポーツの推進のために、特に市が取り組むべきだと思うものは何ですか。
[2つ以内で○]

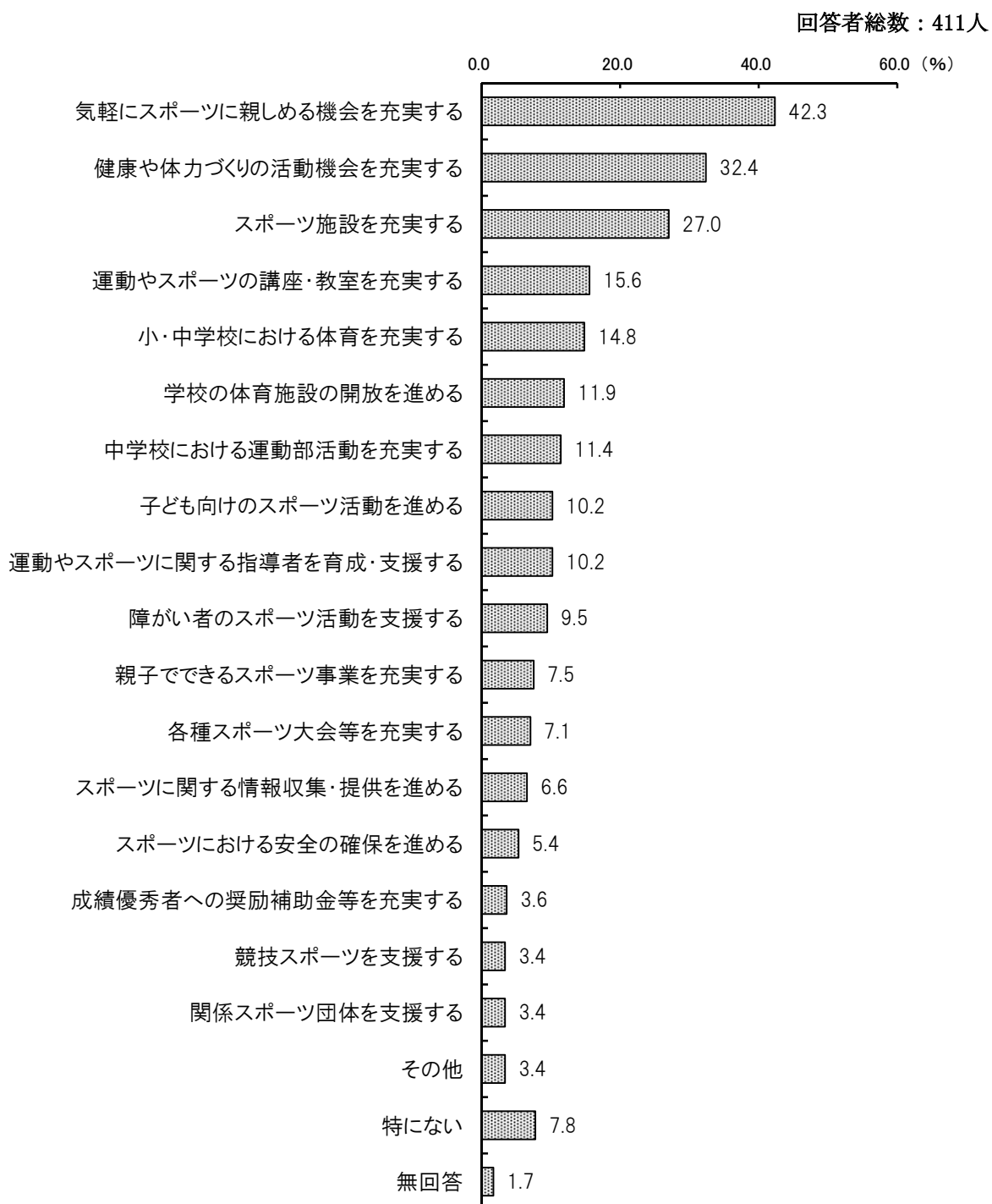


障がい者スポーツの推進のために、特に市が取り組むべきだと思うものについてたずねたところ、「障がい者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備」が48.9%で最も多く、次に「障がい者への理解を深めるスポーツ・レクリエーションイベントの開催」が27.5%、「障がい者スポーツ・レクリエーション種目の情報発信」が18.5%となっています。

6. 市のスポーツ施策について

(1) 市が力を入れるべきスポーツ施策

問22 あなたは、今後、北本市では、どのようなスポーツ施策に特に力を入れるべきだと思いますか。[3つ以内で○]



今後市では、どのようなスポーツ施策に特に力を入れるべきだと思うかについてたずねたところ、「気軽にスポーツに親しめる機会を充実する」が42.3%で最も多く、次に「健康や体力づくりの活動機会を充実する」が32.4%、「スポーツ施設を充実する」が27.0%となっています。

【年代別 上位3項目】

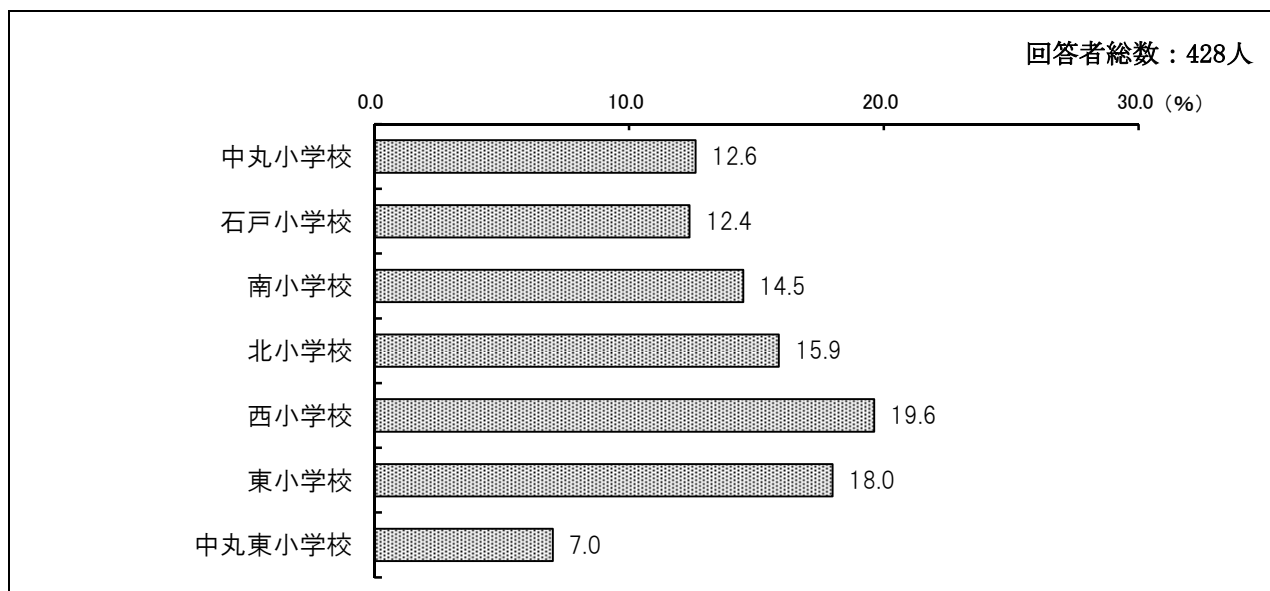
年代別に上位3項目をみると、50～59歳、60～69歳、70～79歳、80歳以上では、「気軽にスポーツに親しめる機会を充実する」と「健康や体力づくりの活動機会を充実する」が第1位または第2位となっています。20～29歳と30～39歳では「スポーツ施設を充実する」が第1位となっています。

	第1位	第2位	第3位
全体 (411人)	気軽にスポーツに親しめる機会を充実する (42.3%)	健康や体力づくりの活動機会を充実する (32.4%)	スポーツ施設を充実する (27.0%)
16～19歳 (36人)	気軽にスポーツに親しめる機会を充実する (44.4%)	スポーツ施設を充実する (33.3%)	健康や体力づくりの活動機会を充実する (16.7%) 障がい者のスポーツ活動を支援する (16.7%) 学校の体育施設の開放を進める (16.7%)
20～29歳 (29人)	スポーツ施設を充実する (48.3%)	気軽にスポーツに親しめる機会を充実する (44.8%)	小・中学校における体育を充実する (17.2%)
30～39歳 (50人)	スポーツ施設を充実する (38.0%)	小・中学校における体育を充実する (28.0%) 気軽にスポーツに親しめる機会を充実する (28.0%)	
40～49歳 (51人)	気軽にスポーツに親しめる機会を充実する (47.1%)	スポーツ施設を充実する (23.5%)	運動やスポーツの講座・教室を充実する (21.6%)
50～59歳 (60人)	気軽にスポーツに親しめる機会を充実する (43.3%)	健康や体力づくりの活動機会を充実する (40.0%)	スポーツ施設を充実する (35.0%)
60～69歳 (78人)	気軽にスポーツに親しめる機会を充実する (51.3%) 健康や体力づくりの活動機会を充実する (51.3%)		スポーツ施設を充実する (23.1%)
70～79歳 (73人)	気軽にスポーツに親しめる機会を充実する (39.7%) 健康や体力づくりの活動機会を充実する (39.7%)		小・中学校における体育を充実する (21.9%)
80歳以上 (33人)	健康や体力づくりの活動機会を充実する (42.4%)	気軽にスポーツに親しめる機会を充実する (36.4%)	小・中学校における体育を充実する (21.2%)

第2節 小学5年生調査

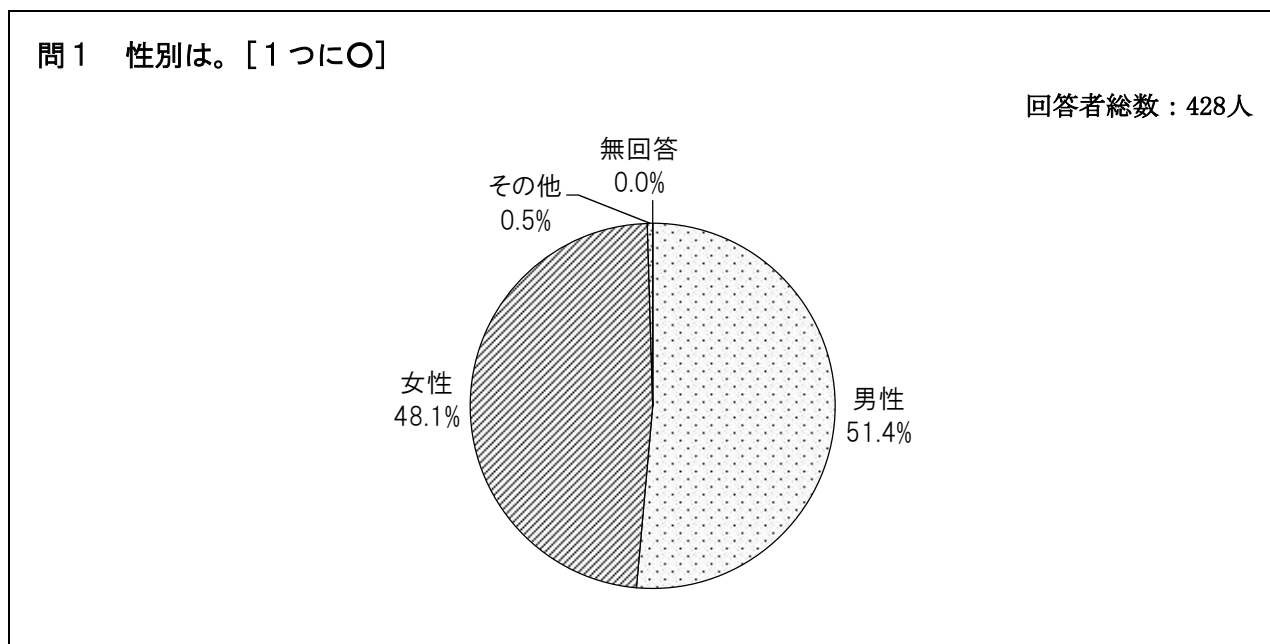
1. 回答者について

(1) 小学校



回答者の小学校別の構成比は、中丸小学校が12.6%、石戸小学校が12.4%、南小学校が14.5%、北小学校が15.9%、西小学校が19.6%、東小学校が18.0%、中丸東小学校が7.0%となっています。

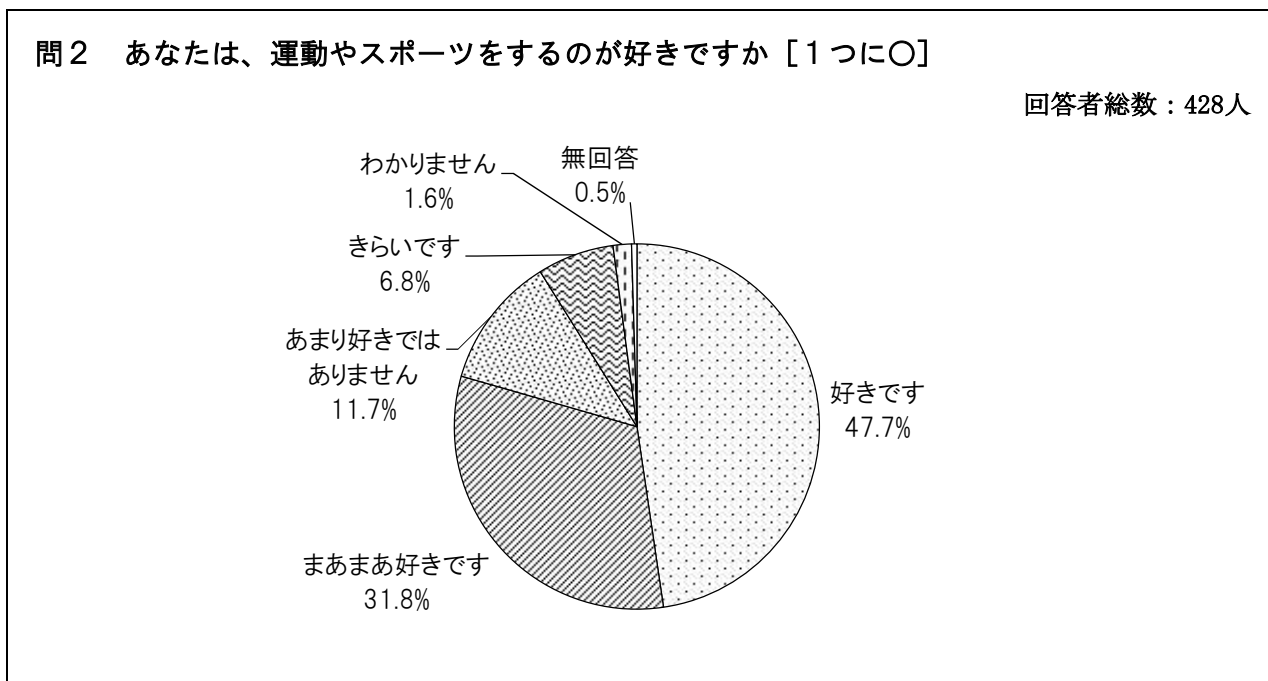
(2) 性別



回答者の男女別の構成比は、「男性」が51.4%、「女性」が48.1%となっています。

2. 運動やスポーツが好きかについて

(1) 運動やスポーツの好ききらい



運動やスポーツをするのが好きかについてたずねたところ、「好きです」が47.7%、「まあまあ好きです」が31.8%で、これらを合わせると、運動やスポーツをするのが好きな人は約8割となっています。一方、「あまり好きではありません」は11.7%、「きらいです」は6.8%で、好きではない人は約2割となっています。

【参考：県調査との比較】

県の調査と比較すると、「好きです」が県の割合より約10ポイント少なくなっています。これに「まあまあ好きです」を合わせると、運動やスポーツをするのが好きな割合は、約6ポイント少なくなっています。

単位：%

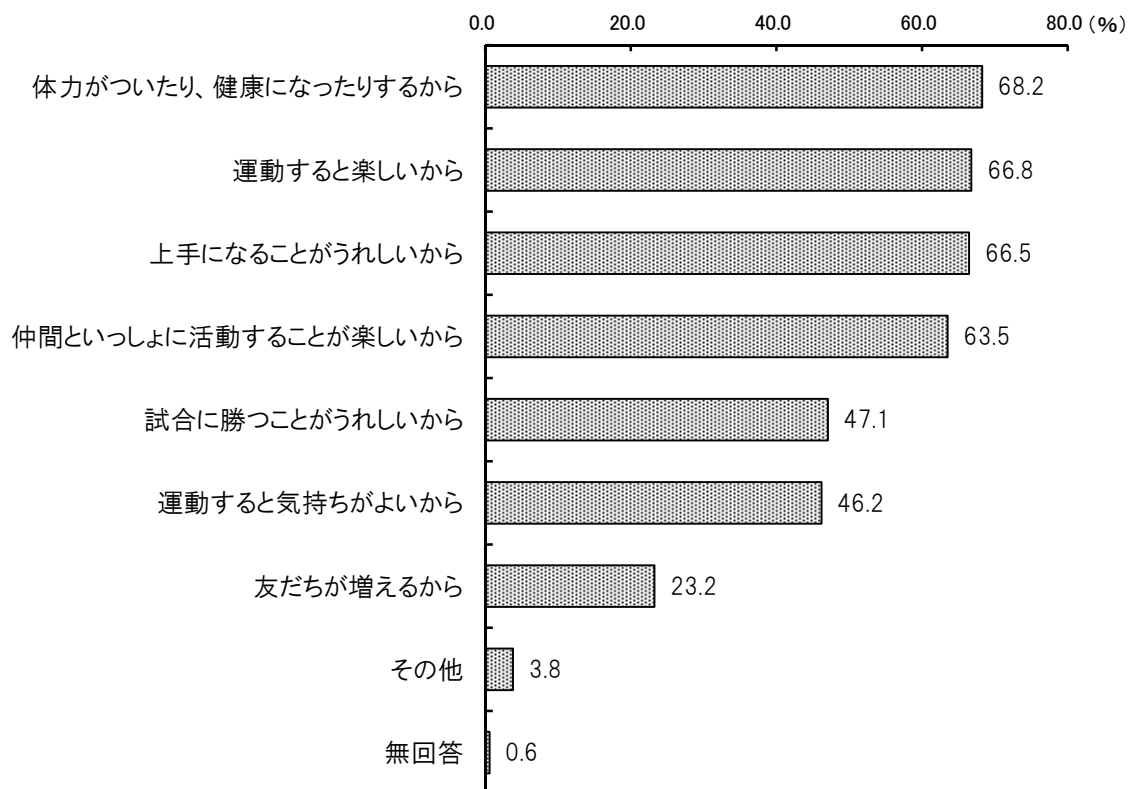
	北本市 (428人)		県 (387人)	
	割合	累積割合	割合	累積割合
好きです	47.7	79.5	58.1	85.0
まあまあ好きです	31.8		26.9	
あまり好きではありません	11.7	18.5	10.6	13.7
きらいです	6.8		3.1	
わかりません	1.6	1.6	1.3	1.3
無回答	0.5	0.5	-	-

(2) 好きな理由

〔問2で「1. 好きです」または「2. まあまあ好きです」に○をした人に〕

問2-1 好きな理由は何ですか。〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数：340人

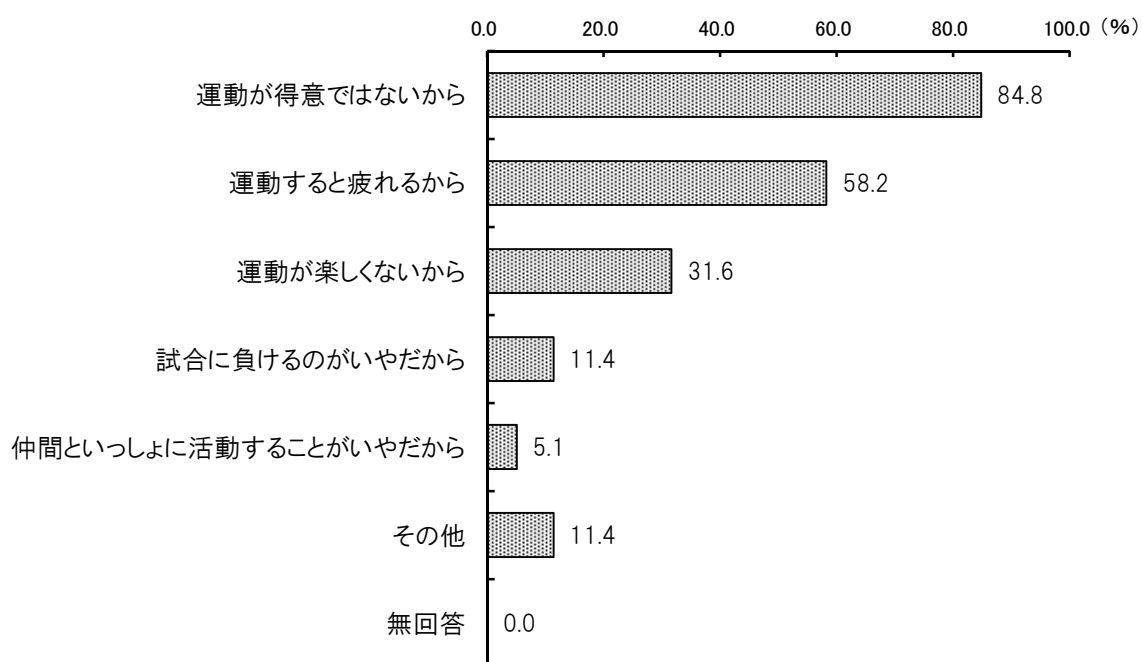


運動やスポーツをするのが好きとした人に、その理由をたずねたところ、「体力がついたり、健康になったりするから」が68.2%で最も多く、次に「運動すると楽しいから」が66.8%、「上手になることがうれしいから」が66.5%となっています。また、「仲間といっしょに活動することが楽しいから」は63.5%となっています。

(3) 好きではない理由

〔問2で「3. あまり好きではありません」または「4. きれいです」に○をした人に〕
問2-2 好きではない理由は何ですか。〔あてはまるものすべてに○〕

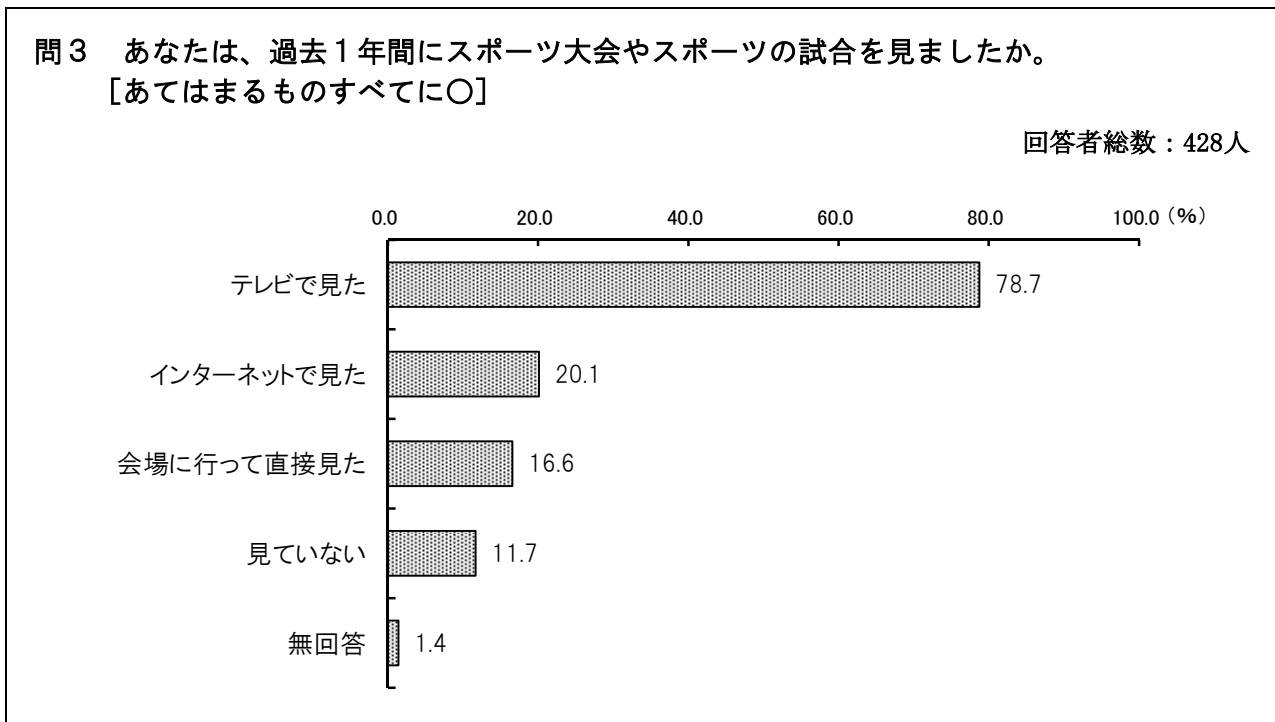
回答者総数：79人



運動やスポーツをするのが好きではない人に、その理由をたずねたところ、「運動が得意ではないから」が84.8%で最も多く、次に「運動すると疲れるから」が58.2%、「運動が楽しくないから」が31.6%となっています。

3. スポーツ観戦について

(1) スポーツ観戦の有無



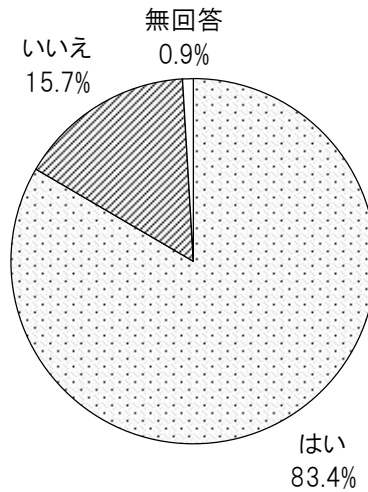
過去1年間にスポーツ大会やスポーツの試合を見たかについてたずねたところ、「テレビで見た」が78.7%、「インターネットで見た」が20.1%、「会場に行って直接見た」が16.6%となっています。一方、「見ていない」は11.7%となっています。

4. 運動やスポーツの実施について

(1) 体育の授業以外に運動やスポーツの実施の有無

問4 あなたは、体育の授業以外に、運動やスポーツをしていますか。[1つに○]

回答者総数：428人



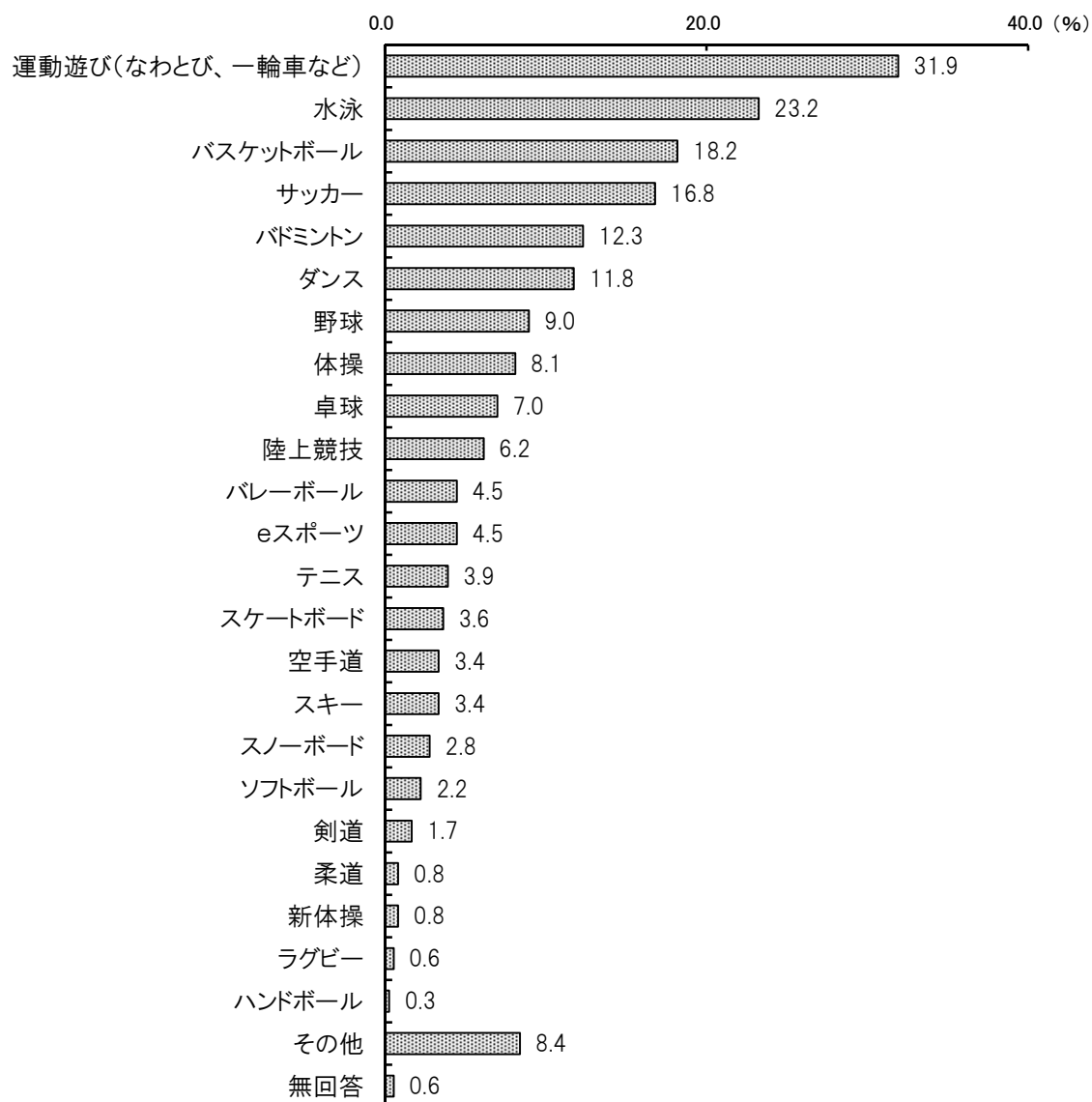
体育の授業以外に、運動やスポーツをしているかについてたずねたところ、「はい」が83.4%、「いいえ」が15.7%となっています。

(2) 運動やスポーツの内容

〔問4で「1. はい」に○をした人に〕

問4-1 どのような運動やスポーツをしていますか。〔3つ以内で○〕

回答者総数：357人



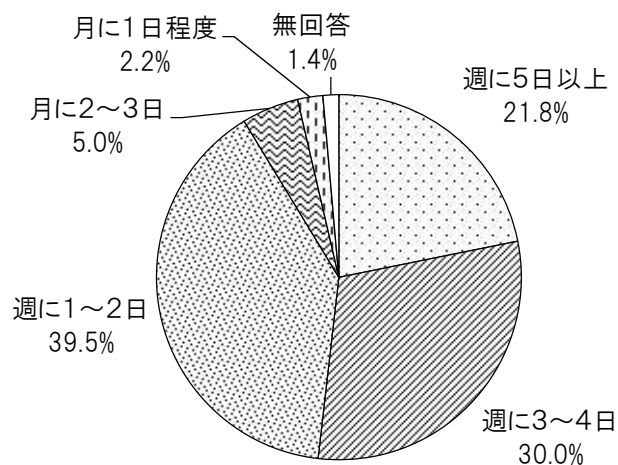
体育の授業以外に運動やスポーツをしている人に、どのような運動やスポーツをしているかをたずねたところ、「運動遊び（なわとび、一輪車など）」が31.9%で最も多く、次に「水泳」が23.2%、「バスケットボール」が18.2%となっています。また、「サッカー」は16.8%、「バドミントン」は12.3%となっています。

(3) 運動やスポーツの頻度

〔問4で「1. はい」に○をした人に〕

問4-2 運動やスポーツをどのくらいしていますか。〔1つに○〕

回答者総数：357人



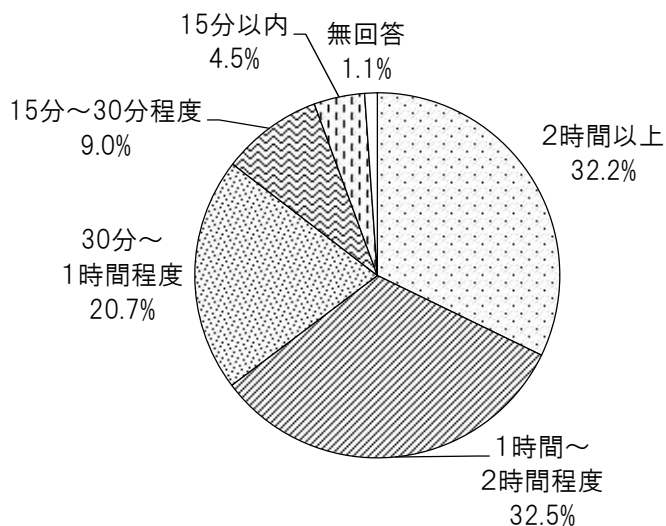
体育の授業以外に運動やスポーツをしている人に、どのくらい運動やスポーツをしているかをたずねたところ、「週に5日以上」が21.8%、「週に3~4日」が30.0%となっています。これらを合わせると、運動やスポーツをしている人のうち約半数は週に3日以上運動しています。また、「週に1~2日」は39.5%、「月に2~3日」は5.0%、「月に1日程度」は2.2%となっています。

(4) 運動やスポーツの1回の平均時間

〔問4で「1. はい」に○をした人に〕

問4-3 運動やスポーツをする1回の時間は、平均してどのくらいですか。〔1つに○〕

回答者総数：357人

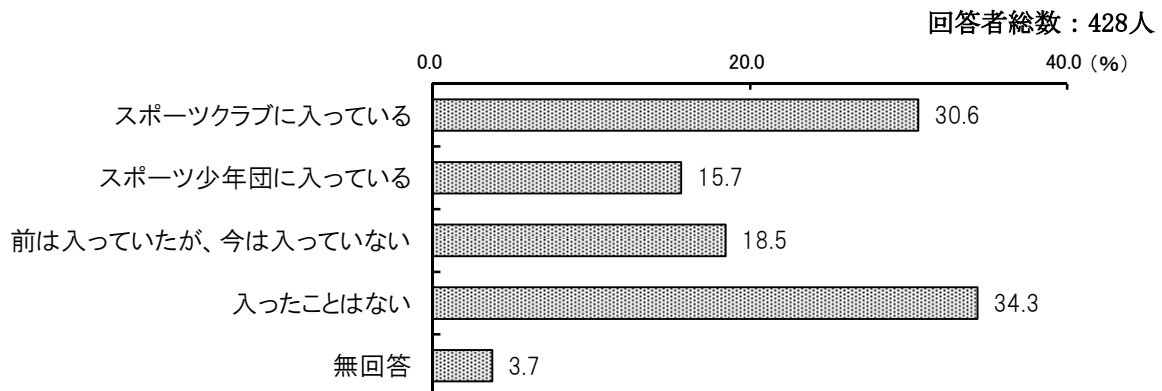


体育の授業以外に運動やスポーツをしている人に、運動やスポーツの1回の平均時間をたずねたところ、「2時間以上」が32.2%、「1時間～2時間程度」が32.5%となっています。これらを合わせると運動している人のうち6割以上が、1回の平均時間が1時間以上となっています。また、「30分～1時間程度」は20.7%、「15分～30分程度」は9.0%、「15分以内」は4.5%となっています。

5. クラブや団体について

(1) クラブや団体の加入状況

問5 あなたは今、運動やスポーツの（学校以外の）クラブ・団体に入っていますか。
〔あてはまるものすべてに○〕

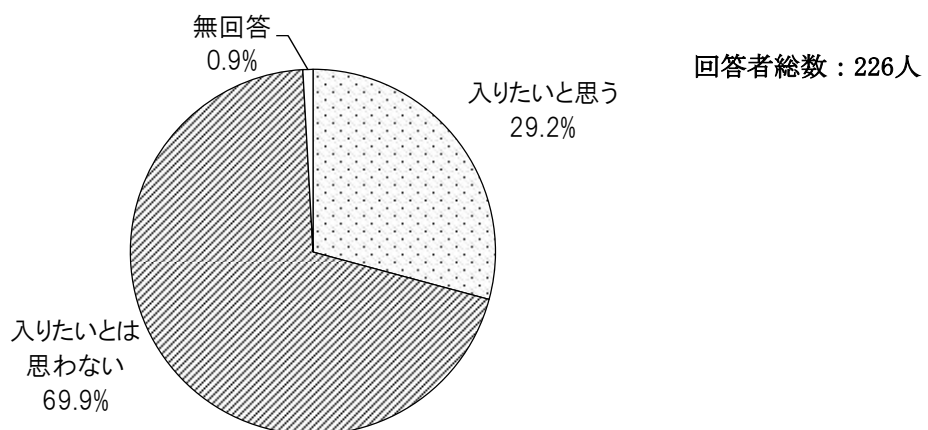


運動やスポーツの（学校以外の）クラブ・団体に入っているかについてたずねたところ、「スポーツクラブに入っている」が30.6%、「スポーツ少年団に入っている」が15.7%となっています。また、「前は入っていたが、今は入っていない」は18.5%、「入ったことはない」は34.3%となっています。

(2) 今後の加入意向

〔問5で「3. 前は入っていたが、今は入っていない」または「4. 入ったことはない」に○をした人に〕

問5-1 これから先、運動やスポーツの（学校以外の）クラブ・団体に入りたいと思いますか。
〔1つに○〕



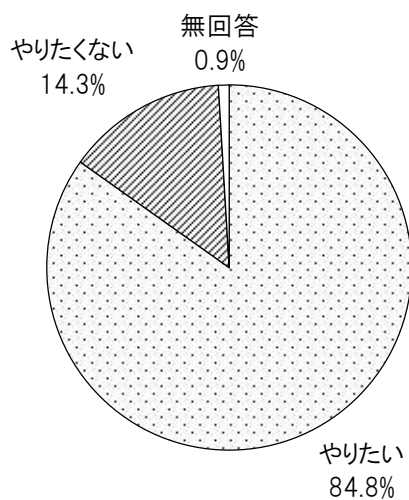
運動やスポーツの（学校以外の）クラブ・団体に現在入っていない人に、今後、クラブ・団体に入りたいかについてたずねたところ、「入りたいと思う」が29.2%、「入りたいとは思わない」が69.9%となっています。

6. 運動やスポーツの今後の意向

(1) 運動やスポーツの意向

問6 あなたは、これから先、運動やスポーツをやりたいと思いますか。[1つに○]

回答者総数：428人



今後、運動やスポーツをやりたいかについてたずねたところ、「やりたい」が84.8%、「やりたくない」が14.3%となっています。

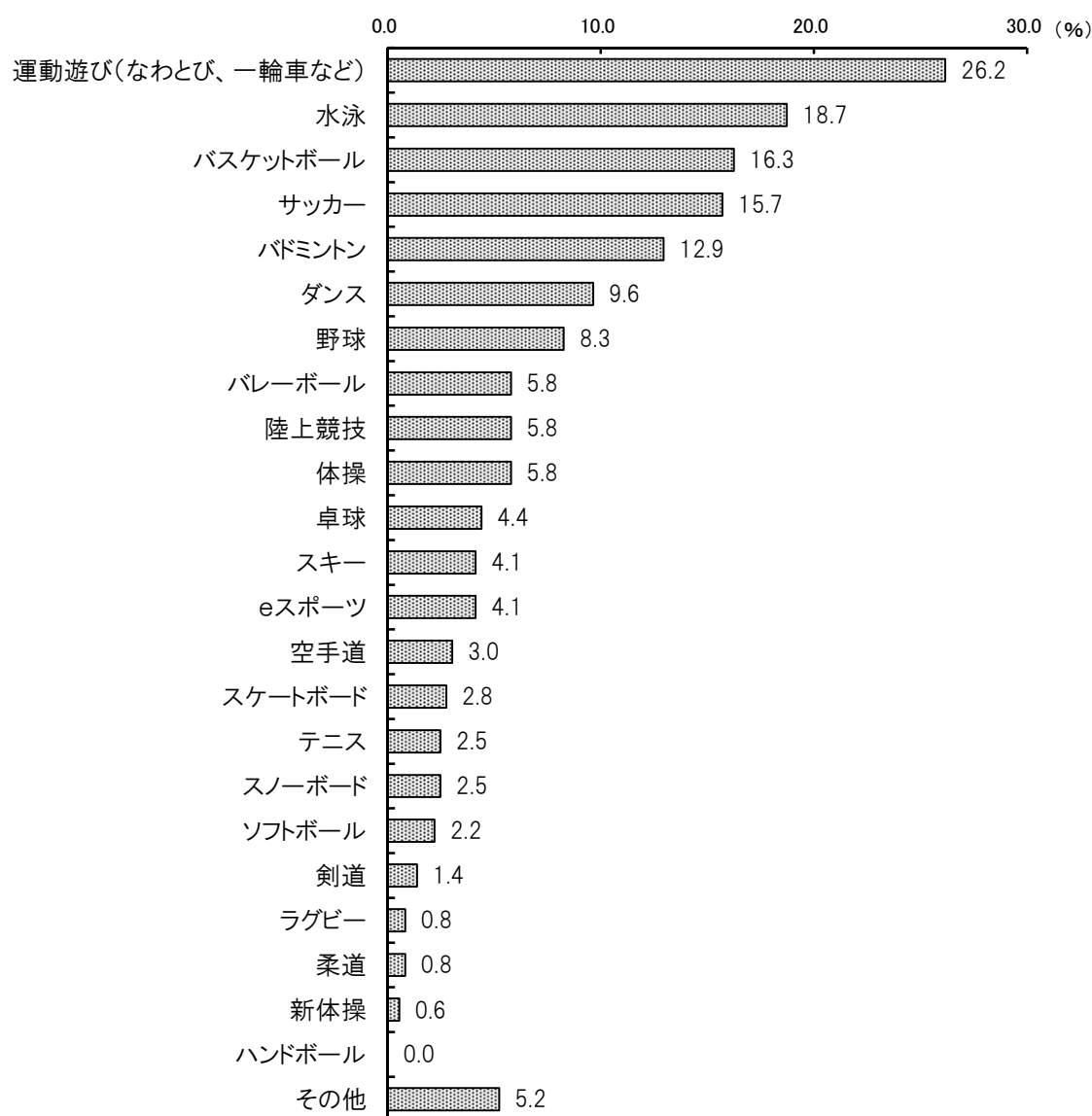
(2) これからも続けたいもの・新しくやってみたいもの

〔問6で「1. やりたい」に○をした人に〕

問6-1 あなたは、どのような運動やスポーツをやりたいと思いますか。今やっていてこれからも続けたいもの、また、新しくやってみたいものを、下の表からそれぞれ3つ以内で選んで番号を書いてください。

ア) これからも続けたいもの〔3つ以内〕

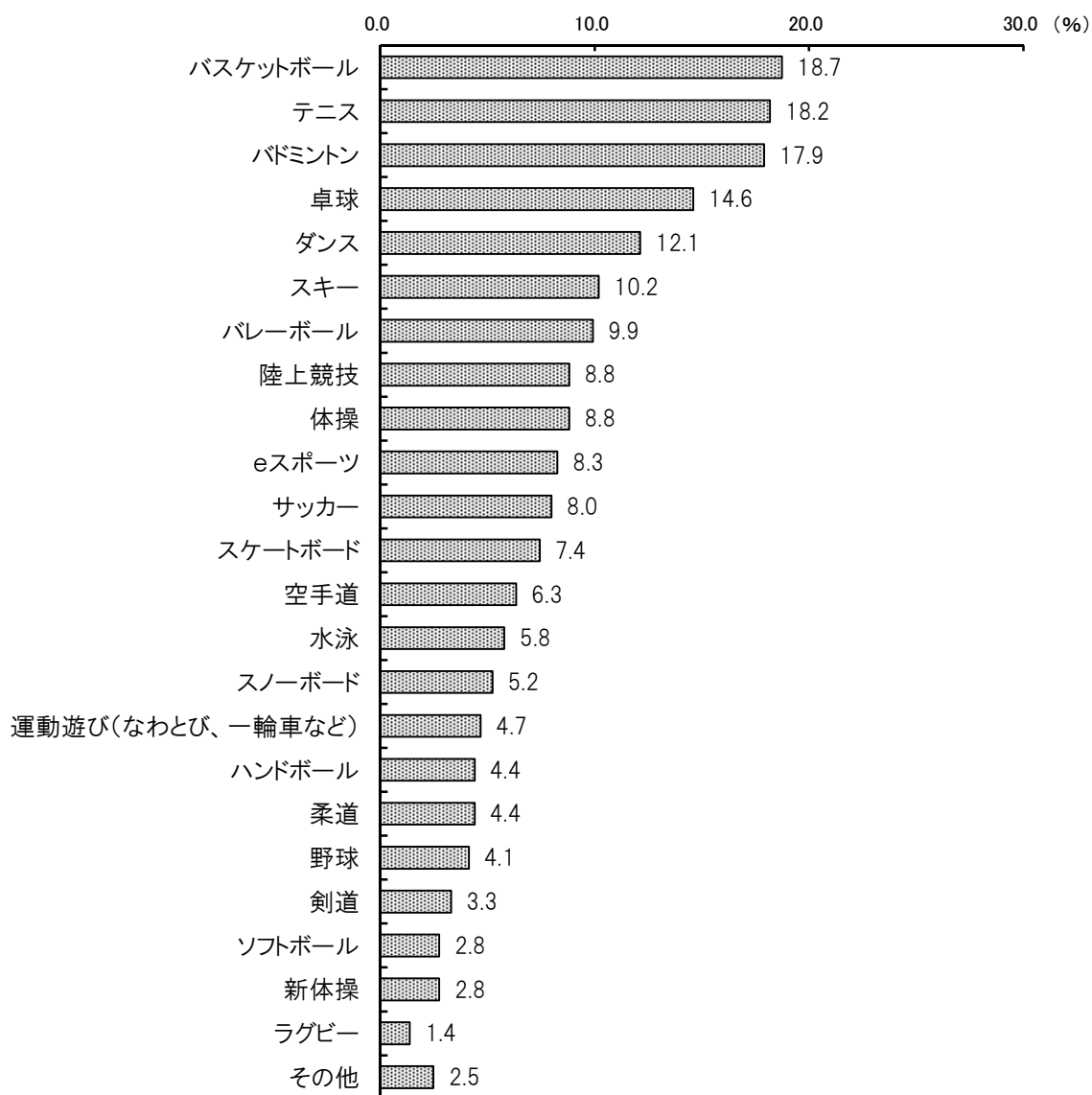
回答者総数：363人



今後、運動やスポーツをやりたいとした人に、これからも続けたいものについてたずねたところ、「運動遊び（なわとび、一輪車など）」が26.2%で最も多く、次に「水泳」が18.7%、「バスケットボール」が16.3%となっています。また、「サッカー」は15.7%、「バドミントン」は12.9%となっています。

イ) 新しくやってみたいもの [3つ以内]

回答者総数：363人

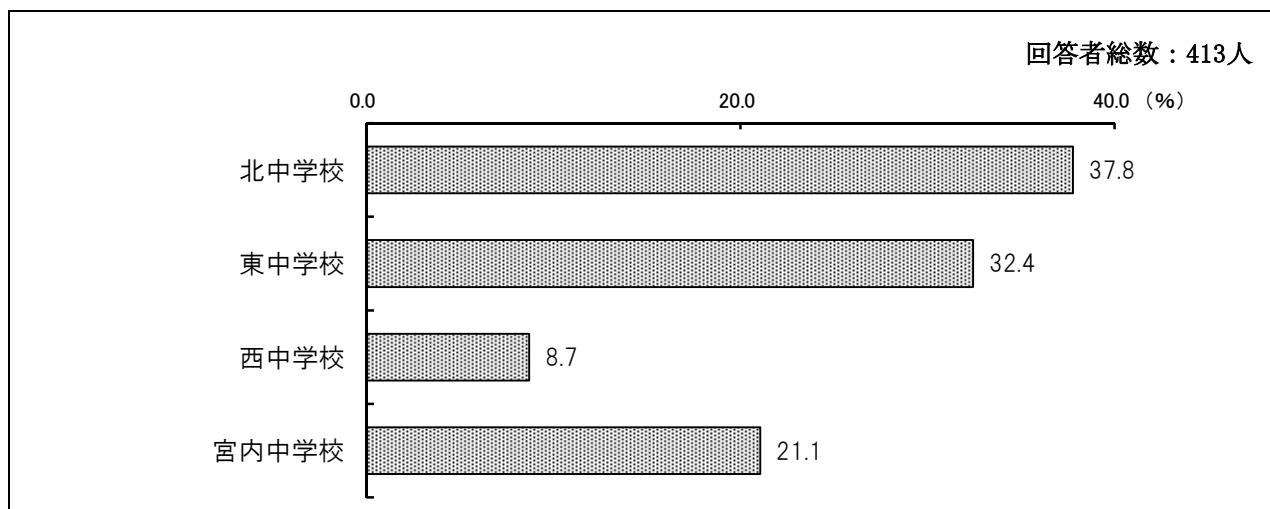


今後、運動やスポーツをやりたいとした人に、新しくやってみたいものについてたずねたところ、「バスケットボール」が18.7%で最も多く、「テニス」が18.2%、「バドミントン」が17.9%となっています。また、「卓球」は14.6%、「ダンス」は12.1%となっています。

第3節 中学2年生調査

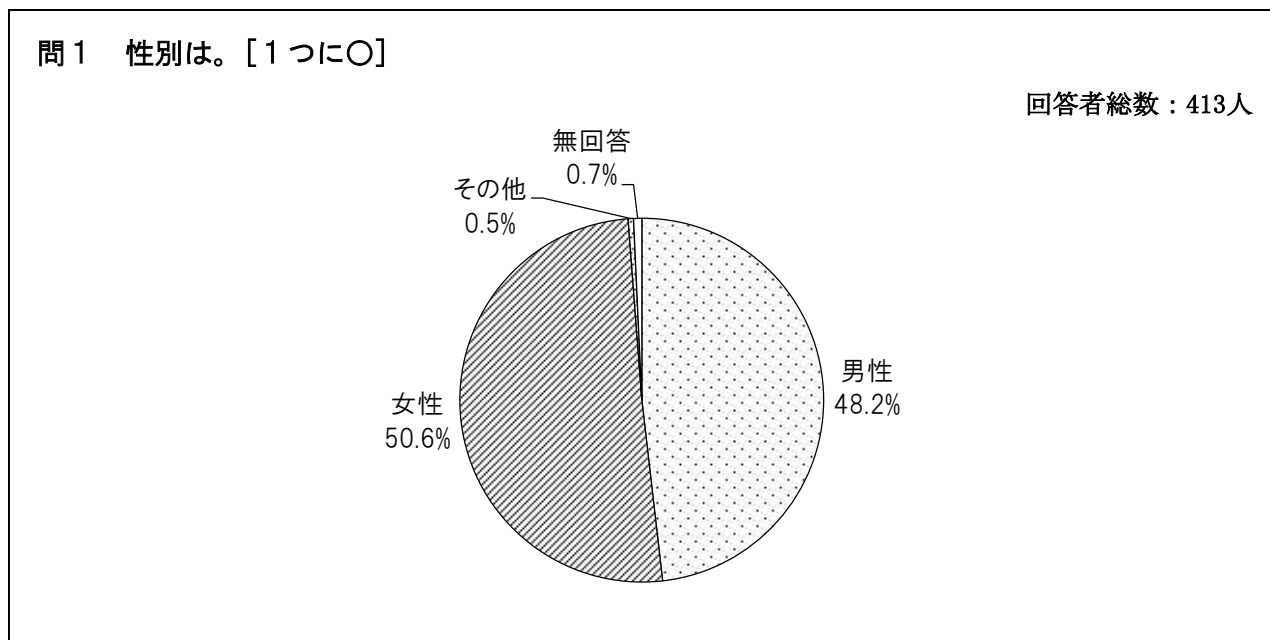
1. 回答者について

(1) 中学校



回答者の中学校別の構成比は、北中学校が37.8%、東中学校が32.4%、西中学校が8.7%、宮内中学校が21.1%となっています。

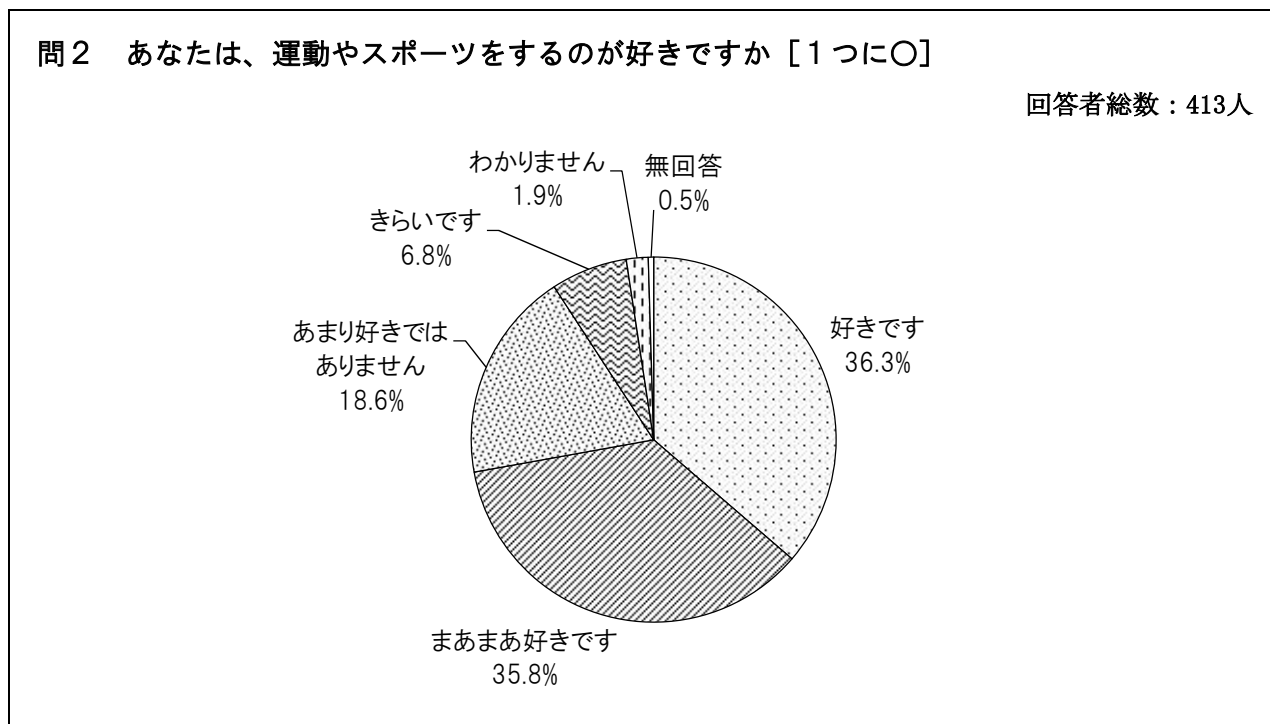
(2) 性別



回答者の男女別の構成比は、「男性」が48.2%、「女性」が50.6%となっています。

2. 運動やスポーツが好きかについて

(1) 運動やスポーツの好ききらい



運動やスポーツをするのが好きかについてたずねたところ、「好きです」が36.3%、「まあまあ好きです」が35.8%で、これらを合わせると、運動やスポーツをするのが好きな人は約7割となっています。一方、「あまり好きではありません」は18.6%、「きらいです」は6.8%で、好きではない人は3割近くとなっています。

【参考：県調査との比較】

県の調査と比較すると、「好きです」が県の割合より約10ポイント少なくなっています。これに「まあまあ好きです」を合わせると、運動やスポーツをするのが好きな割合は、約6ポイント少なくなっています。

単位：%

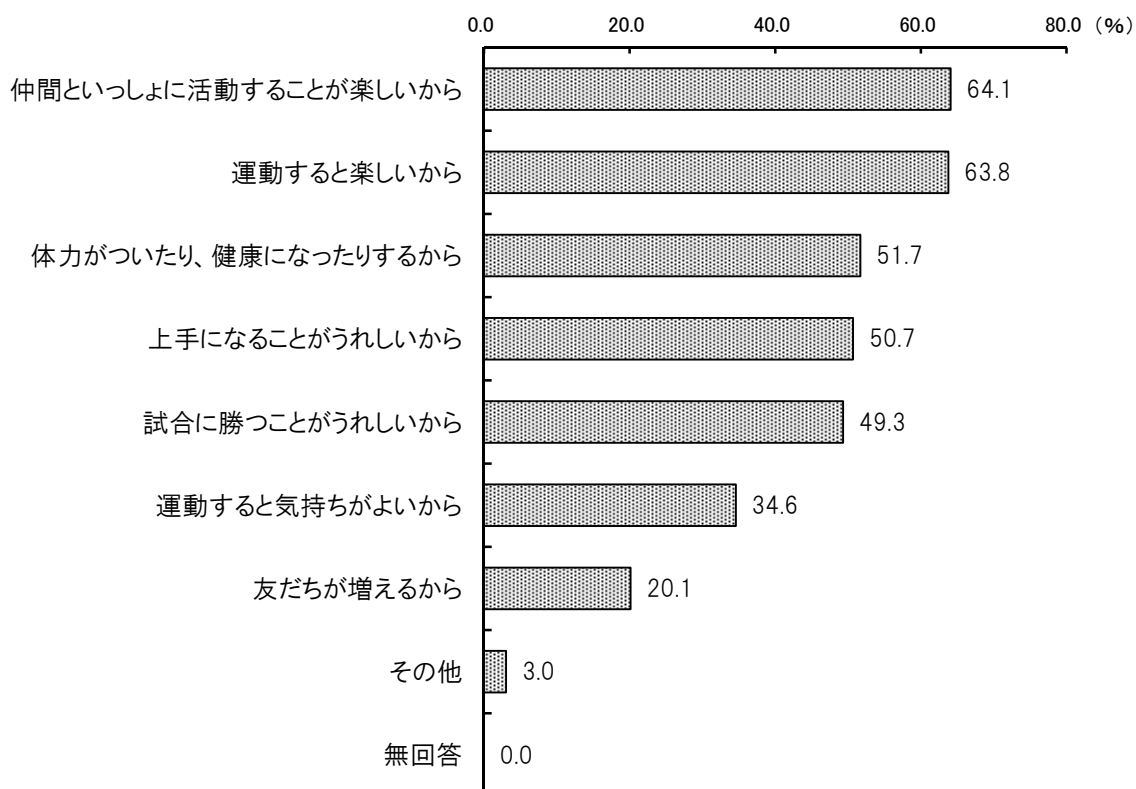
	北本市 (413人)		県 (411人)	
	割合	累積	割合	累積
好きです	36.3	72.1	46.5	77.9
まあまあ好きです	35.8		31.4	
あまり好きではありません	18.6	25.4	13.4	20.2
きらいです	6.8		6.8	
わかりません	1.9	1.9	1.9	1.9
無回答	0.5	0.5	-	-

(2) 好きな理由

〔問2で「1. 好きです」または「2. まあまあ好きです」に○をした人に〕

問2-1 好きな理由は何ですか。〔あてはまるものすべてに○〕

回答者総数：298人

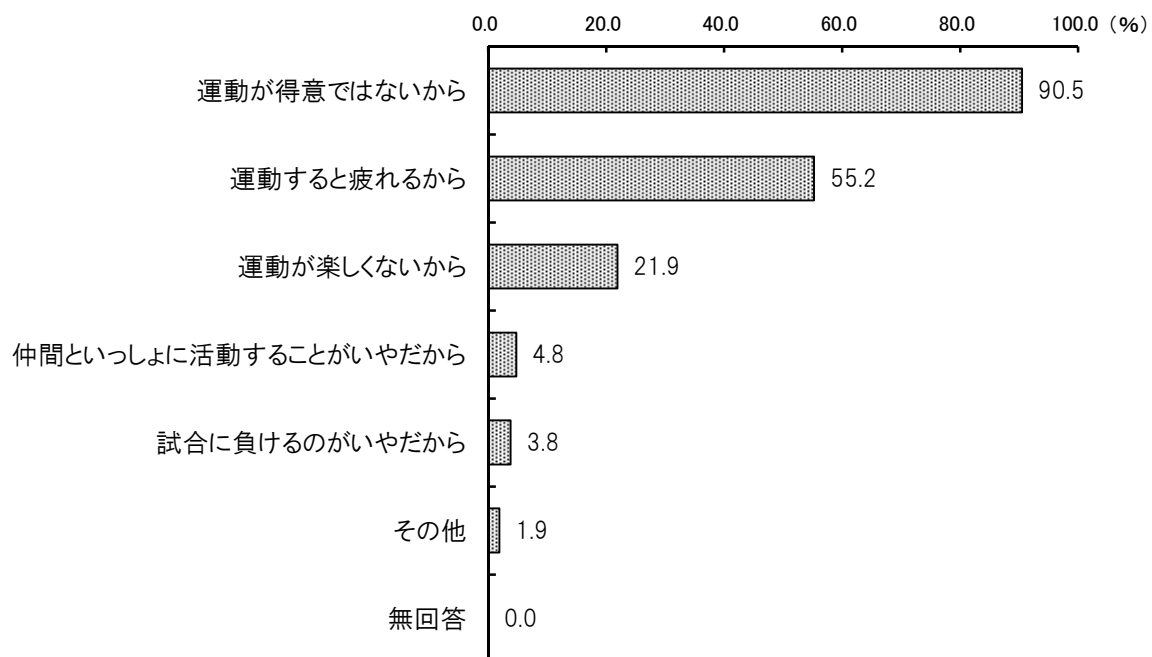


運動やスポーツをするのが好きとした人に、その理由をたずねたところ、「仲間といっしょに活動することが楽しいから」が64.1%で最も多く、次に「運動すると楽しいから」が63.8%、「体力がついたり、健康になったりするから」が51.7%となっています。また、「上手になることがうれしいから」は50.7%、「試合に勝つことがうれしいから」は49.3%となっています。

(3) 好きではない理由

〔問2で「3. あまり好きではありません」または「4. きれいです」に○をした人に〕
問2-2 好きではない理由は何ですか。〔あてはまるものすべてに○〕

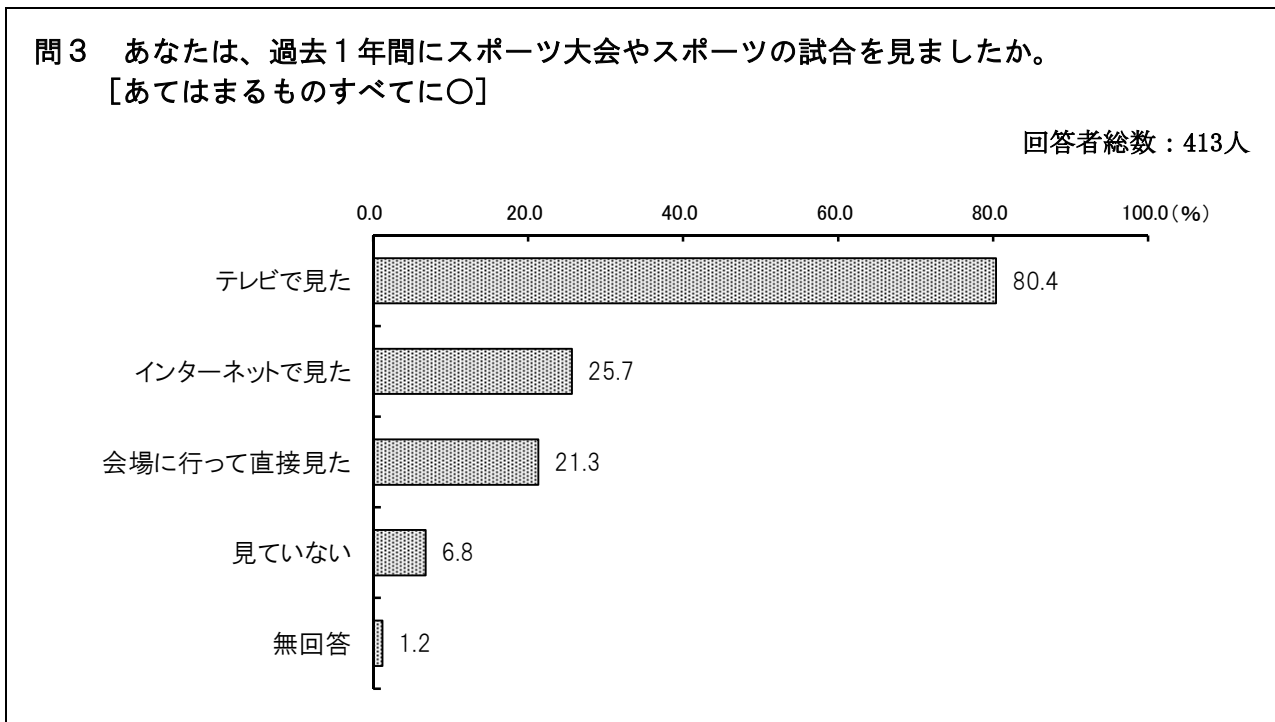
回答者総数：105人



運動やスポーツをするのが好きではない人に、その理由をたずねたところ、「運動が得意ではないから」が90.5%で最も多く、次に「運動すると疲れるから」が55.2%、「運動が楽しくないから」が21.9%となっています。

3. スポーツ観戦について

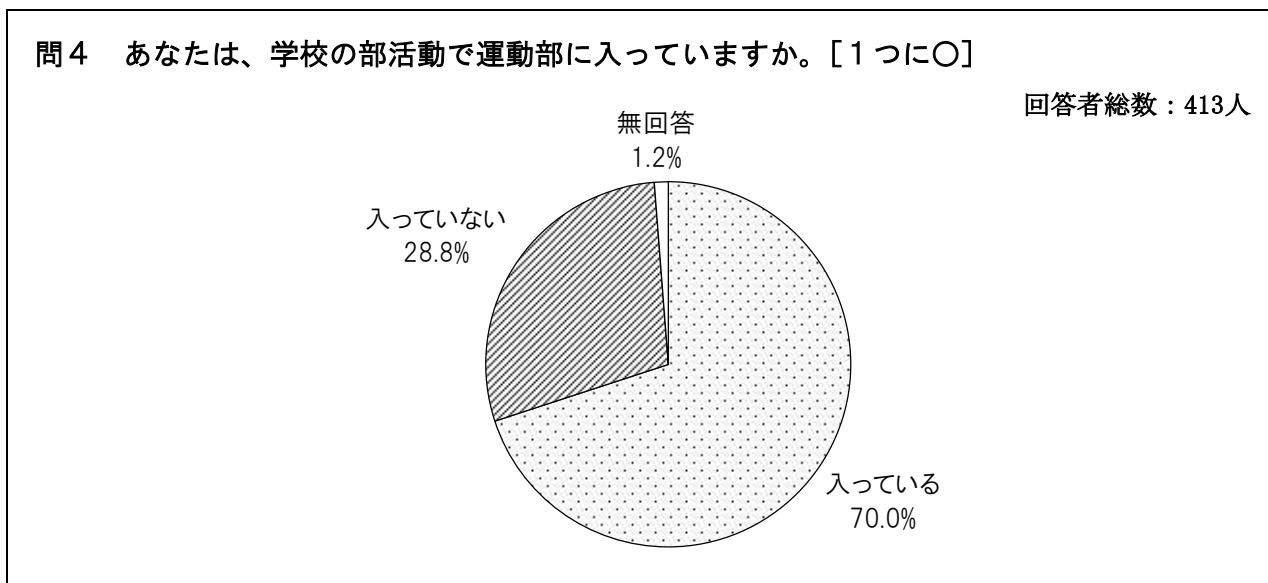
(1) スポーツ観戦の有無



過去1年間にスポーツ大会やスポーツの試合を見たかについてたずねたところ、「テレビで見た」が80.4%、「インターネットで見た」が25.7%、「会場に行って直接見た」が21.3%となっています。一方、「見ていない」は6.8%となっています。

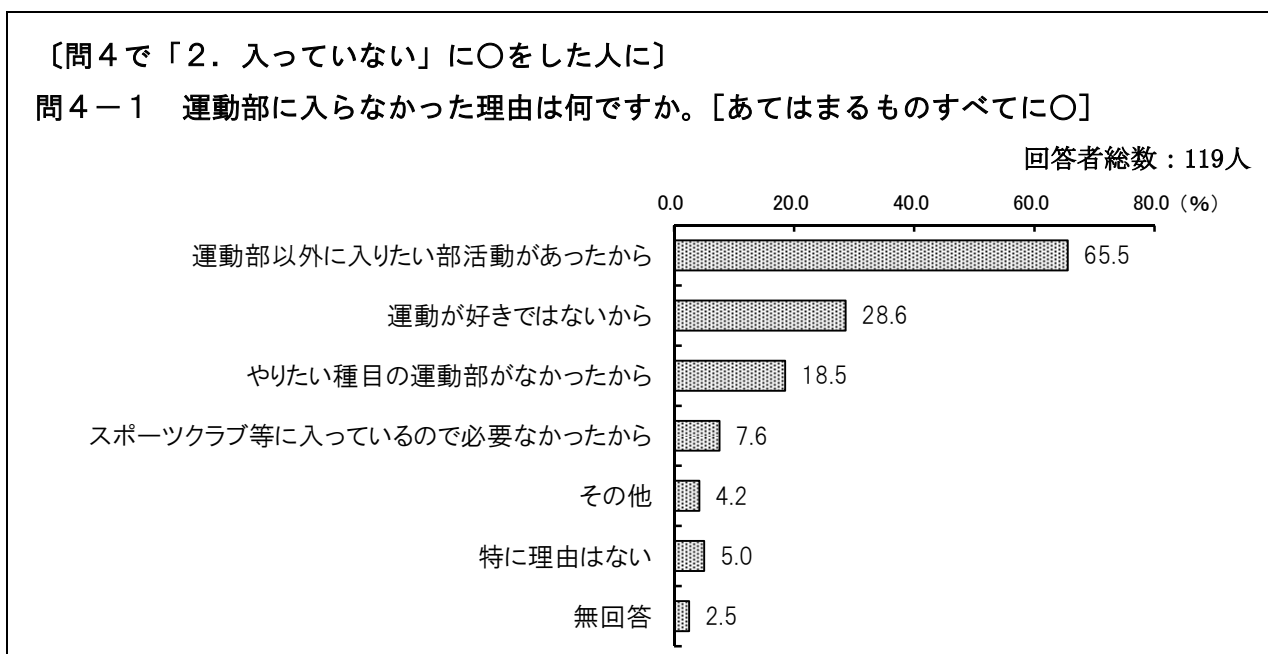
4. 部活動（運動部）について

（1）運動部の加入状況



学校の部活動で運動部に入っているかについてたずねたところ、「入っている」が70.0%、「入っていない」が28.8%となっています。

（2）運動部に入らなかった理由



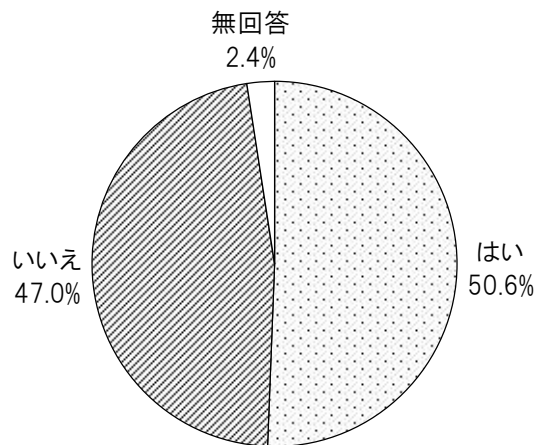
学校の部活動で運動部に入っていない人に、入らなかった理由をたずねたところ、「運動部以外に入りたい部活動があったから」が65.5%で最も多く、次に「運動が好きではないから」が28.6%、「やりたい種目の運動部がなかったから」が18.5%となっています。また、「スポーツクラブ等に入っているので必要なかったから」は7.6%となっています。

5. 運動やスポーツの実施について

(1) 体育の授業や部活動以外に運動やスポーツの実施の有無

問5 あなたは、体育の授業や部活動以外に、運動やスポーツをしていますか。[1つに○]

回答者総数：413人



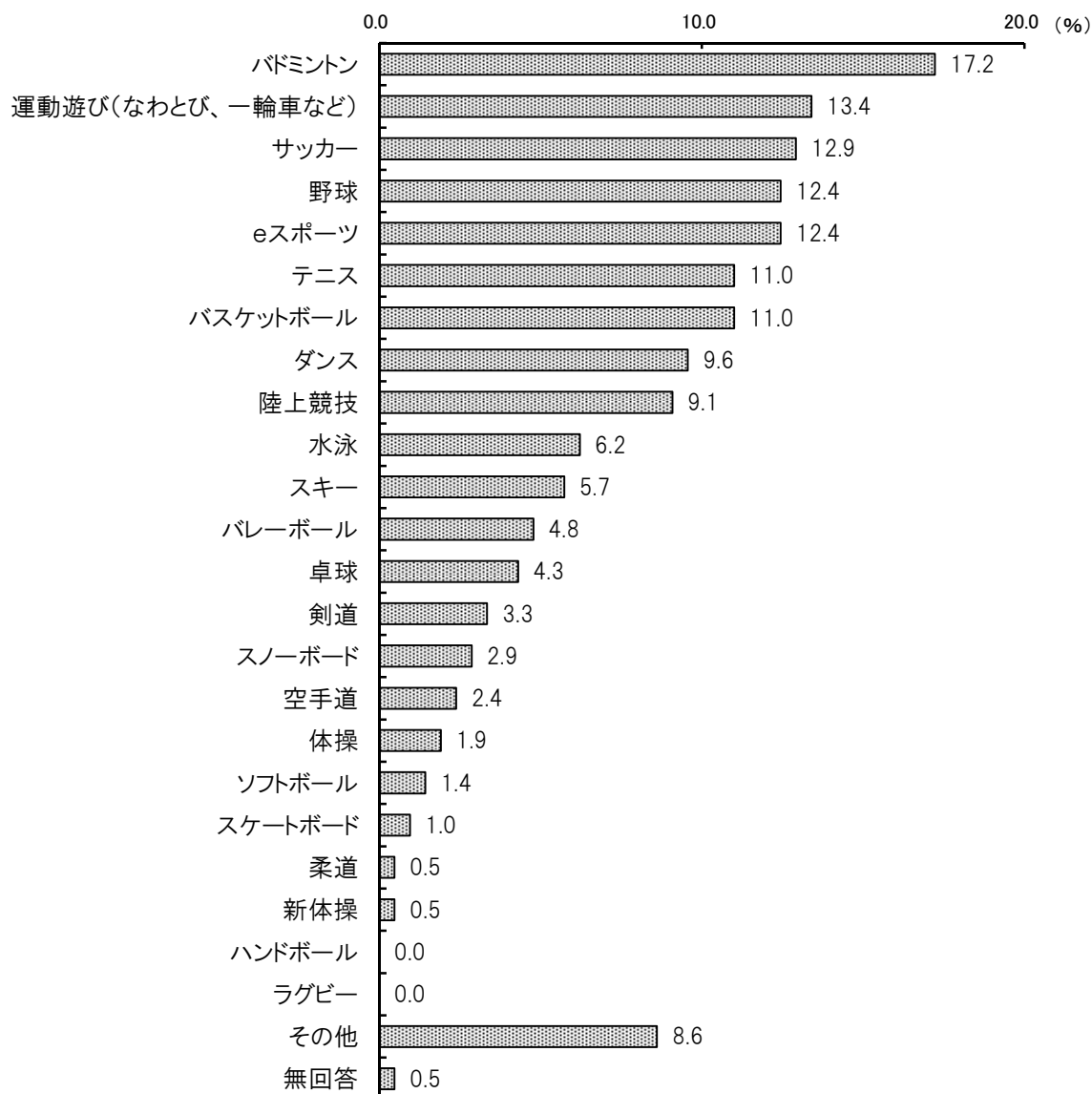
体育の授業や部活動以外に、運動やスポーツをしているかについてたずねたところ、「はい」が50.6%、「いいえ」が47.0%となっています。

(2) 運動やスポーツの内容

〔問5で「1. はい」に○をした人に〕

問5-1 どのような運動やスポーツをしていますか。〔3つ以内で○〕

回答者総数：209人



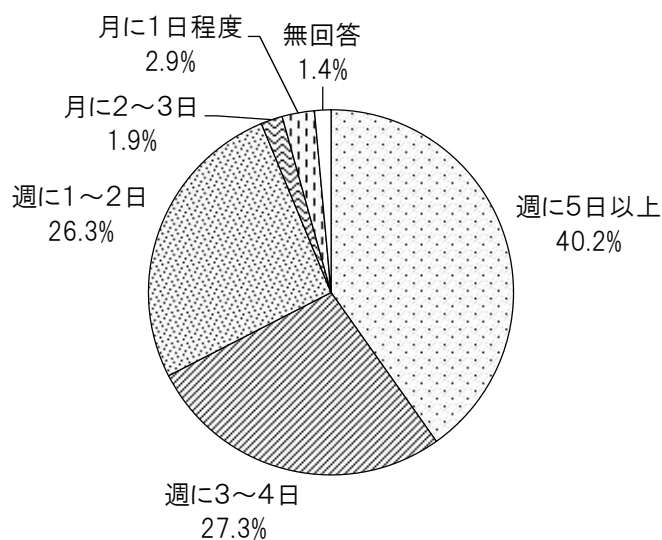
体育の授業や部活動以外に運動やスポーツをしている人に、どのような運動やスポーツをしているかをたずねたところ、「バドミントン」が17.2%で最も多く、次に「運動遊び(なわとび、一輪車など)」が13.4%、「サッカー」が12.9%となっています。また、「野球」と「eスポーツ」がそれぞれ12.4%となっています。

(3) 運動やスポーツの頻度

〔問5で「1. はい」に○をした人に〕

問5-2 運動やスポーツをどのくらいしていますか。〔1つに○〕

回答者総数：209人



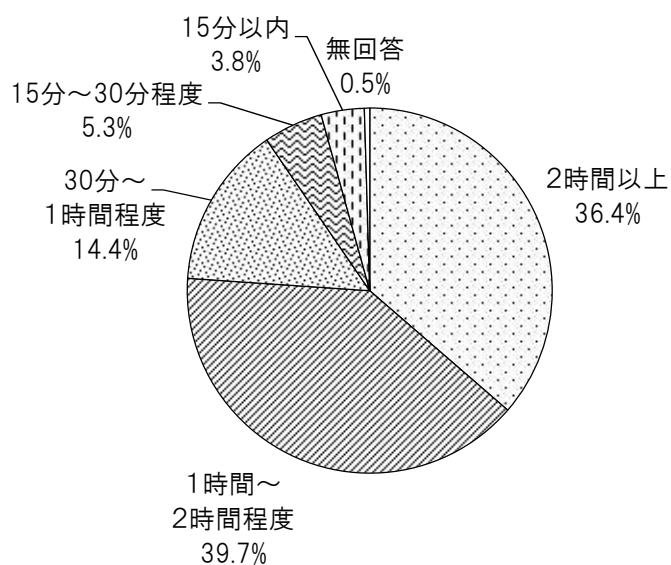
体育の授業や部活動以外に運動やスポーツをしている人に、どのくらい運動やスポーツをしているかをたずねたところ、「週に5日以上」が40.2%、「週に3~4日」が27.3%となっており、これらを合わせると運動やスポーツをしている人のうち約7割が、週に3日以上運動やスポーツをしています。また、「週に1~2日」は26.3%、「月に2~3日」は1.9%、「月に1日程度」は2.9%となっています。

(4) 運動やスポーツの1回の平均時間

〔問5で「1. はい」に○をした人に〕

問5-3 運動やスポーツをする1回の時間は、平均してどのくらいですか。〔1つに○〕

回答者総数：209人

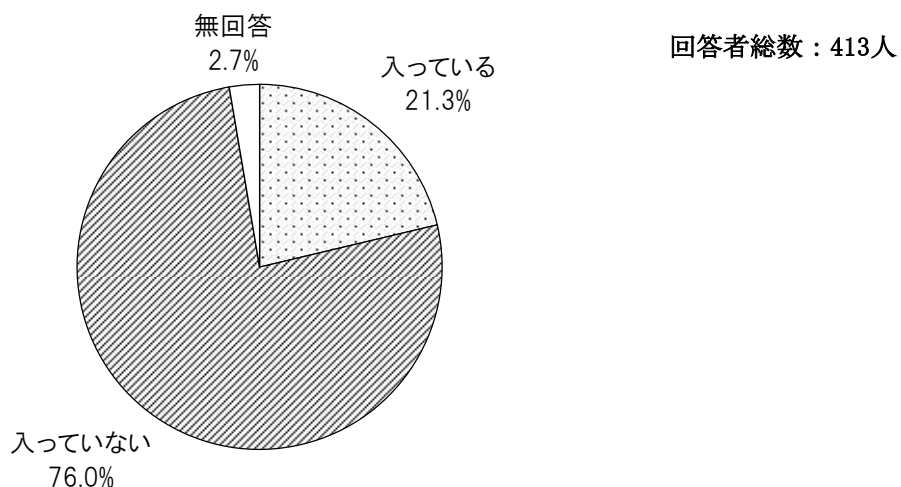


体育の授業や部活動以外に運動やスポーツをしている人に、運動やスポーツの1回の平均時間をたずねたところ、「2時間以上」が36.4%、「1時間～2時間程度」が39.7%となっています。これらを合わせると運動している人のうち約8割が、1回の平均時間が1時間以上となっています。また、「30分～1時間程度」は14.4%、「15分～30分程度」は5.3%、「15分以内」は3.8%となっています。

6. 学校以外のクラブや団体について

(1) 学校以外のクラブや団体の加入状況

問6 あなたは、運動やスポーツの（学校以外の）クラブ・団体に入っていますか。[1つに○]

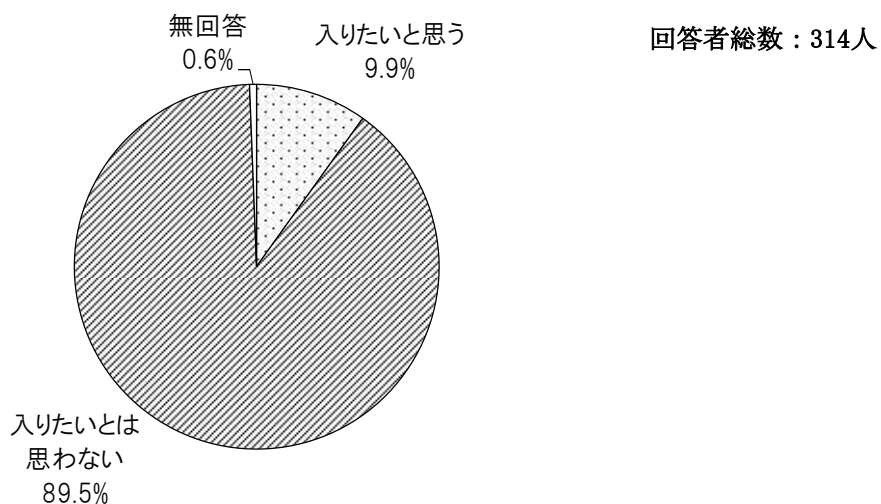


運動やスポーツの（学校以外の）クラブ・団体に入っているかについてたずねたところ、「入っている」が21.3%、「入っていない」が76.0%となっています。

(2) 今後の加入意向

〔問6で「2. 入っていない」に○をした人に〕

問6-1 運動やスポーツの（学校以外の）クラブ・団体に入りたいと思いますか。[1つに○]



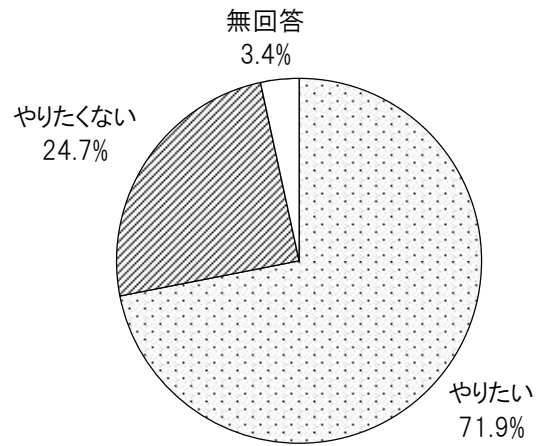
運動やスポーツの（学校以外の）クラブ・団体に入っていない人に、今後、クラブ・団体に入りたいかについてたずねたところ、「入りたいと思う」が9.9%、「入りたいとは思わない」が89.5%となっています。

7. 運動やスポーツの今後の意向

(1) 運動やスポーツの意向

問7 あなたは、これから先、運動やスポーツをやりたいと思いますか。[1つに○]

回答者総数：413人



今後、運動やスポーツをやりたいかについてたずねたところ、「やりたい」が71.9%、「やりたくない」が24.7%となっています。

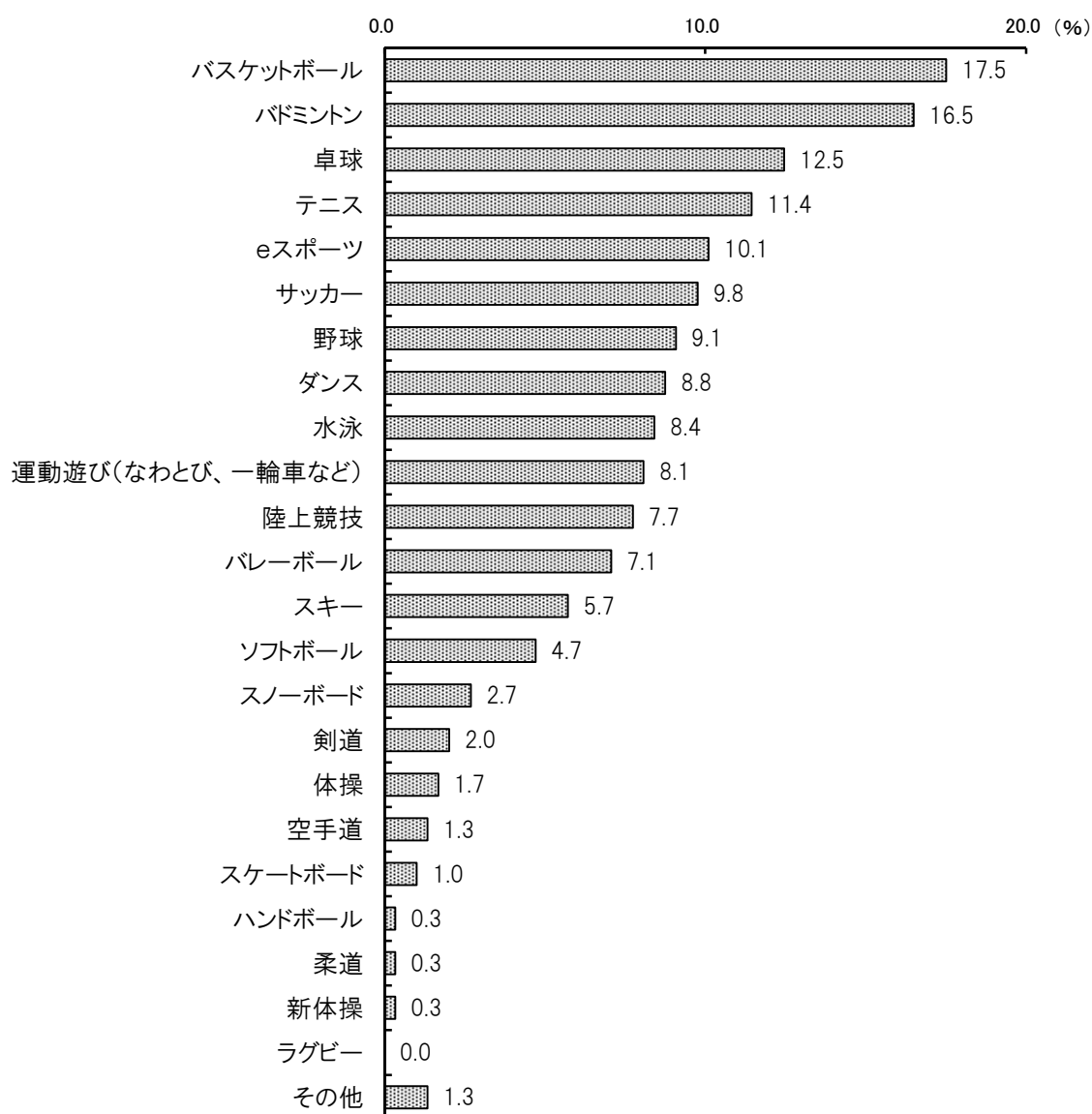
(2) これからも続けたいもの・新しくやってみたいもの

〔問7で「1. やりたい」に○をした人に〕

問7-1 あなたは、どのような運動やスポーツをやりたいと思いますか。今やっていてこれからも続けたいもの、また、新しくやってみたいものを、下の表からそれぞれ3つ以内で選んで番号を書いてください。

ア) これからも続けたいもの [3つ以内]

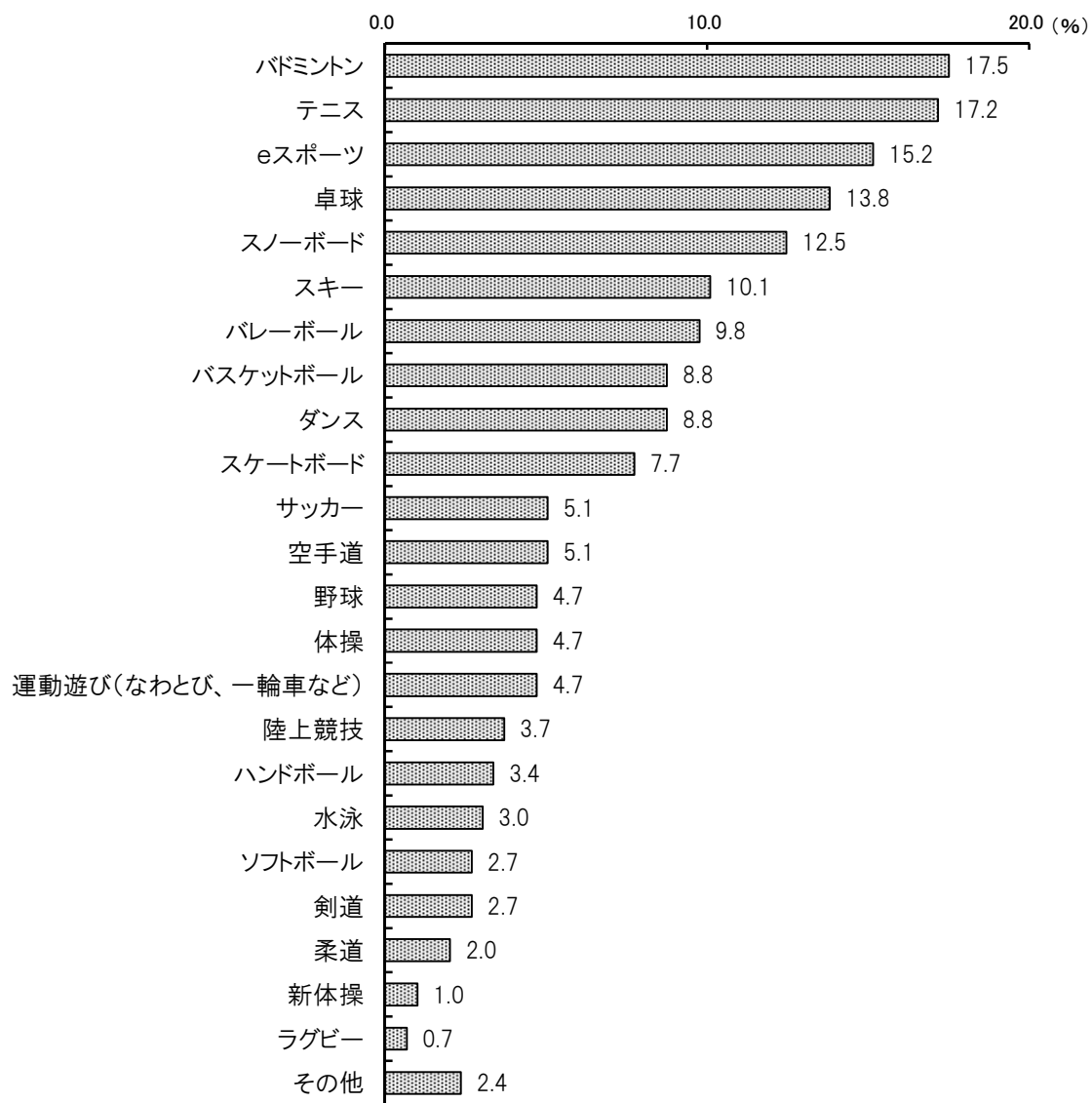
回答者総数：297人



今後、運動やスポーツをやりたいとした人に、これからも続けたいものについてたずねたところ、「バスケットボール」が17.5%で最も多く、次に「バドミントン」が16.5%、「卓球」が12.5%となっています。また、「テニス」は11.4%、「eスポーツ」は10.1%となっています。

イ) 新しくやってみたいもの [3つ以内]

回答者総数：297人



今後、運動やスポーツをやりたいとした人に、新しくやってみたいものについてたずねたところ、「バドミントン」が17.5%で最も多く、次に「テニス」が17.2%、「eスポーツ」が15.2%となっています。また、「卓球」は13.8%、「スノーボード」は12.5%となっています。

第3章 調査結果のまとめ

〈一般市民（16歳以上）調査〉

◇ 週1回以上運動やスポーツを行っている人は5ポイント増加して、41.6%。

今回の調査で、週1回以上運動やスポーツを行っている人は41.6%※となりました。

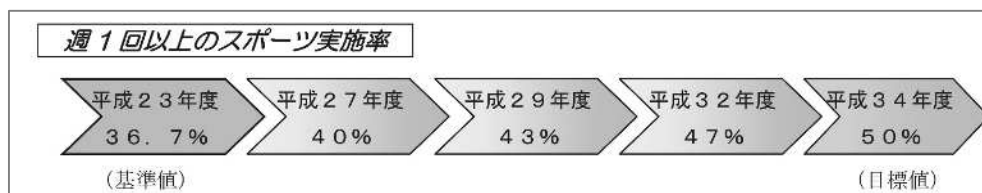
『北本市スポーツ推進計画』では「基本目標2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」の中で、週1回以上のスポーツ実施率を平成34年度（令和4年度）に50%とすることを目標値としています。

今回の調査結果ではこの目標値には達していないものの、平成23年度の基準値からみると約5ポイント増加しました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民の様々な行動が制限され、以前より運動やスポーツができなくなったという人が少なくない状況にあっても、スポーツ実施率が増加したことは十分評価できる点といえます。

これは、感染予防対策を講じつつ、様々な工夫をしながら運動やスポーツを行っている市民の行動がこのような結果につながっているとうかがえます。

※一般市民調査の回答者全数（411人）のうち、問5で「週に5日以上」、「週に3～4日」、「週に1～2日」と回答した人（合計171人）の割合

◆参考：『北本市スポーツ推進計画』 目標値：週1回以上のスポーツ実施率



運動やスポーツを自分ひとりで行うことが多くなっていますが、クラブやサークルなどの仲間と一緒にいるという割合は、県の割合よりも全体的に多い傾向がみられます。気軽に自分ひとりで行うことと仲間と一緒にいることの双方のメリットを活かすことが、運動やスポーツを行っていくことのポイントの一つと考えられます。

現在行っている運動やスポーツの内容については、「ウォーキング・散歩」が多いことから、運動やスポーツをする場所についても「道路や遊歩道」、「公園、運動広場」が多くなっています。「ウォーキング・散歩」は気軽に行えて健康づくりにも人気であることから、今後もウォーキングの環境づくりを充実していくことが望まれます。

◇ 仕事や家事・育児等で忙しくても、運動やスポーツができる環境を。

運動やスポーツをしていない割合については、年代別でみると、10代、30代、40代が多くなっています。運動やスポーツをしない理由としては、仕事や家事・育児等で忙しいという回答が最も多く、30代と40代は、このような理由から運動やスポーツをしていない年代であることがうかがえます。

多忙な生活を送る中で、運動やスポーツにどのようにかかわれるかが課題の一つであり、気軽に運動やスポーツが行えるきっかけづくりや情報提供などの充実が求められています。

◇ スポーツを見て、体験する。支える機会への関心もある。

スポーツ観戦については、コロナ禍の影響もあり、会場で直接見たという割合は少ないものの、テレビで見たという割合は約8割となっています。また、東京2020オリンピックとパラリンピックの試合中継を両方見たとする人は5割を超え、オリンピックについては見たとする人が約9割にのぼっています。

また、今後やってみたいスポーツにはたくさんの種目にわたって回答があり、スポーツに対する関心の高さだけでなく、多様な競技に対する広がりもがうかがえます。

さらに、スポーツボランティアを今後やってみたいという割合は、全体では2割を超える程度ですが、10代の若い人では約4割で多くなっています。若い年代で、スポーツボランティアに関心が高いことがうかがえます。

画面を通して見たスポーツを、時には実際に体験したり、または、ボランティアなどで支えたりする機会があることで、スポーツに対する理解がより深まることが期待できます。

◇ 運動やスポーツの機会の充実が多い。若い年代では施設の充実を望む割合も多い。

今後力を入れるべきスポーツ施策については、気軽にスポーツに親しめる機会の充実と、健康や体力づくりの活動機会の充実が多くなっており、運動やスポーツの機会の充実を望むものが上位2項目となっています。

また、スポーツ施設の充実は、全体では3番目になっていますが、20代や30代の若い年代では最も多い項目となっています。新型コロナウイルス感染症の拡大により生活スタイルが変化し、身近な地域で運動やスポーツを行いたいという意識が高まっていることがうかがえます。こうしたことから、機会の充実とともに、若い年代から高齢者まで多様なニーズに対応できる施設設備やスポーツ環境を充実していくことが求められています。

〈小中学生調査〉

◇ 子どもたちが運動やスポーツを楽しく行える環境づくりを。

運動やスポーツを好きという割合は、小学生で約8割、中学生で約7割となっていますが、小中学生ともに、県の割合よりは少なくなっています。運動やスポーツを好きな子どもが圧倒的に多いものの、今後減少していくことも懸念されることから、子どもたちが運動やスポーツを楽しく行える環境づくりが求められています。

運動やスポーツが好きな理由としては、小学生では「体力がついたり、健康になったりするから」が最も多くなっていますが、中学生では「仲間といっしょに活動することが楽しいから」が最も多くなっています。次に多いのは、小中学生ともに「運動すると楽しいから」となっており、運動の楽しさを感じつつも、小学生は体力や健康面、中学生は仲間とのつながりといったものも重要視されています。

◇ スポーツクラブ等の加入者は多い。

小学生の30.6%はスポーツクラブに加入しており、スポーツ少年団の15.7%の約2倍となっています。また、現在、スポーツクラブやスポーツ少年団などに加入していない割合は半数以上となっていますが、そのうちの約3割は、今後、クラブや団体に入りたいとしています。

現在学校以外のクラブや団体に入っている中学生は約2割ですが、スポーツクラブ等の加入者は、今後増加することも推測されます。

◇ バスケットボールやバドミントンの人気が高い。

これからも続けたい運動やスポーツについては、小学生では、運動遊び、水泳、バスケットボールが、中学生では、バスケットボール、バドミントン、卓球が多くなっています。一方、これから新しくやってみたいものとしては、小学生では、バスケットボール、テニス、バドミントンが、中学生では、バドミントン、テニス、eスポーツが多くなっています。

バスケットボールやバドミントンは、小中学生を通じて人気が高いスポーツといえます。また、中学生で今後やってみたいスポーツの上位にeスポーツがあげられており、子どもたちの関心の高さがうかがえるものとなっています。

子どもたちの関心や意欲を、楽しく運動やスポーツをすることにつなげていくことが重要となっています。

資料編 自由意見欄のまとめ

一般市民（16歳以上）調査の調査票には、『スポーツ振興』についての意見、まちづくりのアイデア、スポーツ活動で苦勞していることなどを、自由に記載していただく欄を設けました。その結果、88人から様々なご意見をいただきました。

寄せられたご意見を年代別に整理し、基本的に原文のまま掲載します。

なお、個人等を特定するような文章及び表現等については、削除・修正をしています。

属性	記載内容
16～19歳・男性	上谷運動公園のような施設があるとよい。（スケートボードが出来る場所がないと禁止区域でやってしまい迷惑がかかってしまうため。）
	市民プールなど遊び場がほしい。
	日々のほどよいスポーツは人々の心身共に健康を促進し、機会を多くつくすることで市の活性化やコロナ禍における交流の減少を抑止することを目的として進めていってほしい。
16～19歳・女性	近くにランニングコースのある公園があったら、部活がない日などに走りに行きたいと思います。
	バスケットボールコートを設置を検討していただきたい。
20～29歳・男性	まちづくりのアイデアとして、会社帰りの人をターゲットにした駅近の施設を設ける。仕事が遅く、遠くまで通うのが難しい人向けに提供できる空間を作ることができれば、日常にスポーツを取り入れる人が増えると思います。室内でできるスポーツを駅周辺の空きテナントなどを再利用して、市民の反響を伺ってみるのも良いと考えます。
	高齢化や少子化などで、若い年代が、スポーツを楽しめる場所（コミュニティ）・大会が少なくなっていると感じる。他の自治体と連携して、スポーツを楽しめる場所を増やし欲しい。（特に駅近に）。
20～29歳・女性	社会人でもスポーツを楽しめるように、社会人チームを作って本格的な大会などがあったら、ぜひ参加してみたいと思います!!

属性	記載内容
	<p>なぜこのタイミングでスポーツ振興についてなのか理解できない。まずは感染対策等に力をいれていただきたい。高齢者の多いこの市には優先すべきことがあると思う。</p> <p>ランニングやサイクリングが安全にできるよう、道路の装備をしてほしいです（歩行者と自転車の分離、街灯を増やす等）。</p>
20～29 歳・女性	<p>スポーツとは違うかもしれませんが、ドッグランをつくってほしい。川里には市が開放している無料のドッグランがあります。そういう場所が北本にも欲しいです。公園は犬の立ち入りやノーリードは禁止の場所がほとんどなので、犬と遊べる場所がほしい。もちろんトラブルは個人間の問題です。おねがいします。</p> <p>スポーツジムやヨガスタジオ等がほとんど無く、活用したい気持ちがあってもできない。</p> <p>市民同士がスポーツを通じて交流を深められるような取り組みがあるといいと思います。また、ペットなどと一緒にスポーツを楽しむ場がもっとあるといいです。</p>
30～39 歳・男性	<p>自治体単独ではなく企業との協賛、協力によるスポーツイベント、健康増進イベントの開催。</p> <p>市役所の敷地内に市民が優遇して使用できるジムがあると良いと思う。</p> <p>働きながらのスポーツは、どうしても夜間になる。夜間に活動出来る場の充実と健康意識向上のため個人への補助金助成を期待します。</p> <p>ホームページに道具等の販売店が確認できるようにしたらいいと思う。</p>
30～39 歳・女性	<p>年々、幼児、児童の体力が低下してきていることを感じている。生活環境や社会の変化から子どもが自分の身体を十分に動かして活動する機会の減少がみられていると思う。地域の中で、公園や自然公園などで活動することの大切さを、親が知ることができる機会があれば良いと思うし、既存の施設を十分に活用してもらえよう取り組みを考えてみることも早道かと思う。</p> <p>東側にある総合体育館のジムのようなものが西側にもあると、近くなり通いやすくなるので嬉しいです。</p>

属性	記載内容
	<p>スポーツ少年団のコーチになりましたが、コロナの影響でスタートコーチの講習会を北本市では行ってくれないことに困っています。他の市では、その市の登録者のみ対象が多く、受けることができず、ベンチに入ることができません。今年こそ行ってほしいです。お願いいたします。</p>
30～39 歳・女性	<p>昨年まで、公立の保育園へ子供を通わせていましたが、課外授業（習い事）があればよかったのにな…と思いました。保育園の友達同士であれば、スポーツも小さい頃からはじめやすいかと思ったので…。私立の保育園には課外授業がある園もありました。</p> <p>市が運営するフィットネスジムがあれば利用したい（回数券制など）。すでにあるようであれば、利用者が増えるよう周知してほしい。特に高齢者は何かスポーツすればいいのではなく、筋トレで筋肉を付けてもらえるよう、市から促してほしい。</p> <p>○テニスコートをきれいにしたい。 ○体育センターのジムに、マナーの悪い利用者（器具を独占する等）が多いので注意してほしい。新規で始めづらい。</p> <p>体育センターを利用していますが、センターの方が、料金を間違えた時に「翌日では困る。今日お金を持ってきて!!」と電話をいただいたり、料金を多く請求され、返金をもとめると「今さらかえせない」「今日はムリ！明日にして」などという事が、1～2年間で3～4回ありました。「市」のサービス？ボランティア？どちらにせよいい気持ちでスポーツにのぞめません。スポーツ施設にいい人材も必要かと。</p>
30～39 歳・その他	<p>運動神経が悪い人は良い人に対して引け目を感じているので、ムリにスポーツにこだわらなくてもいいと思うし、そもそもスポーツ以前に、「運動神経改善講座」のようなもので反射神経を鍛える方が、普段スポーツに苦手意識がある人の役に立つと思う。あと、お金がかかるスポーツ（乗馬など）を始めたい人への年収に応じた補助金があったら嬉しい。</p>
40～49 歳・男性	<p>障がいのある方のスポーツの支援から、小さな大会でもいいので市と障がい者の事業所と協力をしながら出来たら良い。ボラと支援者の育成、小中学校の生徒の協力を頂き、理解と継続した大会で北本市を盛り上げたい。</p> <p>健常者と障がい者が一緒の舞台上で楽しめるスポーツの開発イベントができたらいいなと思います。</p>

属性	記載内容
	<p>中学校の部活動は、人数が少なく自分の希望する部活動が出来なくて、越境しないといけない状況もあると聞いています。思いきって中学校は2校くらいにしてみてもどうかと思います。もっと子育て世代が生活しやすい政策を行い、この世代の人数を増加していかないといけないと思います。</p>
40～49 歳・男性	<p>障がい者のスポーツも健常者ができる環境を整えてもらいたい。競技用車いすが体験できるイベント。</p> <p>スポーツに限らず、子供世代への投資をすべき。勉強や部活動での成績が向上すれば若い世帯も増えるのでは。埼玉であれば浦和が学業に熱心なイメージ。高校であればスポーツ＝埼玉栄高校のイメージ。</p> <p>スポーツ活動に使えるお金がないので、スポーツ活動よりも前に、労働者全員に対する賃上げを日本社会全体に要求します。日々の生活の維持が精いっぱいです。</p>
40～49 歳・女性	<p>TV番組の「逃走中」を子どもたちにやらせてあげたい。長なわとび、ドロケイ、大人数でできるあそびを子供たちとやりたい。ドッチボール、キックベース。</p> <p>子どもが「空手をやりたい」と言うので教えてもらえる場所を探しましたが、基礎を丁寧に指導してもらえる場がなかなか無いものだなあと苦勞しています。(道場はいくつかありますが基礎からという感じではない。)</p> <p>鴻巣市などと比べると公民館などの施設利用費が高いと思う。もっと下げてもよいと思う。</p> <p>鴻巣市や桶川市のように、小・中学校の体育館を夜間開放して欲しい。夜間の体育館使用が公民館に集中しているため、思うように活動できていない。</p> <p>スポーツをやりたくても施設の取り合いがあり、あきらめる。総合公園窓口で3ヶ月前の8時に行かなくてはならないと施設が取れないのは、仕事している人はもう無理です。ネットでの抽選を可能にして欲しい。</p> <p>週末に、学校、幼稚園の校庭・園庭、体育館を利用して、スポーツイベント等(体力測定、自転車教習)を開催してくれるとありがたいです。</p>

属性	記載内容
	<p>大型施設などを街の中心部に設置するのは難しいのですが、車を持たない人にとってはスポーツセンターなどのスポーツ施設へのアクセスが困難なので自然と足が遠のきます。(バスもありますが極端に本数が少ないです。)</p>
40～49 歳・女性	<p>スポーツ・運動が得意な人とそうでない人との差があると、授業が辛いので工夫が必要だと思いました。体を動かすことが楽しくないと大人になっても動きません。結果、病気・けが・介護に繋がります。</p>
50～59 歳・男性	<p>各種スポーツのイベント、教室などを行って子どもに興味をもってもらおうようにする。</p> <p>大谷選手を呼んで野球教室をやってほしい。</p> <p>同じことをやるだけだとあきる為、ランダム性のある企画。北本市の活動に参加した場合、ポイントがつくとやる気がおきませんか？</p> <p>施設や公園の使い方に無駄がありすぎです。税金の使い方をもっと市民にきいた方がいいと思う。北本市は、売りにできる物、事、人がなさすぎる。</p> <p>スポーツ振興に関して、市のホームページ上などでもわかりやすくするなどの工夫も必要ではないでしょうか。サークル・同好会など地域に根付いているものなども。それに対する補助制度有無などの情報があればいいのではないのでしょうか。</p> <p>2025 年から中学の部活動も施策が変わってくるようですが、時代の流れとして、部活動の衰退とクラブチームを選択する子供たちが増えていっています。まず、各中学校のクラブを市内 1 チームにして「オール北本」にする。放課後、各中学校から巡回バスを出し、それぞれの部活をやっている中学に集合する、なんていうのはどうでしょうか？あと部活を持っていただく先生は平日必ず 2 日休みを与えて欲しいと思います。</p> <p>サッカーやフットサルが出来る施設を増やしてもらいたい。例えば、体育館でフットサルができるようにしてもらいたい。</p>
50～59 歳・女性	<p>北本市のスポーツチームの紹介を、広報に順番に取材したものを掲載したらどうですか。</p> <p>○クラウドファンディングを利用した、スポーツ企画。 ○テレワークなどで市内にとどまる時間が長くなった人(特に男性)に向けての運動機会の充実。</p>

属性	記載内容
	<p>国際交流をかねたスポーツを、身近な施設（公民館）などで実施したら良いと思う。</p> <p>小さい子ども達が体力アップ、運動能力アップできるような遊具を公園や施設などに増やして欲しいです。自らの力で危ない場面から逃れられる為にも。</p>
50～59 歳・女性	<p>一人で気軽に参加できる機会がほしいです。「いつものメンバー」と固定していかないような活動ができるとありがたいです。</p> <p>無作為に抽出した 1000 人の意見とあり記入しましたが、無作為ならば 1000 人は少なすぎると思います。返却率何%でしょうか…。それで何がわかるのでしょうか。</p> <p>年配の人も楽しめるスポーツを開催してほしい（ソフトバレー、卓球など）。子どもが少なくなって学校も閉校になり、PTAも減り、いろんなイベントが減ってしまった（昔より）。なので、市でスポーツを気軽に出来る場所があるといい。</p> <p>スポーツやコミュニティに力を入れるより、年を取ってからの事を考えると、この町には住めないと思う。バス停まで距離がある上、バスはあまりないし、北本市内をぐるぐる回るだけで、電車が止まった時などは市内から出られなかった。桶川や鴻巣の方が栄えている。</p> <p>公民館や体育館はたくさんの方が利用しているにもかかわらず、冷暖房がなさすぎます。上尾や桶川市は、ほぼあると聞きます。熱中症対策のためにも早急をお願いします。</p> <p>以前、柔道場でヨガ教室に参加していましたが、コロナになってから一度も行っていない。暖房設備が無く、冬はとても寒かったからです。暖房設備を充実させて下さい。</p>
60～69 歳・男性	<p>高齢者でも気軽に参加できるラジオ体操・ヨガ教室等考えてほしい。</p> <p>北本総合公園のクレイコートは凹凸が多く、イレギュラーがひどい。料金は安いですが、しばらく整備されていない。予算確保して整備をお願いしたい。</p> <p>スポーツ少年団団員減少への対策を。</p> <p>駅前広場を活用して、有名選手によるピーアール「体育振興」。以前体育センターにて、バレー試合誘致等イベント開催してほしい。</p>

属性	記載内容
	<p>コロナ禍の中、2年連続して地域の市民体育祭（運動会）が中止となりました。地域活性化・住民の連携強化等を図るため、早く実施できる日が来ることを望んでいます。</p>
	<p>サイクリングをして時々総合公園に行っています。日常生活に根ざしたものがよいと思います。</p>
	<p>サイクリング、ウォーキングコースの拡充。ボッチャ競技の推進。</p>
60～69 歳・男性	<p>交流自治体との定期的なスポーツ大会を行う。</p>
60～69 歳・女性	<p>以前は公民館等にて5、6年運動していましたが、今は腰をいためてしていませんが、していたときは大変良かったです。</p>
	<p>サイクリングロードを作るとか、サイクリング（ロード）のスピードを規制するとかなど、安全性を担保できたらいいと思います。</p>
	<p>高齢者でもできるスポーツを考えてもらいたい（北本独自の体操等）。それを広め、自宅でも、コミュニティの場でも出来るようになれば、動ける100歳をめざす北本をアピールして行けるかと！よろしく願います。人生100年健康寿命を延ばそう。</p>
	<p>公営市民温水プール コロナ禍で現在中止されているが、町内の運動会の必要性はないと思う。役員が半強制的に参加させられるだけである。</p>
70～79 歳・男性	<p>熊谷のラグビーのように北本として注力するスポーツ。ex.ソフトボール、剣道 etc.を決めたらどうか。永久に固定ではなく4～5年毎に変わってもよいと考える。</p>
	<p>G. G、 P. Gと活動していますが、平均年齢が80才と高く、若者達との交流を工夫して欲しい。</p>
	<p>高齢者の無理のない健康維持。</p>
	<p>高齢者用のスポーツ施設の充実。（パークゴルフ場等）</p>
	<p>以前、市長宛にパークゴルフ場の要望書を提出したが、一向に話がすすまず、行田にあるパークゴルフ場が大変混雑して、繁盛しているのをみると、今後も高齢者が増える状況を見ると、北本市でも、ゴルフ場を造って欲しい。</p>
	<p>気軽に参加できる、高齢者も出来る様なスポーツイベントの開催。テーマは、健康 体力に応じた体の動かし方などの指導。 北本市にもパークゴルフ場がほしいです。</p>

属性	記載内容
	<p>気軽に参加出来て指導をしっかりとしてもらえる様な、場、指導者がほしい。</p>
	<p>老人にやさしくない市政だと感じる。</p>
70～79 歳・女性	<p>スポーツは体力、能力、知力、文武両道を育てる。寺子屋教育から。市内1ヶ所だけでも学校内室内プールをつくり、安く一般開放すべき。せっかくのプールがもったいない。希望だが無理でしょう。子どもたちも一年中泳げるとよいですね。</p>
70～79 歳・女性	<p>市の『歩け歩け運動』は大変良いと思います。「トマちゃん体操」が成功しているように、「ラジオ体操」も何らかの形で定着するといいですネ。自分はできないけど、あればできるだけ参加したい。</p>
	<p>高齢者の交通手段と防犯を充実して、楽しい町作りを希望します。</p>
	<p>地域にある学習センター等を、体育センターの活用に集約して、体育センターへの頻繁な便を確保してスポーツ・文化の拠点を作る。</p>
	<p>市の施設を20年近く利用させてもらっているサークルですが、高齢になり週1度の場所取りが大変になり、当番が回ってくる頃にやめてしまう人が多く、36人いた人数が22人になり、続けたくても続けられなくなります。できれば場所取りを月1度にしていただきたいのですが、お願い致します。</p>
	<p>高齢者が多くなりました。健康維持の為、スポーツ教室を充実してほしいです。</p>
80 歳以上・男性	<p>スポーツは惚け防止につながるの。健康と脳との身体の繋がりの講習を各センターにて広げたらいかかなものですか。</p>
	<p>やる気はあるのか？</p>
	<p>米寿を過ぎた身で活動できませんで、申し訳ありません。</p>
	<p>卓球等の順番をとるのに毎日早く行って（公民館）大変です。月1度で1か月分の場所を取れるよう願います。</p>

資料 3 関係法令・例規

(1) 北本市スポーツ推進審議会条例

平成 2 年 3 月 23 日条例第 16 号

(設置)

第 1 条 スポーツ基本法(平成 23 年法律第 78 号。以下「法」という。)第 31 条の規定に基づき、北本市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(平 23 条例 17・一部改正)

(任務)

第 2 条 審議会は、法第 35 条に規定するもののほか、北本市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) スポーツの推進に関する計画に関すること。
- (2) スポーツの施設及び設備の整備等に関すること。
- (3) スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(平 23 条例 17・一部改正)

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 10 人以内で組織する。

(委嘱等)

第 4 条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから教育委員会が、委嘱又は任命する。

- (1) スポーツに関する知識経験のある者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) 児童生徒等の保護者

(平 23 条例 17・一部改正)

(任期)

第 5 条 委員の任期は、2 年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 6 条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(委任)

第 7 条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 23 年条例第 17 号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日において、改正前の北本市スポーツ振興審議会条例の規定により設置される北本市スポーツ振興審議会の委員に委嘱又は任命されている者は、この条例の施行の日に、第4条の規定により委嘱または任命されたものとみなす。この場合において、その委嘱又は任命されたものとみなされる者の任期は、第5条の規定にかかわらず、平成24年4月30日までとする。

(特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

3 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和31年条例第6号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

(2) 第2期北本市スポーツ推進計画見直し作業委員会設置要綱

(令和4年11月10日教育長決裁)

(設置)

第1条 スポーツ基本法第10条の規定に基づき定める「スポーツ推進計画（同条に規定する地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画をいう。以下同じ。）の見直しを円滑かつ計画的に行うため、第2期北本市スポーツ推進計画見直し作業委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、第2期スポーツ推進計画の案を作成する。

2 前項の規定に基づき第2期スポーツ推進計画の案を作成するため、委員会は、当該案の作成に関し重要事項を協議するとともに、その総合的な調整を行うものとする。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は、教育部長の職にある者をもって充てる。

3 副委員長は、生涯学習課長の職にある者をもって充てる。

4 委員は、別表に掲げる者をもって充てる。

(委員長及び副委員長の職務)

第4条 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員会を組織するものの過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した副委員長及び委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係職員の会議への出席等)

第6条 委員会は、その所掌事務を遂行するために必要があると認めるときは、委員以外の関係職員に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を求めてその意見若しくは説明を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育部生涯学習課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

1 この要綱は、決裁の日から施行する。

2 この要綱は、令和5年3月31日限り、その効力を失う。

別表（第3条関係）

第2期北本市スポーツ推進計画見直し作業委員会

構成員名簿

委員長	教育部長
副委員長	生涯学習課長
委員	行政経営課企画調整担当主幹
委員	共生福祉課地域共生担当主幹
委員	障がい福祉課相談支援担当主幹
委員	子育て支援課子育て支援担当主幹
委員	保育課保育担当主幹
委員	健康づくり課健康増進担当主幹
委員	高齢介護課高齢者福祉担当主幹長
委員	都市計画政策課公園担当主幹
委員	学校教育課指導担当主幹

資料4 計画策定の経過

月日	区分	概要
令和3年		
12月24日	審議会1	第2期北本市スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査実施要領について
令和4年		
1月13日	アンケート調査業務	実施期間 令和4年1月13日～2月8日
11月10日	起業	第2期北本市スポーツ推進計画見直し作業委員会の設置
11月25日	見直し作業委員会1	計画改訂方針 アンケート調査結果 修正意見の徴収
12月7日	審議会2	計画改訂方針 アンケート調査結果 見直し作業委員会の結果について
12月15日	見直し作業委員会2	第2期北本市スポーツ推進計画(案)の策定について
12月19日	審議会3	第2期北本市スポーツ推進計画(案)の策定について
12月22日	教育委員会1	第2期北本市スポーツ推進計画(案)の報告 (パブリックコメント前計画案)
12月28日	パブリックコメント	実施期間 令和4年12月28日～令和5年1月27日
令和5年度		
1月26日	教育委員会2	第2期北本市スポーツ推進計画(案)の報告 (パブリックコメントの状況)
1月31日	審議会4	第2期北本市スポーツ推進計画(案)の答申 (パブリックコメント後計画案)
2月16日	教育委員会3	第2期北本市スポーツ推進計画(案)の議決 (パブリックコメント後計画案)

資料5 名簿

(1) 北本市スポーツ推進審議会

(令和4年度委嘱委員)

氏名	所属団体	備考
柴田 輝明	医師会	会長
加藤 芳雄	北本市スポーツ協会	
岡田 タカ子	北本市レクリエーション協会	
小澤 修次	北本市スポーツ少年団	
山岸 栄治	北本市コミュニティ協議会	
飯塚 忠史	北本市スポーツ推進委員	
高木 英朗	知識経験者	副会長
恵守 孝二	北本市校長会	
吉橋 光一	北本市PTA連合会	

(2) 第2期北本市スポーツ推進計画見直し作業委員会

氏名	所属	備考
草野 智広	教育部長	委員長
櫻井 猛博	生涯学習課長	副委員長
高橋 良輔	行政経営課主幹	
長島 俊介	共生福祉課主幹	
松村 紀久子	障がい福祉課主幹	
牧 早苗	子育て支援課主幹	
角田 琢磨	保育課主幹	
鈴木 友恵	健康づくり課主幹	
堂口 達大	高齢介護課主幹	
深谷 知行	都市計画政策課主幹	
中島 優貴	学校教育課主幹	

第2期北本市スポーツ推進計画

(令和5年3月発行)

発行 北本市、北本市教育委員会

編集 北本市教育委員会教育部生涯学習課

〒364-8633 北本市本町1丁目111番地

TEL : 048-591-1111 FAX : 048-592-5997